魚沼市行政評価
施策評価 実施結果報告書

令和５年度実施施策

【第二次魚沼市総合計画 後期基本計画 主要施策を構成する施策】

令 和 6 年 9 月

魚 沼 市

― 目　次 ―

Ⅰ　施策評価の実施にあたって

１　はじめに　……　１

２　施策評価の概要　……　２

３　施策評価の方法　……　６

４　一次評価及び二次評価の結果　……　８

５　外部評価の結果　……　１４

Ⅱ　評価結果総括

１　評価結果の概要　……　２６

２　行政評価における今後の取組　……　２８

３　評価結果の活用方法　……　２８

Ⅰ　施策評価の実施にあたって

1　はじめに

行政評価制度は、行政コストの削減、職員の意識改革、成果重視の行政サービスの確立など、地方行政改革を推進するための有効な手法であり、限られた行政経営資源の中にあって、的確な配分を行いながら、行政が行っている様々な活動が市民の役に立っているかを絶えず点検し改善を図っていく仕組みです。

本市においては、評価作業を通じて従来までの事業プロセスや実行方法を見直すことにより、職員一人ひとりが自己の担当業務への意識を高め、その結果として全庁的な行財政改革や市民サービスの向上につなげていくことを目的として行政評価を実施しています。

本市におけるこれまでの行政評価の取組としては、平成 18 年度に事務事業を評価対象として試行的に実施し、その後、職員研修や先進地事例等の調査研究を経て、平成 21 年度に総合計画前期基本計画第 2 期実施計画に登載している事業のうち 55 事業を対象として本格導入しました。2 年目の平成 22 年度においても同様に 55 事業を対象として行政評価を実施し、平成 23 年度からは、総合計画後期基本計画第 1 期実施計画に登載している事業全てを対象として実施してきました。

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートしたことを契機として、これまでの事務事業評価よりも一階層上の施策評価を事務事業評価に加え実施することとし、併せて、透明性及び客観性を確保することを目的として、平成 29 年度からは総合計画審議会による外部評価も実施しています。

本報告書は、令和 5 年度に実施した 62 施策の一次評価から二次評価までの結果とその中から抽出した 12 施策について外部評価の結果をとりまとめたものです。

2 施策評価の概要

第二次魚沼市総合計画後期基本計画における政策を構成する 62 施策を対象としています。

分 野	基本目標	政 策	施 策	別冊ページ
【第1節】 生活基盤	安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	安心で便利な生活基盤の整備	道路網の整備	1
			道路機能の維持向上	4
			ライフラインの維持向上	7
		快適な暮らしを支える生活環境の整備	公共交通の持続可能な地域交通網の推進	10
			情報通信基盤の整備と活用	13
			住環境の整備	16
		暮らしを守る防災体制の整備	自助・共助・公助の仕組みの充実	19
			自助・共助を支える支援体制の強化	22
			防災基盤の強化	25
【第2節】 環境衛生・自然	豊かな自然と人が共生するまちづくり	豊かな自然の保全と育成	豊かな自然と美しい景観の保全	28
			森林と里山の再生	31
			野生鳥獣との共生	34
		自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	自然環境を活用した地域づくりの推進	37
			森林資源の利活用の推進	40
		自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	環境教育と環境学習の推進	43
			市民協働による環境保全活動の推進	46
		循環型社会環境の整備	ごみの減量化とリサイクルの推進	49
			地球温暖化対策の推進	52
			公害の抑制と生活環境の保全	55

分　野	基本目標	政　策	施　　策	別冊ページ
【第3節】 健康・福祉	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	健康づくりの推進	58
			疾病予防と重症化防止対策の推進	61
		安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	子育て支援	64
			子育て環境の充実	68
		市民が安心して暮らせる仕組みの構築	すべての市民が自立できる環境の構築	71
			安心して暮らせる公共空間の整備	74
		高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	暮らしの支援体制の推進	77
			高齢者の社会参加の推進	80
		誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	健康管理システムの充実	83
			医療資源の育成	86
【第4節】 産業	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	地域資源の活用による産業の振興	新たな特産品づくり、ブランド化の推進	89
			新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	92
		魅力ある農林業の振興	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	95
			森林・里山を活用した地域の活性化	98
		商工観光業の競争力強化	競争力強化に向けた商工業者への支援	101
			地域資源を最大限に活かした観光の振興	104
		雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	起業の促進	107
			定住人口確保のための取組の強化	110
			戦略的な人財確保・企業誘致の推進	113

分　野	基本目標	政　策	施　　策	別冊ページ
【第5節】 教育・文化	私たちが育む学びのまちづくり	生涯学び続ける仕組みの充実	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	116
			生涯学習推進体制の充実	119
			効率的・効果的な施設運営	122
		乳幼児期の教育の充実	明るくのびのびとした子育て	125
			乳幼児教育の仕組みづくり	128
			子育て環境の整備	131
		市民が参加する学校づくりの推進	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	134
			市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	137
			安全・安心な学校施設の整備	140
		潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	芸術・文化活動の促進	143
			地域文化の振興と発信	146
			文化財の保護と活用	149
		楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	152
			スポーツ活動推進のための体制強化	155
			スポーツにおける広域連携の推進	158
【第6節】 市民協働・自治体運営	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	市民参画と行政との協働の推進	まちづくりへの市民参画の推進	161
			協働体制の充実	164
		市民参画による地域づくりの推進	支え合う地域づくりの支援	167
			地域づくりの活性化	170
			地域づくりに向けた移住・定住の促進	173
		市民に信頼される開かれた行政運営	効率的で効果的な行政運営	176
			わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上	179
		選択と集中による財政運営	行政改革の継続とデジタル化の推進	182
			健全な財政運営	185

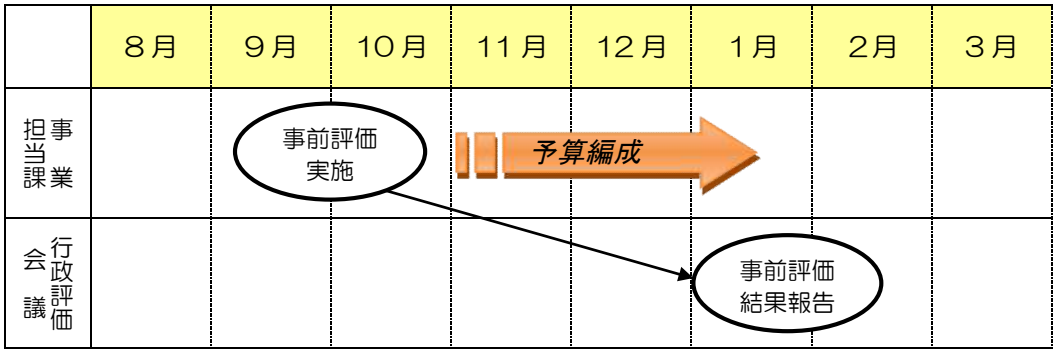
■評価のサイクル

事前評価は、予算編成に先立つ令和４年度９月から 10 月にかけて計画策定と同時に、事後評価は、一次評価及び二次評価について、事業が完了した後の令和６年５月から７月にかけて実施しました。

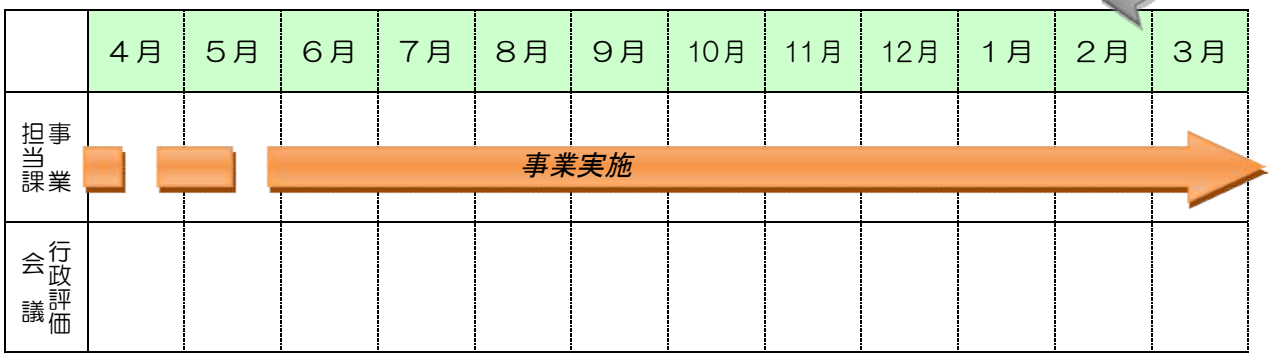
以下に示すスケジュール表のとおり、事前評価から事後評価までの１つの評価サイクルが完結するまでにおよそ 24 か月を要することとなります。

■令和５年度実施施策の評価スケジュール

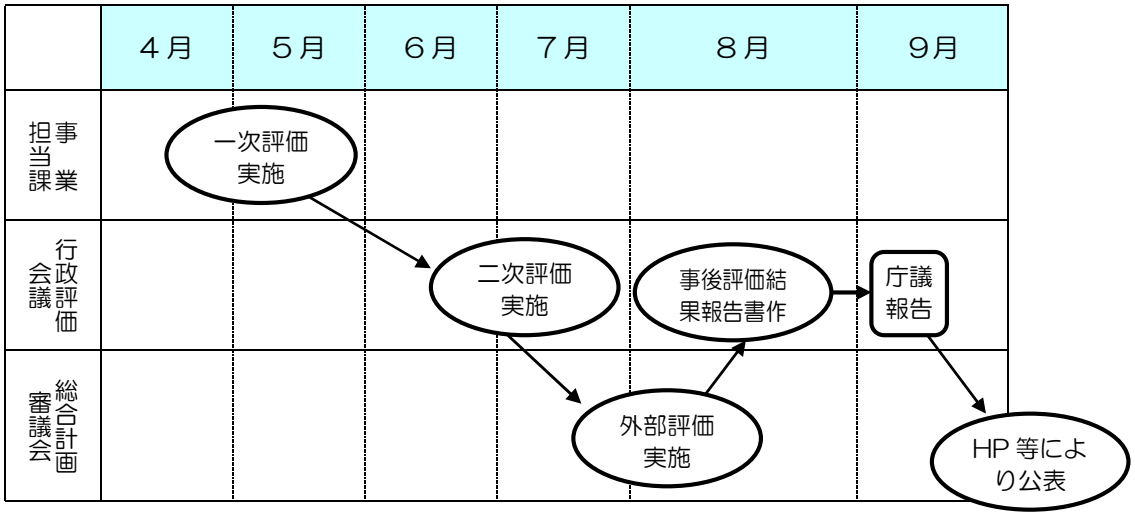
【令和４年度】



【令和５年度】



【令和６年度】



3 施策評価の方法

■一次評価及び二次評価の方法（内部評価）

施策評価では、施策担当部署において、施策を構成する事業の事業費、取組内容や評価、成果指標の達成状況、施策目的に向かってどのような成果があったのかなど、各施策に対する前年度の状況について記載しました。

施策に対する評価については、一次評価（施策担当部署評価）及び二次評価（行政評価会議[*1]評価）ともに、「施策成果の達成度」「貢献度」の２つの観点から「観点評価」を行った後、それらを含めた「総合評価」を行いました。また、「課題」及び「今後の方向性」では記述式で評価を行いました。

◆評価項目と評価の内容

評価項目	評　価　内　容
観点評価	施策評価では、施策を構成する事務事業の達成状況や貢献度などを見ながら、「施策成果の達成度」「貢献度」の２つの観点から各施策の評価を４段階で行いました。 **【観点評価】** **ア「施策成果の達成度」の観点** 施策及び成果指標について、どの程度達成できたかという観点から評価を行いました。 **イ「貢献度」の観点** 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当か、当該施策の成果が「施策目的」に明確に貢献しているかという観点から評価を行いました。 **【評価基準】** 高　　い・・・充分な施策の展開が図られた やや高い・・・おおむね施策の展開が図られた やや低い・・・あまり施策の展開が図られなかった 低　　い・・・まったく施策の展開が図られなかった
総合評価	設定した成果指標を達成できるかを念頭に置きながら、総合評価について、最も適当であると判断するものを、次の３段階から選択しました。 **現状維持**　・・・・・細かな見直しを行いながら引き続き取組を進める **拡　　充**　・・・・・新たな事務事業の追加や予算等の投入などを行う **改善・見直し**　・・・施策目的達成のために事務事業の見直し、改善を行う
課　　題	施策目的の達成に向けて現在発生している問題を整理し、それを解決するためにすべきことを記述しました。
今後の方向性	今後の当該施策実施の方向性について記述しました。

[*1] **行政評価会議**･･･行政評価会議規程（平成 21 年訓令第 5 号）に基づく会議。総務政策部長が主宰し、市の行政評価の推進を図ることを目的とする。会議は、総務政策部長、市民福祉部長、産業経済部長及び教育委員会事務局長で構成する。

■外部評価の方法

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートし、平成 29 年度からは市の施策について透明性及び客観性を確保することを目的として、施策評価の外部評価を実施しています。

令和 5 年度実施施策の外部評価は、総合計画審議会から担っていただき、施策の選定にあたっては、施策大綱の 6 分野から各 2 施策を選定しました。

◆選定した外部評価対象施策

分　野	外部評価対象施策	担当課	関係課
生活基盤	道路機能の維持向上	建設課	―
	自助・共助・公助の仕組みの充実	防災安全課	消防本部総務課
環境衛生・自然	森林資源の利活用の推進	農林整備課	―
	地球温暖化対策の推進	生活環境課	―
健康・福祉	すべての市民が自立できる環境の構築	福祉支援課	介護福祉課
	暮らしの支援体制の推進	介護福祉課	―
産業	力強い農業経営の構築と地域産業の活性化	農政課	農林整備課 学校教育課
	競争力強化に向けた商工業者への支援	商工課	―
教育・文化	子育て環境の整備	子ども課	―
	市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	学校教育課	生涯学習課
市民協働 ・自治体運営	地域づくりに向けた移住・定住の促進	地域創生課	北部事務所 都市整備課
	行政改革の継続とデジタル化の推進	企画政策課	子ども課 都市整備課

4 一次評価及び二次評価の結果

【第１節　生活基盤】

施　策　名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
道路網の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
道路機能の維持向上	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ライフラインの維持向上	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公共交通の持続可能な地域交通網の推進	一次評価	高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
情報通信基盤の整備と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	拡充
住環境の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助・公助の仕組みの充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助を支える支援体制の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
防災基盤の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第２節　環境衛生・自然】

施　策　名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
豊かな自然と美しい景観の保全	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林と里山の再生	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
野生鳥獣との共生	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然環境を活用した地域づくりの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林資源の利活用の推進	一次評価	低い	やや高い	改善･見直し
	二次評価	〃	〃	〃
環境教育と環境学習の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民協働による環境保全活動の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ごみの減量化とリサイクルの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地球温暖化対策の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公害の抑制と生活環境の保全	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第３節　健康・福祉】

施　策　名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
健康づくりの推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
疾病予防と重症化防止対策の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
すべての市民が自立できる環境の構築	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
安心して暮らせる公共空間の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
暮らしの支援体制の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
高齢者の社会参加の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
健康管理システムの充実	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
医療資源の育成	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第４節　産業】

施　策　名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
新たな特産品づくり、ブランド化の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	改善･見直し
力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	改善･見直し
森林・里山を活用した地域の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
競争力強化に向けた商工業者への支援	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
地域資源を最大限に活かした観光の振興	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
起業の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
定住人口確保のための取組の強化	一次評価	やや高い	高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
戦略的な人財確保・企業誘致の推進	一次評価	高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	高い	〃

【第５節　教育・文化】

施　策　名	評価	ア　達成度	イ　貢献度	総合評価
誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	一次評価	低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
生涯学習推進体制の充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的・効果的な施設運営	一次評価	やや低い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
明るくのびのびとした子育て	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
乳幼児教育の仕組みづくり	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の整備	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
安全・安心な学校施設の整備	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
芸術・文化活動の促進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
地域文化の振興と発信	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
文化財の保護と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
スポーツ活動推進のための体制強化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツにおける広域連携の推進	一次評価	やや低い	やや低い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃

【第６節　市民協働・自治体運営】

施　策　名	評価	ア　達成度	イ　貢献度	総合評価
まちづくりへの市民参画の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
協働体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
支え合う地域づくりの支援	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりの活性化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりに向けた移住・定住の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的で効果的な行政運営	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
行政改革の継続とデジタル化の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	拡充
健全な財政運営	一次評価	高い	高い	現状継続
	二次評価	〃	〃	〃

5 外部評価の結果

外部評価は、総合計画審議会から 2 班体制に分かれていただき、1 班 6 施策、合計 12 施策の評価を行いました。各施策の総合評価について、二次評価までと同様に 3 段階で評価し、評価の理由や施策に対する意見等を筆記式で評価しました。

(1) 施策に対する評価結果

第１節　生活基盤

道路機能の維持向上

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 ・ 意見等	○生活道路の整備や道路関連の維持管理、更新には莫大な予算が必要であり、計画的に進めることが不可欠だ。当初設定した事業規模に見合う施策を確実に実行することが肝要である。そのうえで、その時々の状況に応じた課題解決のための具体的な事業の検討、実行は重要であると考える。 ○道路機能の維持向上や冬季間の機械除雪、融雪は、本当に市民生活に欠かせないインフラだと思うが、予算にも限りがあるので、緊急度や受益者を見ながら、効果的・効率的にやることが必要と思う。 ○高齢化社会は待ったなしに進んでいると思うので、ユニバーサルデザイン化やバリアフリー化を進めつつ、引き続き社会資本の老朽化対策、長寿命化にも取り組んでもらいたいと思う。 ○課題にも記されているように機械除雪オペレータの高齢化が進み、担い手不足が大きな問題となっている。除雪作業は土日祝日に関係なくあるため、若年労働者から敬遠されがちである。そのような現状をふまえ、今後は除雪作業の必要性や重要性をさらにＰＲするとともに、労働環境を改善しやすい施策を行い、若年オペレータが増えていくような取組もお願いしたい。 ○当地特有の事情に起因するかもしれないが、消雪施設に関する活動指標が目立つ。ゲリラ豪雨等不測の事態への対応策の検討も今後必要と考える。 ○機械除雪オペレーターの高齢化、担い手不足に対する対応策として免許取得のための費用補助等で対応しており、一定の評価に値する。

自助・共助・公助の仕組みの充実

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由・意見等	○消防団確保のための具体的な対策が必要と思う。 ○評価は担当課のみであり、今後、消防団も含め評価すべきと思う。 ○人口が減少していく中で、防災に関する自助・共助・公助に関する取り組みは重要であると思う。 ○防災連携協定の締結数に関しては、令和３年度から動きがみられないので、目標達成のための計画の見直しや努力が必要のように思う。 ○火災に関しては、南本町での火災時にみえた自助、共助、公助の課題があれば、ぜひ今後に反映し、活かしていただきたい。 ○火事だけでなく、いろいろな災害が起こる中で、消防団管理運営事業は引き続き力を入れて進めていただきたい。

第２節　環境衛生・自然

森林資源の利活用の推進

一次評価：改善・見直し／二次評価：改善・見直し

総合評価	改善・見直し
評価の理由 ・ 意見等	○成果指標の達成状況から森林資源の利用量が年々減少しているという観点から改善・見直しと判断した。 ○地産地消を促すのであれば、さらに力を入れてＰＲしないと成果が出ないと思う。 ○カーボンオフセット、クレジットについて、さらに取り組んだほうがよいと思う。 ○森林整備や里山整備は、近年問題になっている熊、害獣対策のためにも大変重要と思う。その施策と絡めて、この事業も推進していけばよいと考える。 ○成果指標は、森林資源の利用量だけではなく、販売金額や販売数量で設定するのも良いのではないかと感じた。 ○建物の材料とする等、大規模に材料を必要とする場合は、市が大いに関わり、後押しをする必要がある。その点について、今後も研究・検討が必要と感じた。 ○森林資源は林業という産業面からは成り立たなくなり、涵養能力やＣＯ$_2$の吸収機能など環境面での期待が大きいものに変わった。利用量という視点でなく、別の指標を設定するなど時代に合った施策を期待する。 ○成果指標である森林資源の利用量や地元産木材使用量が減少しているため、要因を検証し、実績が上向くような事務事業の見直し等が必要と考える。特に、「市外に向けたＰＲや販路拡大」が課題であれば、その取組に力を入れることも有効であると思う。 ○森林の少ない関係都市、民間、市民等をもっと巻き込み、関係人口を増やし、いろいろな利用を積み上げていくと良いのではないか。需要があれば供給もあり産業も生まれていく。

地球温暖化対策の推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 ・ 意見等	○再生可能エネルギー機器設置件数が目標の 62.5%で、達成度評価が「やや高い」は甘いのではないか。 ○地球温暖化は捉えにくい課題だが、子どもへの教育も含め、地道な活動が必要と思う。 ○子供に対するエコチャレンジの参加人数の増加や、省エネ対策に関する取組は成果も出ているので、引き続き行っていただきたい。 ○カーボンニュートラルに関しては、魚沼市の広大な森林資源を活かし、排出量と吸収量の測定や、Ｊクレジットの強化など、より積極的な取組などを期待する。また、魚沼市としての実態、今後のために市民と一緒に何をしていく必要があるのかの精査、方針があると良い。 ○「雪の国魚沼」ならではの、雪を活用したエコ事業への取組がみられるとさらに良い。 ○施策成果の達成度について、エコチャレンジ数が多いことは凄く良いことだと思うが、それをもって「やや高い」と評価するのは疑問である。実績を見た感じでは、達成率は高くなく、改善する必要があるのではという感想である。 ○この施策は目に見えないもので、着地点や目標が難しいが、CO_2を減らすための手法は国、各県、市町村の共通認識が必要と思う。

第３節　健康・福祉

すべての市民が自立できる環境の構築

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	拡充
評価の理由 ・ 意見等	○障害者基幹相談支援センターが開設され、障害者の相談窓口は増えたが、相談支援専門員の新規確保がなされていない点や、更なる障害に対する周囲の人の理解を進めるためにもＰＲ活動を充実してほしいため拡充と判断した。 ○すべての市民が自立できる環境の構築のためにも、教育の充実、支援として職業訓練や生涯学習の機会を提供し、スキルや知識を身につけることで自立を促進できるような施策。また、地域社会との連携を強化することにより、支え合う環境をつくり、ボランティア活動や地域イベントを通して障害者ばかりでなくすべての人が地域社会に参加し相互支援の輪が広がるような施策を期待する。 ○成果指標を見ると、障害のある人もない人も一緒に生活をしているという意識が、まだ低いように感じる。そういうことを考える施策が欲しい。 ○障害者に対する偏見をなくすようなＰＲが大事だと感じる。 ○住みやすいまち日本一を目指しで、障害のある人も一緒に暮らせるまちを目指すような方向性を持ってもらいたい。 ○地域における自立や社会参加の実現から考えれば、地域民間企業の障害者雇用に対する取組は十分とは言えない。支援策の拡充等が必要ではないか。 ○方向性は良いので、事業的に追加して令和５年度成しえなかった事業を追加し、施策目標に近づけていくようにしたらどうか。

暮らしの支援体制の推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 **・** **意見等**	○フレイル予防についての教育の必要性を感じている。フレイルについての知識が高まれば、今どのように過ごせばよいのかを考えて行動するきっかけとなり、家に閉じこもりがちな高齢者に明るい希望を与えられると考える。フレイル予防には、地域のお茶の間への参加や男性の場合には近所の友人との関りあいの重要性など、社会参加の機会を与えるものを提案し、また同時に、栄養指導なども並行して実施すると成果が出るのではないか。それをしっかり体系化し、評価できると次の一手につながるものと考える。 ○介護予防教室などで、興味のある人、やる気のある層はさらに参加していくが、興味のない人や参加してほしい層が来ないことが課題である。 ○超高齢化社会が進む中、啓発活動をはじめ、連携が強化されるよう引き続きの取組を望む。 ○体を動かす教室を行なうファシリテーターを今以上に育成し、介護予防の指導ができるような仕組みを構築していかないと、高齢者が多い地域を若者で何とかするのは難しくなってくる。 ○介護に携わる外国人の増員と生活支援が必要と思う。

第４節　産業

力強い農業経営の構築と地域産業の活性化

一次評価：現状維持／二次評価：改善・見直し

総合評価	改善・見直し
評価の理由 ・ 意見等	○担い手不足が今後さらに課題となってくると思うので、それを補うために農業に特化したＤＸ化やＩＣＴ技術の導入の施策なども加えれば、若者も魅力を感じ、農業をやりたいと興味を持ってくれるのではないかと考え、改善・見直しと判断した。 ○担い手と新規就農者との違いはノウハウなどの成熟度合いがあげられる。新規就農者が成熟し、担い手になり得るまでの事業が必要と感じる。 ○担い手の実質増加は難しいと感じるが、今後地域計画で描かれた内容に沿って適正管理が可能な作付面積などを明確化する必要がある。 ○地域計画策定後の令和７年４月には法律が変わり農地契約の方法が変わる。今後、担い手としての成熟を目指す農家がさらに希望をもって成長できるよう、目標地図の追加変更についてのフォローをお願いしたい。 ○地域計画の策定を受けて見えてきた課題や手だてなどについて、今後検討する必要がある。 ○地域の特色が見える取組が必要と感じた。 ○せっかく全国屈指のブランド力を持つコシヒカリやユリが有るのに販売戦略が示されていない。世界の白米を食べる文化圏への積極的な販売を行えば、高付加価値で売れるし減反も必要ない。農業者収入も上がり、魅力的な産業へと変わることも可能である。計画を見直し、官民挙げての取組を期待する。 ○外国人雇用に関する支援の件を、ぜひ早くに進めてほしい。 ○持続可能で力強い農業経営の構築を目指し、若者がやりたいと思う農業にするよう育成支援や新規就農者援助に取り組んでいるが、農地利用面積の集積化など大型化によって進められており、兼業農家など色々な形態の農家があると思うので、それらの農家もうまく支援してほしい。 ○力強い農業経営、つまり収益が実現できるモデルを早期に作らないと農業の担い手は確保できないだろう。

競争力強化に向けた商工業者への支援

一次評価：拡充／二次評価：拡充

総合評価	拡充
評価の理由 **・** **意見等**	○外国人雇用に関する支援の件を、ぜひ早くに進めていただきたい。 ○商店街の活性化はポイントなどの短期的なものと並行して街をどうしていくのかという長期的、大局的な視点で対策を打たないと衰退一途ではないかと感じる。 ○人材育成、能力開発が重要と考える。国の制度、助成金などと併せて取り組んでいただきたい。 ○働き手の年齢構成は、高齢者が圧倒的に増加しているので、高齢者の活用が重要と感じる ○商業においてのにぎわいづくりは商店街の活性化にむけて重要な課題だが、魚沼市の少子高齢化の現状をみると相当厳しい。今、世の中の動きで活発なのは、高齢者やその少し前世代の健康づくりの意識と自分の健康、それを医療と科学をからめた先進的な分野といえる。そのあたりを踏まえ、にぎわい館（仮称）を、定期的に気軽に立ち寄って血圧、活動量チェック（歩数から換算する機器)、体組成（体重、体脂肪、筋肉量など)、オキシパルスメーター（動脈血酸素飽和度）を計測できる魚沼市健康センターのような機能を一部で持たせてはどうか。 ○どこにどういう目的で予算を充てて行なっていくのか、しっかり検討が必要と感じる。

第５節　教育・文化

子育て環境の整備

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 ・ 意見等	○子育ての駅かたっくりの利用者数について、令和５年度 36,490 人（市内 20,075 人、市外 16,415 人）とのこと。凄いことだ。市外からの利用があることは利用しやすいからである。「子育てのまち　日本一」を目指すなら、大いに利用してもらえばいいと思う。先々、相乗効果が出てくると思う。さらなるＰＲをして進めてほしい。期待している。 ○引き続き、子育ての駅の周知に取り組みつつ、地域内の連携を深めていただきたい。 ○日本人の体力低下が課題となっている昨今で、子育て環境の整備は大きな役割を果たす。未就学児までの運動体験や自然と触れ合う生活習慣で、少年期の体力の基礎ができていく。自然豊かな魚沼では食も、生活環境も子供の教育には大きな長所となっているのでそれを活かす環境が重要となっていく。ぜひ、子供を育てやすい環境をこれからも整備し推進していただきたい。

市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	拡充
評価の理由 **・** **意見等**	○コミュニティ・スクールが有効に機能するには、時間と経験が必要との認識は同感できる。現状の学校運営協議会の回数や参集範囲、開催目的等では信頼関係を深めるまでには至らないと感じている。学校、家庭、地域が信頼関係を深めるためには、参集範囲の裾野を広げることや、ざっくばらんに話し合える場の頻度を上げる必要がある。また、コミュニティ・スクール推進員にかわる役割の確立や予算措置も必要である。これらのことから、今後拡充が必要と感じる。 ○魚沼市は子育て支援が充実している方だと思うが、ボランティアスタッフの確保が課題だと思う。時代の変化により子育ては親だけの責任でなく、地域全体で取り組む課題だという共通認識を持つことが必要であり、そうした気運情勢のため更なる施策の拡充を期待する。 ○魚沼市の未来を担う子供たちが、「ふるさと」への意識向上、大人になって地元で生活したい、地域活動に参加したいと思ってもらうためにも、コミュニティ・スクール推進委員やコーディネーターを増員し、時間をかけて取り組んで行かなければならない施策であると考えた。学校教職員との連携も重要であり、人事異動もあり制度を定着させるのも困難と聞くが、予算を増やし、地域住民が主体的にこの施策に関わっていけるよう拡充と判断した。 ○コミュニティ・スクールの充実のため、学校・地域の関連を含める。そのために推進員・コーデネーターに充てる予算を増やし、充実を図るのも策と思う。多数のボランティアと優秀なコーデネーター、それをまとめる事務局があれば、円滑な事業が行われる率がより高くなると思われる。また、ボランティア登録数が多くなるような事業を考えて進め、児童・生徒が家族にいない人たちにいかに周知し、求め賛同を得ていくか。まず、この周知されている人たちがまだ狭いのかもしれない。 ○コミュニティ・スクールの実態がよくわからない。 ○活動指標は一見充足しているようであるが、活動の検証が不十分ではないか。 ○教師、地域住民、保護者等の生の声を反映させないと表面的な評価に留まる懸念がある。

第６節　市民協働・自治体運営

地域づくりに向けた移住・定住の促進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 ・ 意見等	○移住者の空き家バンク利用が少なく、移住促進とリンクしていない。空き家を魅力的にする施策が必要である。 ○市は、現在４大学と包括連携を締結している。新潟工科大とは、市、商工会、魚沼市ものづくり振興協議会と、ほぼ毎月、意見交換を実施し、オープンキャンパス、ロボット教室、まちの仕事発見塾、市内企業見学、インターンシップ等の連携事業を毎年継続している。他の３大学との連携事業をしていないのではないか。名だけの包括連携では意味がないと思う。今後、中身のある包括連携にしていく事業をご検討してほしい。 ○市内金融機関が中古住宅購入改修支援を行なっている。ぜひ、こういう取組を利用して、連携して一緒に取り組むと良いと思う。 ○令和６年度から農村文化創生事業が始まるということで、郷人会等との連携もあるようだ。そこと地域おこし協力隊とのリンクがあまり無いと感じている。そこのリンクがうまくいくと、もう少し協力隊の事業の実績も出てくるし、関係人口も出てくると思う。 ○移住定住の窓口が、もっと相談しやすい窓口としてあるといい。マッチングができる。 ○他の自治体で、外に行った人同士がつながるコミュニティがある。そういう仲間がつながっているコミュニティがあると、色んな世代で一つずつ色んなコミュニティがあると、より魚沼とつながり、関係人口がつくれるんじゃないかと思う。 ○空き家は、移住してくる人にとって引っ張ってくる理由になっていないと思う。魅力として空き家が使える、それじゃ魚沼を選ぼうという形になってくれると一番良いと思う。 ○移住定住で来た人に、最初は「魚沼市によく来てくれた！」と言って欲しい。

行政改革の継続とデジタル化の推進

一次評価：現状維持／二次評価：拡充

総合評価	改善・見直し
評価の理由 **・** **意見等**	○社会全体が情報化社会を迎えており、魚沼市にもデジタル化の波は大きく押し寄せていると感じる。デジタル人材の育成やペーパーレス化にも取り組んでいるとのことだが、デジタル化は、うまくはまれば利便性向上に繋がるが、情報漏洩を防止するためのセキュリティの問題や高齢者等デジタル弱者を切り捨てないユニバーサルデザインの業務改革も必要である。また、デジタル技術は目まぐるしい進化を遂げている。今後もその流れや変化は加速していくものと考える。その流れに後れを取らないためにも、この施策を推進してもらいたいため、改善・見直しと判断した。できれば、費用対効果の検証も併せて行い、情報管理のスピード化などで残業時間の削減等も検討してほしい。 ○総合行政システム等管理事業については、デジタル化の推進による業務の効率化やコスト削減に寄与するものと思うが、その効果の検証を行うことで拡充か見直しかが初めて検証できる。 ○デジタル化の技術・進歩のスピードは５年・１０年先が見通せないレベルであり、常に改善見直しが必要と判断する。 ○行政手続きのオンライン化については、今後も目標値に向けた取組をお願いしたい。市の公式 LINE の普及拡大と効率的に利用できる事業が必要であると感じる。 ○デジタル化については、役所は民間に比べ遅れている。 ○デジタル化のスピードは日進月歩である。デジタル難民の問題は別で考えないと進まないので積極的な取組を望む。 ○効率・低コストも踏まえたデジタル化と思うが、一般市民対象のものは啓発も行い、なるべくデジタル難民がでないようにお願いしたい。 ○デジタル人材について、所内育成とのことであるが、変化が速い分野であり、思い切って外部人材の採用（スポット採用）などに着手し、スピードを上げても良いのではないか。 ○所内の行革を一層進めるならば、例えば「デジタル推進課」など、独立させて非効率業務見直しに横ぐしを刺していくべきではないか。

Ⅱ　評価結果総括

1　評価結果の概要

(1)　施策に対する総合評価結果

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合(%)	施策数	割合(%)
現状維持	55	88.7%	50	80.6%
拡　　充	5	8.1%	6	9.7%
改善・見直し	2	3.2%	6	9.7%
（　合　計　）	62	100.0%	62	100.0%

施策に対する総合評価結果について、一次評価では 62 施策中、「現状維持」が 55 施策で全体の 88.7%を占め、「拡充」が 5 施策、「改善・見直し」が 2 施策という結果に対し、二次評価では「現状維持」の割合が 80.6%となり、「拡充」が 1 施策、「改善・見直し」が 4 施策増加する結果となりました。

(2)　二次評価による総合評価の変更

評価変更の内容	施　　策　　名	担当課	関係課
現状維持 → 改善・見直し	新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	商工課	農林整備課
現状維持 → 改善・見直し	力強い農業経営の構築と地域産業の活性化	農政課	農林整備課 学校教育課
現状維持 → 改善・見直し	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	生涯学習課	―
現状維持 → 拡充	情報通信基盤の整備と活用	企画政策課	―
現状維持 → 拡充	行政改革の継続とデジタル化の推進	企画政策課	子ども課 都市整備課
拡充 → 改善・見直し	効率的・効果的な施設運営	生涯学習課	―

行政評価会議による二次評価では、より行政の透明性を高め、効率的で効果的な施策の推進や改善を促すことを意識して評価を行った結果、3 つの施策が「現状維持」から「改善・見直し」へ、2 つの施策が「現状維持」から「拡充」へ、1 つの施策が「拡充」から「改善・見

直し」へ変更になりました。

(3)　施策に対する評価結果（達成度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合(%)	施策数	割合(%)
高　　い	11	17.7%	8	12.9%
やや高い	35	56.5%	34	54.9%
やや低い	14	22.6%	18	29.0%
低　　い	2	3.2%	2	3.2%
（　合　計　）	62	100.0%	62	100.0%

施策成果の達成度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の約7割を占める結果となりました。

達成度が低くなる傾向は見られたものの、おおむね順調に進捗していると考えます。

(4)　施策に対する評価結果（貢献度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合(%)	施策数	割合(%)
高　　い	12	19.4%	13	21.0%
やや高い	49	79.0%	48	77.4%
やや低い	1	1.6%	1	1.6%
低　　い	0	0.0%	0	0.0%
（　合　計　）	62	100.0%	62	100.0%

貢献度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の9割以上を占める結果となりました。また、「やや高い」だけでも全体の8割近くを占めています。

(5)　課題・今後の方向性

各施策の一次評価、二次評価において、令和7年度実施の施策に向けた検討や改善等の考え方が示されており、現在実施している施策の経過と合わせ、令和7年度事業に反映させることとします。

２　行政評価における今後の取組

行政評価制度は、行政運営・行政経営の仕組みの一つとして重要な役割を担っています。

今後は、効率的・効果的な施策の推進と改善を図っていくとともに、評価結果を公表し、情報を公開することとします。

(1)　令和６年度実施施策の事後評価に向けて

①　改善の取組

今回の評価結果を担当部署に報告し、施策及び施策を構成する事務事業の改善に取り組みます。

②　評価結果の公表

評価結果については、市議会へ報告し、市のホームページ等により公表します。

(2)　令和７年度の実施計画に向けて

施策を構成する事業の追加と削除の検討

今後も効率的、効果的な施策の推進を図るため、今後実施する実施計画のローリング作業において、事務事業の追加や関係性の薄い事業の削除を検討します。

３　評価結果の活用方法

行政評価の結果は、事業担当課において事業実施手法の見直しや改善、目標管理のツールとして活用するとともに、総合計画実施計画の中の進行管理把握のための資料や予算編成資料として活用します。

また、行政評価結果を報告書として取りまとめ、市議会への情報提供、市のホームページへの掲載を行います。

魚沼市行政評価

施策評価 実施結果報告書

（令和５年度実施事業）

発　行／魚沼市
〒946-8601　新潟県魚沼市小出島 910 番地
TEL 025-792-1000(大代表)　FAX 025-792-9500
編　集／魚沼市行政評価会議
事務局／総務政策部　企画政策課 企画調整係
〔URL〕 https://www.city.uonuma.lg.jp/
〔ｅ-mail〕 kikaku@city.uonuma.lg.jp

Uonuma City
Niigata

令和5年度実施
施策評価結果シート

－ 別 冊 －

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	産業経済部　建設課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	安心で便利な生活基盤の整備	関係課	都市整備課	
施 策 名	1号	道路網の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域発展や産業の振興を図るため、道路利用者の安全・安心を確保し、かつ利便性の高い道路交通ネットワークの強化に努めるとともに、災害時の孤立や交通の途絶を解消するため、雪や災害に強い道路交通ネットワークの形成を効果的にすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
314		市道整備事業	8 2 2	建設課	216,231	193,247	332,632	282,201			やや高い	B
		事業の取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。									
329		都市計画策定事業	8 4 1	都市整備課	0	5,687	7,819	6,878			やや高い	B
		事業の取組内容	都市計画マスタープランの更新に向け基礎調査等を行う。									
331		都市再生整備計画事業	8 4 1	都市整備課	2,665	15	3,468	4,237			やや高い	A
		事業の取組内容	立地適正化計画に掲げるコンパクトなまちづくりの推進を目指し、都市機能誘導区域に定めた小出市街地等のまちづくりの検討を行う。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	道路の整備延長	4,017 (H28～R1累計)	目標値	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	7,500	m
			実績値	2,607	4,244	5,584				
	県・市管理道路のR3～R7の累計		達成率	173.8%	141.4%	124.1%	%	%		
2	道路整備に対する満足度	59.6 (R1調査)	目標値	―	―	65	―	―	65	%
			実績値	―	―	70.9	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	109.1%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
314	工事実施路線数（単年度） 実施路線／実施予定路線		目標値	11	21	29	36	43		
			実績値	9	19	27				
314	測量設計実施路線数（単年度） 実施路線／実施予定路線		目標値	9	17	20	33	34		
			実績値	8	14	18				
329	立地適正化計画改定の進捗率 累計事業費／全体事業費		目標値	－	50	100				
			実績値	－	50	100				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市道整備事業の実施により、市道七日市14号線、市道伊勢島本線など地域住民の暮らしの基礎である生活道路を整備することで、冬期間の機械除雪が円滑に行われ、また緊急車両の円滑な移動が確保され、安全で快適な暮らしに貢献できました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	道路の整備延長の目標4,500mに対し、R5実績では5,584mと、達成率が124.1%となりましたが、一部路線において、予定通り完了できなかった路線があることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	コンパクトなまちづくりの推進を図るため道路整備は交通ネットワークの強化において重要であることから「やや高い」と評価しました。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	都市機能の充実と中山間地の生活基盤整備を並行し、コンパクトなまちづくりにも配慮しながら道路整備を進めていく必要があります。 地域要望を基本に、国・県道路事業や市の公共施設整備、大規模開発など周辺環境の変化にも対応しながら、施策目的の達成に向けて、効果的な道路交通網整備を進めます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	産業経済部　建設課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	安心で便利な生活基盤の整備	関係課		
施 策 名	2号	道路機能の維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の実情に即した道路の機能向上、高齢者や障害のある人が安全に移動できる生活道路を整備するため、ユニバーサルデザイン化を促進します。

施設の状況や維持管理コストを踏まえたうえで、長寿命化を図りながら効率的な維持管理・更新をすすめます。また、冬期間の安全・安心な道路交通を確保するため、効率的な除雪体制の確立及び消融雪施設の整備や除雪計画に基づいた円滑な道路除雪に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
315	○	消融雪施設整備事業	8 2 2	建設課	161,001	204,284	236,719	236,360			高い	A
		事業の取組内容	消融雪施設の新設・更新を行う。									
316	○	橋梁等長寿命化事業	8 2 2	建設課	109,105	62,445	46,966	289,210			高い	A
		事業の取組内容	計画的に橋梁の点検を行い、適切な時期に補修工事を実施する。									
318	○	道路機械除雪事業	8 2 3	建設課	1,706,336	1,641,666	1,095,766	1,115,852			高い	A
		事業の取組内容	主要市道について機械除雪を行って冬期道路交通の確保を図る。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	歩道整備延長	3,384 (H28～R1累計)	目標値	600	1,200	1,800	2,400	3,000	3,000	m
			実績値	288	680	834				
	県・市管理の整備延長		達成率	48.0%	56.6%	46.3%	%	%		
2	バリアフリー化に対する満足度	41.0 (R1調査)	目標値	―	―	50	―	―	50	%
			実績値	―	―	59.7	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	119.4%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
315	消雪施設（井戸）更新 実施数量/計画数量	2	目標値	2	1	2	2	2	8	施設
			実績値	2	1	4				
315	消雪施設（消雪パイプ）更新 実施数量/計画数量	950	目標値	1,500	1,400	1,500	1,500	1,500	9,500	m
			実績値	2,432	3,326	1,855				
316	橋梁補修工事	3	目標値	1	0	3	2	2	8	橋
			実績値	2	2	1				
316	橋梁点検	127	目標値	139	122	47	98	124	530	橋
			実績値	140	135	48				
318	除雪機械の購入 購入数量/計画数量	3	目標値	4	3	3	3	3	16	台
			実績値	4	3	3				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

総合計画市民アンケート（R5に実施）
・道路除雪や消雪パイプの維持
　満足している・やや満足しているの割合　61.4%

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

老朽化等より市道消融雪機能が不全となった散送水管の更新（延長1.9ｋｍ）、消雪用井戸（4か所）の整備工事を行い、消融雪機能を回復したほか、定期点検での判定が悪く老朽化が進行した橋梁の補修設計（３橋）を行い、施設の長寿命化を図りました。これらの施策によって、市民が安全に道路を通行できるようになりました。

また、除雪機械の更新や機械の定期整備を適時に行い、常に安全な作業ができる体制を整えることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	計画的な事業推進により、道路機能の維持向上を進めることができましたが、成果指標が目標値に達しなかったことから、「高い」から一段階低い評価としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	道路機械除雪や消融雪施設の維持や整備により、市民の日常生活に支障ないレベルで交通を確保できたことから「高い」評価としました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	気候変動により異常降雪となることが度々あり、冬期間の交通確保が重要な課題となるなか、機械除雪オペレーターの高齢化が進み、担い手の確保が急務となっていますので、担い手確保の施策を推進していく必要があります。 消融雪施設は更新が必要な施設が多く、地域要望にすべて応えることが難しい現状ですが、市民生活に密接に関わるものであることから、緊急度や受益者数等を踏まえたなかで、計画的な更新を進めていきます。 歩道については、通学路等を重点的に整備し、歩行者の安全を確保する必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	ガス水道局 施設課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	安心で便利な生活基盤の整備	関係課		
施 策 名	3号	ライフラインの維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

ガス・上下水道は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新投資の増大などにより、経営環境が厳しくなることを踏まえ、施設の統廃合による効率化を図り、将来を見据えた持続可能な事業運営に努めます。

また、快適な生活環境を維持するために、自然災害に対して強い管路等の耐震化をすすめ、安全・安心な供給体制の維持向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
水道2		水道管耐震化対策事業	1 1 3	施設課	200,851	163,517	234,342	342,100			高い	B
		事業の取組内容	水道の安定供給を図るため、水道管の耐震化をすすめる。									
下水4		穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業	1 1 2,4	施設課	25,158	76,386	212,920	82,484			やや高い	B
		事業の取組内容	快適生活環境の継続と農村環境の保全及び経費節減を図るため、処理施設の統合、処理場の設備更新を実施します。									
下水5		下水道処理区域流域下水道統合事業	1 1 2	施設課	0	15,400	137,662	411,936			やや高い	C
		事業の取組内容	持続可能な下水道事業を目指し、単独特環公共下水道及び農業集落排水施設を魚野川流域下水道（堀之内処理区）へ接続します。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	下水道施設の統合	18	目標値	18	18	18	17	17	17	か所
			実績値	18	18	18				
	現状18か所の施設を統合し17か所にする		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%		
2	水道管の耐震化率	13.2 (R1末)	目標値	14.2	14.6	15.1	15.5	16.0	16.0	%
			実績値	14.3	14.6	14.9				
			達成率	100.7%	100.0%	98.7%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

水道管耐震化対策事業は、耐震性に優れた配水用ポリエチレン管等の布設工事を実施（1,978.9m）し、水道管耐震化率の目標値をおおむね達成することができました。

穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業及び下水道処理区域下水道統合事業は、事業の完了後に効果が現れる事業です。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	水道管の耐震化率は、成果指標をおおむね達成することができました。下水道施設の統合は、繰越もありましたが国の補正予算を活用し発注を前倒しで実施し、事業は着実に進捗しているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	水道管耐震化対策事業は、水道管の耐震化率を向上させたことにより供給体制が維持向上しました。下水道統合事業は、効率的・持続可能な下水道の事業運営に貢献する事業であるため「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	水道管の耐震化（老朽管の入替）を進めて、漏水による急な断水等で市民に不便をかけることがないようにしていくことが課題です。また、下水道の統廃合を進めることで維持管理を削減し、市民の負担を軽減させていくことが課題です。 今後の方向性としては、安心・安全な供給体制の維持向上を図るため、今後も水道管の布設替えを行い、耐震化を進めます。また、将来を見据えた持続可能な事業運営を行うため、今後も施設の統廃合に向けた事業を実施し、下水道事業の効率化を図ります。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課	地域創生課	北部事務所
施 策 名	1号	公共交通の持続可能な地域交通網の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

コンパクトなまちづくりを推進する魚沼市立地適正化計画と整合を図りつつ、基幹的な公共交通軸である乗合バスと、拠点と周辺生活圏を連絡する乗合タクシー及びコミュニティバスの運行支援等によって地域交通網を維持し、高齢者をはじめとした日常生活に必要な移動手段の確保を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
39	○	公共交通総合連携事業	2 1 6	生活環境課	114,124	115,054	116,953	163,289			高い	B
		事業の取組内容	路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。									
65	○	地域との「絆」推進事業（入広瀬地域コミバス分）	2 1 9	地域創生課　北部事務所	4,566	4,737	4,850	5,620			高い	C
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。									
67		交通安全対策事業	2 1 10	生活環境課	15,349	18,142	19,510	21,152			やや高い	B
		事業の取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	住民1人あたりの乗合タクシー等利用回数 乗合タクシー等利用者数/住民基本台帳人口(3月末)	0.81（R1実績）	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76				
			達成率	92.9%	88.6%	83.5%	%	%		
2	（上記1参考）乗合タクシー利用者数		目標値	—	—	—	—	—	—	人／年
			実績値	26,949	26,093	24,980				
			達成率	%	%	%	%	%		
3	（上記1参考）住民基本台帳人口(3月末)		目標値	—	—	—	—	—	—	人
			実績値	34,125	33,438	32,876				
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32				
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

高齢者の運転免許証の自主返納を促進及び支援するため、運転免許証を自主返納したドライバーを対象に、タクシーや路線バス等で利用できる共通回数券を交付することにより、自動車等の運転に不安を覚える方の免許証自主返納を促し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。（令和５年度共通回数券交付申請者：206人）

令和５年３月31日：路線バス「小出～小千谷線」「小出～栃尾又線」「小出～六日町線」休止届提出⇒令和５年６月１日：上記３路線　休止届取下げ（いずれも事業者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市地域公共交通計画に基づき、路線バスや乗合タクシーの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで、市内全域で公共交通空白地が解消されています。これにより、高齢者を中心とした通院や買い物など、交通弱者の移動手段を確保できたほか、唐突に直面した路線バスの休止問題を一つの契機と捉え、交通事業者の分野の垣根を越えた「共創」による取組が進んだことにより、湯之谷地域及び守門地域において令和６年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができ、地域住民の利便性の向上に寄与しました。

また、魚沼市交通安全協会や小出警察署と連携した交通安全の普及・啓発活動が功を奏し、交通事故件数、交通死亡事故件数のいずれも前年を下回り、市民の安心な暮らしを下支えすることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	路線バスや乗合タクシー、コミュニティバスの運行支援を行うことにより、自家用車に頼らない交通手段の維持を図ることができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	公共交通体系の維持を図ることで、市内全域で公共交通空白地が解消され、高齢者等交通弱者の移動手段を確保することで、安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	人口減少や少子高齢化、高まる移動ニーズの多様化に加え、交通事業者の人材確保といった課題を抱える地域公共交通は、大きな転換期を迎えています。特に、社会問題となっているバス運転手不足は全国的な喫緊の課題といえ、自助・共助により取り組まれているコミュニティバスの運行についても、次世代を見据えた担い手確保が必要になっています。 令和５年度は、湯之谷・守門地域において令和６年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができたほか、令和６年度には、より柔軟かつ効果的な移動手段であるＡＩオンデマンド交通実証運行の実施を予定しており、地域の特性に応じた持続可能な地域交通網の最適化を図りながら、公共交通の利用促進及び市民満足度の向上に努めていきます。 なお、交通安全の推進については、これまで築き上げた関係機関の連携協力体制を維持し、交通事故発生率の高い高齢者への働きかけとして、運転免許証の自主返納の促進、普及・啓発活動、交通安全教育の強化に継続的に取り組んでいきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	総務政策部　企画政策課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課		
施 策 名	2号	情報通信基盤の整備と活用			

2. 施策目的（目指すすがた）

情報通信基盤においては、市内どこでも情報が早く的確に伝わることをめざすとともに、地域に密着した情報を発信できる環境整備及び公共施設や商業施設、観光施設等への公衆無線ＬＡＮの設置をすすめ、また、情報通信技術を積極的に活用することで関係人口を増やし、利便性の高い地域の実現を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
57		ＩＣＴ推進事業	2 1 7	企画政策課	423	200	990	2,458			やや高い	B
		事業の取組内容	市民や来訪者の利便性を向上させるため、公共無線LAN環境整備の支援を行うほか、デジタルに不慣れな方に向けてのスマートフォン教室を開催する。									
526		総合行政システム等管理事業	2 1 7	企画政策課	194,472	210,620	186,476	260,000			高い	B
		事業の取組内容	公共施設において公衆無線LANを設置し、地域に密着した情報を発信できる環境を整備する。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	コミュニティFM放送聴取可能世帯の割合	98 (R1実績)	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	98	100	100				
			達成率	81.4%	100.0%	100.0%	%	%		
2	メール配信登録者数	7,297 (H28～R1累計)	目標値	9,000	10,500	12,000	13,500	15,000	15,000 (H28～R7累計)	人
			実績値	9,480	9,505	9,706				
			達成率	105.3%	90.5%	80.9%	%	%		
3	公衆無線LAN設置支援件数	－	目標値	3	6	9	12	15	15 (R3～R7累計)	件
			実績値	2	3	4				
			達成率	66.7%	50.0%	44.4%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
57	行政手続のオンライン化	16	目標値	21	28	35	42	52	52 (R3～R7累計)	種類
			実績値	16	19	20				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

公衆無線LAN設置支援においては、補助金交付件数が1件ではありましたが、公衆無線LANを利用できる施設が増えたため、市民の利便性向上につながりました。

また、地域デジタル人材育成講座の受講者が講師となって地区公民館２館で高齢者向けスマホ教室を行い、高齢者がスマートフォンの基本的な操作や利便性と危険性を学ぶ機会を作り、多くの方がデジタルの恩恵を享受できる社会の構築に向けて進むことができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	地区公民館で高齢者向けスマホ教室が実現したことで、誰もがデジタル技術の恩恵を受けることができる社会に一歩近づいたと判断し、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市公式LINEの運用開始や公開型GISの更改など、情報通信基盤を活用するツールを増強できたことで、関係人口の増加にも期待できるため判断しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	市の情報をより多くの方が得られるよう、市公式LINEの登録者を増やす取組を進めるとともに、デジタル技術を活用し、誰もがより豊かな生活を送ることができるようスマートフォン教室を継続し開催します。 また、公衆無線LANについては、公共施設への計画的な整備を進め、民間施設への設置も同時に進むよう継続的に支援をしていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	メール配信登録者数及び公衆無線LAN設置支援件数が目標に到達していないため「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価に加え、行政手続のデジタル化を進めるにあたっては、デジタル機器に不慣れな方でも扱えるようなシステム、ソフトの導入を検討すること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	産業経済部　都市整備課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課	地域創生課	
施 策 名	3号	住環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

屋根雪除雪の安全対策や一般住宅の克雪化、耐震化などをすすめるほか、法令に基づき空き家対策として所有者等に解体・撤去を含めた適正な管理を促すとともに、空き家バンクなどを通じて有効活用を図ります。

また、公営住宅については、計画的な改修による長寿命化を図るとともに、民間活力も視野に入れながら利便性の高い市街地周辺に住民ニーズに対応した再編整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
45	○	移住定住促進事業	2 1 6	地域創生課	1,588	6,079	16,196	26,009			やや高い	B
		事業の取組内容：移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。										
341		公営住宅等大規模改修事業	8 5 1	都市整備課	10,175	385	82,149	－			やや高い	B
		事業の取組内容：老朽化が進む公営住宅の計画的な大規模改修を実施する。										
342		公営住宅整備事業	8 5 1	都市整備課	6,582	14,383	3,783	93,667			やや高い	A
		事業の取組内容：建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。										
343		克雪すまいづくり支援事業	8 5 2	都市整備課	8,805	3,419	5,217	6,000			やや高い	C
		事業の取組内容：克雪住宅の整備を行う者に対し、費用の一部を補助する。										
344		住宅耐震化等支援事業	8 5 2	都市整備課	100	0	810	3,210			やや高い	B
		事業の取組内容：木造住宅の耐震診断・改修等を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。										
345		屋根雪除雪安全対策事業	8 5 2	都市整備課	2,312	5,484	2,671	5,500			やや高い	B
		事業の取組内容：屋根の雪下ろし作業用の命綱を固定するための金具の取付等の費用を助成する。										
346	○	住宅リフォーム支援事業	8 5 2	都市整備課	62,958	68,080	61,470	60,267			やや高い	B
		事業の取組内容：個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	克雪住宅支援件数	－	目標値	40	80	120	160	200	200（R3～R7累計）	件
			実績値	58	142	200				
	克雪すまいづくり支援件数＋屋根雪除雪安全対策支援件数		達成率	145.0%	177.5%	166.7%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	空き家バンクの登録件数	21 (H28～R1 累計)	目標値	24	28	32	36	40	40 (R3～R7 累計)	件
			実績値	25	32	44				
	令和3年から令和7年の累計		達成率	104.1%	114.2%	137.5%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38				
45	ふるさと応援住民登録（累計）	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975				
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281				
341	公営住宅改修工事設計実施数	0	目標値	0	0	1	4	4	4	棟
			実績値	0	0	0				
341	公営住宅改修工事実施棟数	1	目標値	1	0	2	1	3	3	棟
			実績値	1	0	2				
342	公営住宅解体数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0				
343	克雪すまいづくり支援事業申請件数	9	目標値	40	27	17	17	17	17	件
			実績値	21	10	14				
344	耐震診断　申請件数	0	目標値	3	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	1				
344	アスベスト除去　申請件数	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0				
344	ﾌﾞﾛｯｸ塀安全対策　申請件数	0	目標値	10	1	1	1	1	1	件
			実績値	1	0	0				
345	屋根雪除雪安全対策　申請件数	19	目標値	60	60	70	70	70	70	件
			実績値	37	74	44				
345	屋根雪除雪による死傷者数	7	目標値	7	7	7	7	7	7	人
			実績値	7	5	5				
346	住宅ﾘﾌｫｰﾑ申請件数（通常・世帯要件分）	401	目標値	397	458	470	320	320	320	件
			実績値	456	492	423				
346	住宅ﾘﾌｫｰﾑ申請件数（空き家対策分）	3	目標値	3	4	5	5	5	5	件
			実績値	8	6	9				
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

空き家バンク登録件数（令和5年度：12件）
空き家バンク成約数（令和5年度：4件うち1件が市外からの移住者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

屋根雪除雪安全対策事業、克雪すまいづくり支援事業及び住宅耐震化等支援事業等住宅施策の実施により、市民の安全確保が図られたとともに、住宅リフォーム支援事業により市民が住み続けられる住環境の整備または空き家の活用を図ることができました。また、空き家バンク制度の運用により空き家の解消に寄与できました。

公営住宅については、改修工事の実施により長寿命化が図られ、老朽化した住宅から市街地周辺の公営住宅への住替えにより再編整備を進めました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	克雪住宅支援件数及び空き家バンクの登録件数が目標を上回り、住環境の整備及び空き家活用につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	住宅リフォーム支援事業を中心とした個人住宅への支援制度は、住環境の質向上、空き家の活用など快適な暮らしを支える基盤整備に貢献していることから「やや高い」と判断しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	個人住宅への支援制度は補助率や補助上限を見直すなど制度設計を検討し、住宅リフォーム事業については、国が進めるカーボンニュートラル・省エネ等に向けた見直しについても検討する必要があります。 公営住宅については、老朽化が進行していることから、令和5年度に策定した公営住宅等再編整備計画により着実に改修に取り組んでいきます。また、入居者の高齢化への対応としてバリアフリー化や間取り改善についても検討する必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	総務政策部　防災安全課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	暮らしを守る防災体制の整備	関係課	消防本部　総務課	
施 策 名	1号	自助・共助・公助の仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などで自らがその生命や財産を守り（自助）、地域や企業が助け合い（共助）、市・消防本部・消防団・警察などによる応急・復旧対策活動（公助）の役割を明確にし、連携の仕組みを充実して災害対応を円滑にします。

なお、消防団は、公助と共助の両方の側面があり、指揮統制で活躍する実働部隊であると同時に、公助と共助や自助との「つなぎ役」、住民に対する「情報伝達者」であることから、役割の明確化を図ります。

加えて、災害発生時に備えて適切な公的備蓄と感染症等を考慮した避難所運営を行うとともに、災害時の食料・物資の供給、避難所利用などに関する協定の締結を行い、緊急時の体制を整備します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
355	○	消防団管理運営事業	9 1 2	消防本部	64,924	61,201	75,154	80,993			やや高い	B
		事業の取組内容	報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など									
359	○	防災対策事業	9 1 4	防災安全課	22,286	31,740	17,138	16,702			やや高い	B
		事業の取組内容	防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	自主防災組織の加入率	94 (R1実績)	目標値	96	97	98	99	100	100	%
			実績値	96	96	96				
			達成率	100.0%	98.9%	98.0%	%	%		
2	防災連携協定の締結数	37 (R1末)	目標値	40	42	45	48	50	50	団体
			実績値	43	43	43				
			達成率	107.5%	102.3%	95.6%	%	%		
3	消防団協力事業所の数	13 (R1末)	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15				
			達成率	100.0%	93.7%	93.7%	%	%		
4	消防団員数	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
	人口比率2.5%が目標値		実績値	829	812	773				
			達成率	97.1%	96.6%	93.4%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
	自主防災組織数	参考	目標値							
			実績値	145	145	145				
	防災士数	参考	目標値							
			実績値	149	158	164				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

自主防災組織の加入数、防災連携協定団体数、消防団協力事業所数については、目標値を下回りましたが、自主防災組織の地域防災活動に対する助成や活動支援を行い、防災連携協定団体、消防団協力事業所に対しては、平時から連絡調整等により顔が見える関係づくりに努め、災害時の協力体制の強化につなげることができました。また、消防団についても、装備品の計画的な整備が進められたことにより、団員の災害活動時の安全確保を図るとともに、地域防災力の充実強化につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	自主防災組織の防災意識向上や協定団体等との関係強化、消防団の装備品整備により防災体制の強化につながっているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	自助・共助の充実を図っていくためには、自主防災組織や消防団の組織力強化や関係機関との連携強化は必要であることから、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	発災時にそれぞれの自主防災組織がどのように行動するのか、具体的な話し合いが進んでいない地域があるため、そうした地域を一つでも少なくしていくことが課題となっています。防災関係団体等と連携し、地域に出向き一緒になって話し合いに参加しながら、自助、共助の仕組みづくりに向け取り組んで行きます。 また、消防団員が減少傾向にあり、次世代の担い手の確保、少数で対応できる体制の強化等が課題となっています。消防団員の確保については、その活動が地域から頼りにされるような活躍の場を増やし、よりやり甲斐のある活動に変えることで、次の世代の担い手の確保につなげていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	総務政策部　防災安全課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	暮らしを守る防災体制の整備	関係課	地域創生課	
施 策 名	2号	自助・共助を支える支援体制の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などでの災害への備え、危険箇所、避難場所や経路などの情報を提供するとともに、自らを守る防災意識の向上や防災教育の充実を図ります。
また、自主防災会や防災士の育成・支援及び連携体制の整備をすすめ、地域防災力の底上げを図るとともに、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有を図るなど、地域や職場を守る災害対応を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
358		防災対策事業	9 1 4	地域創生課	1,720	16,438	10,243	18,302			やや高い	B
		事業の取組内容	空家の所有者等に対する管理不全の解消に向けた働きかけや空家の有効活用を支援する									
359	○	防災対策事業	9 1 4	防災安全課	22,286	31,740	17,138	16,702			やや高い	B
		事業の取組内容	防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	防災士の市内登録地区数	80 (R1末)	目標値	88	90	95	100	105	105	地区
			実績値	88	91	92				
			達成率	100.0%	101.1%	96.8%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
359	個別避難計画作成件数	参考	目標値							件
			実績値		3	13				
359	地区防災計画作成数	参考	目標値							地区
			実績値		1	3				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

自治会から要請のあった管理不全空き家について、所有者に対し迅速に適正管理の呼びかけを行うとともに、危険が切迫している空き家に対しては緊急安全措置（屋根雪除雪、建築部材の飛散防止対策）を2件実施しました。また、空家解体補助金制度や空き家管理ガイドブックの全戸配布等の啓発により、管理不全空き家の発生抑制、適切な維持管理に結び付きました。

また、市内防災士の育成により、８名の防災士が新たに誕生し、地域における防災のリーダー役が増えたことで、地域の防災力強化につなげることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	自治会等と空き家の危険個所の情報共有が行われており、地域を守る対応ができています。また、防災士登録地区数が増加したことにより、地域防災力の強化につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	地域や職場を守っていくためには、保安上危険となる恐れのある空家等の緊急措置や防災士の育成、自主防災組織の活性化に向けた取組は重要であることから、貢献度は「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	地域防災力の向上を図る上で、防災教育などを通じて市民の防災に対する意識付けを進めることが重要となることから、うおぬま防災ネットワークや防災士等の協力を得ながら、共助による防災意識の醸成を図っていきます。 また、若い世代の防災意識の醸成も必要とされることから、学校・地域・保護者の連携を基に実施する防災教育イベントの取組を全市に展開していきます。 市内での防災士登録数が増えつつありますが、地域での具体的な取組につなげられていないため、防災士のスキルアップ事業や交流事業を継続して実施し、防災士同士の連携が図れる体制づくりを進めていく必要があります。また、自主防災組織の活性化に向けて、支援制度の見直しについても検討する必要があります。 空き家が増加しており、所有者等に「管理不全の解消に向けた働きかけ」の強化や所有者・地域住民と連携した「空き家等の有効活用策」の検討が課題となっています。また、市民の生活環境の安全確保を図るためにも適正管理されていない空き家の所有者に対して、連絡・指導を継続して行うことで、所有者による管理を促していきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	生活基盤		評価担当課	部課名	総務政策部　防災安全課
基本目標	1節	安心な暮らし　愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	暮らしを守る防災体制の整備	関係課	建設課	消防本部　総務課
施 策 名	3号	防災基盤の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

市の防災体制の充実を図るとともに消防団は教育訓練、処遇等の改善を図りながら団員確保に努め、救済活動を効率的で効果的に行うために関係機関との協力関係を強化します。
また、災害・防災情報の確実な伝達を図るため、防災行政無線等の充実を図るとともに、国県と連携し、自然災害の減災対策のための施設整備を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
325	○	内水対策事業	8 3 1	建設課	307,605	547,399	340,936	878,115			高い	A
		事業の取組内容	四日町・袖八川地区の内水対策として、排水機場新設及び排水ポンプ増設を行う。									
355	○	消防団管理運営事業	9 1 2	消防本部	64,924	61,201	75,154	80,993			やや高い	B
		事業の取組内容	報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など									
356	○	消防団施設整備事業	9 1 2	消防本部	34,404	29,629	24,520	27,000			高い	A
		事業の取組内容	小型動力ポンプ、積載車、消防器具庫等を整備する。									
362	○	防災行政無線等整備事業	9 1 4	防災安全課	59,087	33,770	70,600	93,500			高い	A
		事業の取組内容	同報系防災行政無線屋外子局増設工事の実施及び防災情報伝達設備等更新計画の策定を行う。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	消防団員数	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
			実績値	829	812	773				
	人口比率2.5%が目標値		達成率	97.1%	96.6%	93.4%	%	%		
2	小型動力消防ポンプ付積載車更新		目標値	3	3	3	4	1	18	台
			実績値	3	3	3				
	20年以上経過したものの中から総合的に判断する		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%		
3	屋外子局等数	115	目標値	125	130	135	140	140	140	箇所
			実績値	125	129	129				
	難聴取地区の縮減を図る		達成率	100.0%	99.2%	95.5%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
325	魚沼市四日町地区及び袖八川流域浸水対策協議会	1	目標値	1	2	3	4	5	5	回
			実績値	1	1	1				
355	消防団協力事業所	15	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

防災行政無線屋外子局等数について、令和５年度に実施した調査の結果、更新時においてスピーカーの機能向上を図ることによって、市内で必要とされる数は１２９基で充足することが分かりました。

そのため、令和５年度以降は新規設置は行わず、１２９基のスピーカの機能向上により音達範囲の拡大や音声の聞き取りやすさの改善を順次図っていきます。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

消防団施設整備事業については、小型動力ポンプ付積載車の計画的な更新により、消火活動や水害時の排水対応など地域防災体制の強化につながりました。内水対策事業については、令和７年度の施設完成に向け計画どおり事業が進捗しました。完成時には、内水の浸水対策が強化され、住宅の浸水被害の軽減につながります。防災行政無線等整備事業については、計画どおり屋外拡声子局を更新することができ、スピーカの機能向上による音達範囲の拡大や音声の聞き取りやすさの改善により、確実な情報伝達につなげることができました。

またハード面での整備に加え、関係機関との情報交換の機会や危険個所の合同巡視等を通じて、顔の見える関係を強化することで、災害発生時における連携体制の確保につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	消防団の施設及び装備の充実、情報伝達設備の拡充、内水対策整備とも計画どおり進捗し、地域防災基盤の強化につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市の防災体制の充実を図っていくうえで、消防団の装備等や各種設備等の整備などハード面での対策は優先的に取り組んでいく必要がある事業であり、貢献度は「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	消防団員の減少による地域への資機材の適正配置と、施設と組織のバランスを図った運用が課題です。同報系防災行政無線設備の更新計画を立て、計画的な更新に着手し、情報伝達設備の機能向上により、音達エリアの拡大を進めています。 地域の実情や要望に合わせた消防団の再編成を進めるとともに、防災体制の強化を図るため、引き続き施設、設備等の整備を進めていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	豊かな自然の保全と育成	関係課	農政課	
施 策 名	1号	豊かな自然と美しい景観の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐため、環境意識の啓発を図り、市民一人ひとりの環境保全に対する意識を高めるとともに、市民や関係団体と協働して、貴重・希少な動植物の保護に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
215	○	自然環境保全事業	4 1 4	生活環境課	4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。									
253		環境保全型農業直接支払交付金事業	6 1 3	農政課	2,415	3,010	3,361	3,790			やや高い	A
		事業の取組内容	環境保全に資する農業の取組を行う者に対し交付金を支出する。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	自然環境保全地域の指定数	3 (R1末)	目標値	5	5	5	5	5	5	箇所
			実績値	5	6	7				
			達成率	100.0%	120.0%	140.0%	%	%		
2	豊かな自然の保全と育成の満足度	39.3 (R1調査)	目標値	―	―	50	―	―	50	%
			実績値	―	―	65.3	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	130.6%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
215	自然環境活動団体数	13(R1末)	目標値	14	18	19	20	20	20	団体
			実績値	17	20	20				
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値	970	985	1,000	1,010	1,020	1,020	種
			実績値	1,027	1,077	1,097				
253	環境保全に資する農業取組面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和５年度から渓流魚放流・保護事業について、評価対象から除外しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然環境保全条例に基づき、マダラナニワトンボ生息地を保全地区に指定し、貴重な自然環境の保全に資することができました。

調査結果を市民に還元するため生物多様性セミナーを開催し、134人の参加がありました。市内の環境関係団体の後継者不足を解消するため、昆虫採集や身近な昆虫の楽しさを伝える事をテーマに、昆虫はかせネットワークから講演をしていただきました。市民へ調査結果を還元し、自然環境保全に対する意識啓発を行うことができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	生物多様性調査の実施、標本教室等の開催により、広く市民から魚沼の自然環境保全の必要性を認識していただき、環境意識の啓発を図ることができました。また、マダラナニワトンボ生息地を保全地区に指定し、貴重な自然環境の保全に資することができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民参加活動による、生物多様性調査、標本教室や標本展など、これまでの啓発活動や環境学習による意識啓発が図られており、着実に成果の積み重ねができていると考えます。今後は、これらの成果を後継者等の人材の育成と発掘につなげていく必要があります。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	継続調査の必要性とともに、携わる方の高齢化等により人材の育成と発掘が課題となっています。 保全地域・保護動植物を指定した地区の保全維持管理をどのように図っていくか、継続的な保全体制づくりが課題です。 引き続き、市、地元NPO法人、市民ボランティアと協働で自然環境保全調査等を進めていくとともに、次世代の人材や団体を育成していく必要があります。また、調査成果を効果的に活用し、環境保全啓発や環境教育の取組へつなげていくこととします。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	産業経済部　農林整備課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	豊かな自然の保全と育成	関係課		
施策名	2号	森林と里山の再生			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山の持つさまざまな機能を活かすための啓発活動、森林体験学習などの推進を図り、市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めます。

また、森林が循環する「植える・育てる・活用する」の推進を図り、森林の有する多面的機能を保持する健全な森林づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
268		林業振興事業	6 2 2	農林整備課	545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		事業の取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。									
270	○	森林整備事業	6 2 2	農林整備課	17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		事業の取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。									
271	○	里山整備事業	6 2 2	農林整備課	22,081	21,579	－	－				
		事業の取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。									
274	○	森林体験・環境学習事業	6 2 2	農林整備課	321	675	－	－				
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	森林整備面積	723 (H16～R1 累計)	目標値	800	840	880	920	960	960 (H16～R7 累計)	ha
			実績値	789	810	832				
			達成率	98.6%	96.4%	94.5%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
268	市民向け森林整備啓発研修の年間回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回／年
			実績値	0	0	2				
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人／年
			実績値	7	12	7				
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人／年
			実績値	4	5	8				
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	12	8	11				
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	21	12	7				
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha／年
			実績値	0	2	5				
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha／年
			実績値	41	52	54				
270	里山整備森林資源活用量	574	目標値	600	600	600	600	600	600	t／年
			実績値	1,472	616	744				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和５年度から里山整備事業は森林整備事業に、森林体験・環境学習事業は林業振興事業に統合しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民向け森林整備啓発研修やうおぬま森の学校事業を実施することにより、市民が森林の持つ機能や森林循環サイクルの重要性について理解を深めることができました。森林インストラクター養成講座では、市内関連団体の指導者等が研鑽を重ねるとともに、森林体験や環境学習を指導するための人材を育成しました。

里山整備事業では、新たな団体が事業に取り組むなど、市民の森林保全意識の高まりが着実に進んでいます。また、市有林は間伐等を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、水源かん養や土砂災害防止など多面的な機能を保持する健全な森林づくりを進めました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	成果指標の達成状況はやや下回るものの、森林整備面積は目標に向かって進展していることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市民の森林保全への関心が徐々に現れ、里山の整備促進につながり、健全な森林づくりに貢献していることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めるには、森林・里山に触れる機会を継続し、意識を啓発していく必要があります。また、森林の有する多面的機能を維持し、緑豊かな森林づくりを進めるには、市有林及び私有林の森林整備を促進する必要があります。 市民の森林保全に対する意識を高めるため、森林体験や環境学習など啓発活動の充実を図ります。また、森林環境譲与税を活用し、計画的かつ効率的な間伐等の森林整備を行い、森林の再生を図ります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	産業経済部　農林整備課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	豊かな自然の保全と育成	関係課	生活環境課	
施 策 名	3号	野生鳥獣との共生			

2. 施策目的（目指すすがた）

野生鳥獣による人身及び農作物への被害を防止するため、森林や里山の整備をすすめます。
また、市民に野生鳥獣に関しての正確な情報を伝え、被害防止の啓発を図るとともに関係機関と連携を行い、出没・生息状況の把握に努め、人身及び農作物への被害を防止し、多様な動植物との共生を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
215	○	自然環境保全事業	4 1 4	生活環境課	4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。									
270	○	森林整備事業	6 2 2	農林整備課	17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		事業の取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。									
271	○	里山整備事業	6 2 2	農林整備課	22,081	21,579	－	－				
		事業の取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	自然環境活動団体数 / 環境保全活動を行う市内団体数	13	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	17	20	20				
			達成率	121.4%	133.3%	133.3%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha／年
			実績値	41	52	54				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

令和５年度から里山整備事業は森林整備事業に統合しました。

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

生物多様性セミナーを開催し、鳥獣も含めた環境保全に関する啓発を行い、多様な動植物との共生に資することができました。

また、電気柵の設置や里山の整備が野生鳥獣による人身及び農作物の被害防止につながりました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	市民への環境保全に関する啓発により、成果指標の自然環境活動団体数が目標に到達していることから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	電気柵設置のほか里山整備により農作物への被害軽減が図られていることから「やや高い」と評価しました。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	野生鳥獣による被害を防止するため、関係機関と連携し、迅速な情報提供を行います。また、クマ等が人家や農地に近づかないようにするため里山整備や電気柵の設置を促進するとともに、駆除を含めた対策を検討します。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	産業経済部　観光課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係課	地域創生課	北部事務所
施 策 名	1号	自然環境を活用した地域づくりの推進		農林整備課	生涯学習課

2. 施策目的（目指すすがた）

四季折々の美しく豊かな自然を活かした地域の魅力を発信し、四季を通じた体験型観光や友好都市等との交流事業の取組を進めることにより、自然の魅力を伝え、魚沼市から行く尾瀬や雪国体験など、自然の恵みを活かした観光誘客に取り組み、市民や関係団体と協働で地域の活性化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
34	○	地域交流推進事業	2 1 6	地域創生課 北部事務所	492	1,140	2,049	8,143			やや高い	B
		事業の取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。									
42	○	田舎暮らし体験事業	2 1 6	北部事務所	9	68	－	－				
		事業の取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。 ※R5より「No.45移住定住促進事業」へ移行									
282		峠のふるさと広場施設運営事業	6 2 4	農林整備課	5,102	4,875	5,191	6,618			やや高い	A
		事業の取組内容	峠のふるさと広場の施設運営と、施設を活用した自然体験イベント等を実施する。									
301	○	誘客宣伝事業	7 1 3	観光課	93,733	125,952	65,834	103,828			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。									
302	○	体験型観光推進事業	7 1 3	観光課	20,521	21,501	17,955	18,541			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。									
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業	10 4 5	生涯学習課	0	0	0	－			やや低い	D
		事業の取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。									
45		移住定住促進事業	10 4 5	地域創生課・北部事務所	1,588	6,079	16,196	26,009			やや高い	B
		事業の取組内容	移住・定住促進のため、定住促進事業補助制度の実施、お試し住宅を整備し運営します。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	11,000	人／年
			実績値	7,092	12,218	9,076				
			達成率	72.4%	119.6%	87.3%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	ふるさと広場利用者数	2,980 (R1実績)	目標値	3,140	3,230	3,320	3,410	3,500	3,500	人／年
			実績値	2,990	3,616	5,108				
			達成率	95.2%	111.9%	153.8%	%	%		
3	観光客の入込数	1,654,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	1,750,000	人／年
			実績値	1,174,284	1,551,384	1,690,518				
			達成率	71.2%	92.6%	99.4%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
34	交流回数	0	目標値	20	20	19	19	19	19	回
			実績値	0	19	20				
34	郷人会交流会への参加者数	0	目標値	290	280	210	210	210	210	人
			実績値	0	0	135				
301	年間宿泊客数	82	目標値	145	158	172	185	198	198	千人
			実績値	108	176	176				
302	体験型観光の受入延べ人泊数	0	目標値	24,800	25,400	26,000	26,600	27,200	27,200	人泊数
			実績値	9,671	26,963	20,210				
457	事業参加者数	471	目標値	2,400	2,400	2,400	－	－	－	人
			実績値	759	1,146	359				
457	うち県内団体人数	287	目標値	1200	1200	1200	－	－	－	人
			実績値	610	1,043	105				
457	うち県外団体人数	184	目標値	1,200	1,200	1,200	－	－	－	人
			実績値	149	103	198				
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38	0	0		
45	ふるさと応援住民登録数	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975	0	0		
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

峠のふるさと広場施設運営事業では、市主催の林業体験会場として活用するほか、地域で古くから行われてきた味噌づくり体験や手漉き和紙を用いた工作体験を実施することで施設の魅力を発信するとともに、残雪の中桜が開花する「雪上桜」の開花状況等の積極的な情報発信や、炭焼き体験を首都圏友好都市等の体験プログラムに取り入れた結果、施設利用者数が過去最多となりました。

体験型観光推進事業では、コロナ禍の影響を回避して2学年が来訪した前年に比べると受入れ児童数が減少していますが、多くの児童、生徒が訪れ、当市の自然環境を活用した交流人口の拡大に貢献しました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	首都圏からの体験型観光の推進や自然を活かした拠点施設での体験イベント等の実施により、施策目標達成に向けて進展が見られ、一定の成果を達成することができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	コロナ禍を経て、グリーンツーリズムやアグリツーリズムといった自然体験型観光のニーズは着実に高まっており、施策を構成する各事業の実施は、施策目標の達成につながります。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	峠のふるさと広場施設運営事業では、悪天候時に屋内で実施可能な体験メニューが限られていることが課題です。体験型観光推進事業では、田植え・稲刈り時期の受入宿泊施設やスタッフが飽和状態に近く、新規受け入れが困難な状況です。 今後は、田植え・稲刈り以外の時期における一般客向けのプログラム開発と営業活動が必要ですので、本市の自然環境を活用した体験メニューの開発や既存メニューをブラッシュアップし、新規の来訪者の誘客や来訪者の満足度向上を目指します。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	産業経済部　農林整備課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係課		
施 策 名	2号	森林資源の利活用の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山づくりにより産出されるさまざまな森林資源の地産地消を促進するとともに、地域の活性化をめざして、木質バイオマスエネルギーの有効活用と新たな利活用の取組をすすめ、森林資源の利活用を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
276	○	魚沼市産材活用促進事業	6 2 2	農林整備課	15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		事業の取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	森林資源の利用量	2,761 (R1実績)	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	3,800	t／年
			実績値	2,645	1,139	986				
			達成率	85.0%	36.6%	28.5%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	m3／年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和５年度より、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟130m3の利用があり森林資源の利活用を推進したほか、市産材を活用した木製什器11件及び木製玩具2件を製作して市内公共施設に配置し、森林資源の地産地消を促進しました。また、森林資源の新たな利活用として、市産材を活用した木製品を18種類・194個を開発・制作して、森林産業の活性化につなげました。

森林整備や里山整備から産出された木材は、市内を中心に炭材や建築用材、木質バイオマスに活用されました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	市有林及び私有林の利用間伐が進捗せず、成果指標を大きく下回ったことから「低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市産材の家づくり事業や木製什器・玩具の製作などにより、森林資源の地産地消と利活用が図られ、市産材活用製品開発の新たな取組が始まったことから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○

課　題 及び 今後の方向性	市産材を活用した家づくり事業や木製什器等の市内公共施設導入、さらに市産材を活用した新たな木製品の開発より一定の成果はあるものの、地域の森林産業の活性化を図るためには、市外に向けた森林資源のＰＲや販路拡大が必要です。また、市有林や私有林の森林整備の促進により森林資源の拡大を図って行く必要があります。 令和６年度から利用間伐等の森林整備を促進し、森林資源利用量の拡大に取り組むとともに、市産材の地産地消と利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係課	生活環境課	農林整備課
施策名	1号	環境教育と環境学習の推進		学校教育課	

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が自然に触れ合い、ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にする心を育むために、豊かな自然やさまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。
また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
215	○	自然環境保全事業 / 4 1 4	生活環境課	4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。								
274	○	森林体験・環境学習事業 / 6 2 2	農林整備課	321	675	－	－				
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。 ※令和５年度から「林業振興事業」に統合したため評価なし								
268	○	林業振興事業 / 6 2 2	農林整備課	545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		事業の取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに林業振興に資する事業を実施する。 ※令和５年度から「森林体験・環境学習事業」を統合								
377	○	自然環境学習推進事業 / 10 1 3	学校教育課	2,774	4,441	5,478	6,181			高い	A
		事業の取組内容	小学校５年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。								
456		エコ・ミュージアム運営事業 / 10 4 5	生涯学習課	6,047	5,993	6,804	8,341			やや高い	C
		事業の取組内容	県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	環境学習講座等の参加者数	2,609 (R1実績)	目標値	2,300	2,600	2,800	3,000	3,000	3,000	人／年
			実績値	1,071	1,556	890				
			達成率	46.5%	59.8%	30.7%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
215	自然環境保全地域の指定数	3(R1末)	目標値	6	7	7	7	7	7	箇所
			実績値	5	6	7				
215	自然環境活動団体数	13(R1末)	目標値	14	18	19	20	20	20	団体
			実績値	17	20	20				
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値	970	985	1,000	1,010	1,020	1,020	種
			実績値	1,027	1,077	1,097				
268	市民向け森林整備啓発研修の年間回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回／年
			実績値	0	0	2				
268	森林体験等参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人／年
			実績値	7	12	7				
268	インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人／年
			実績値	4	5	8				
377	事業が施策の実現に貢献していると答えた教員の割合	97	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100	96	96				
377	参加児童の身近な環境に対する興味・関心が高まったと答えた教員の割合	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100	87	96				
377	環境を守るために進んで行動したいと答えた児童の割合	99	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	96	96	95				
456	一般入園者数	7,377	目標値	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	人／年
			実績値	9,333	8,382	6,514				
456	主催事業参加者数	1,758	目標値	2,000	2,000	2,000	2,200	2,400	2,400	人／年
			実績値	2,276	2,923	2,149				
456	環境学習担い手養成講座	471	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	人／年
			実績値	749	1,146	359				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然環境学習等を通じて、多くの市民から魚沼市の特色ある自然環境に興味を持っていただくことができました。また、環境学習においては、市民ボランティアが活動で得た知識をネイチャーガイドなど指導者として地域に還元することで、市民の環境学習に貢献しています。

小中学生においては、自然観察、炭焼き体験及び尾瀬学習を通じて森林保全や環境保全に対する意識を高めるとともに、魚沼市という自然豊かな地域を学ぶことで郷土愛の醸成にも寄与することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	ふるさとの魅力や価値について学び、環境を大切にする心を育むという観点からみると、各課が連携するなかで講習会や体験講座など多様な学習機会が提供され、幅広い年齢層へ環境学習の機会を提供することができましたが、参加者数は少なかったので「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	小中学生を中心とした、魚沼の自然を活用した環境学習プログラムを実施し、環境学習の推進に貢献しています。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	環境教育及び環境学習を推進するため、新規インストラクターや若い世代の人財確保と養成が課題となっています。 今後は、各地区公民館における環境学習講座をはじめ、全市民を対象とした生物多様性セミナーの開催や、市内小学校5年生が体験する尾瀬学習、森林整備や森林保全に関する講習会を開催し、エコ・ミュージアムでの自然教育など、市民の皆さんへの様々な学習機会の提供とともに学習プログラムの開発も進めながら、各環境学習講座の担い手となる指導者育成に取り組みます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係課		
施 策 名	2号	市民協働による環境保全活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民や関係団体の環境保全活動の活性化と拡大を図るため、環境に関するさまざまな情報を提供するなど啓発活動を行うとともに、その担い手となる人財や団体などの育成をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
214		環境衛生管理事業	4 1 4	生活環境課	3,308	3,965	3,480	7,909			やや高い	B
		事業の取組内容	環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。									
215	○	自然環境保全事業	4 1 4	生活環境課	4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	17	20	20				
	環境保全活動を行う市内団体数		達成率	121.4%	133.3%	133.3%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
214	環境審議会回数	3	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	3	4	4				
214	環境美化運動の参加者数	8,223	目標値	8,200	8,300	8,300	8,350	8,400	8,400	人/年
			実績値	9,763	8,867	8,116				
214	環境啓発イベント参加者数	210	目標値	1,000	1,000	5,000	5,000	5,000	5,000	人
			実績値	940	5,000	4,800				
214	花いっぱい運動参加団体数	70	目標値	70	70	70	70	70	70	団体
			実績値	71	73	73				
214	花いっぱい運動植栽活動参加者数	1,065	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	1,191	1,216	1,052				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民から協力をいただき、春秋の環境美化運動、花いっぱい運動等の環境保全事業を継続して実施しています。また、毎年10月に開催している環境フェアにおいては、環境保全啓発を実施し、多くの市民に興味関心をもっていただいています。

生物多様性調査においては、調査活動に市民ボランティアから参加していただいており、３月には調査結果を報告する市民公開セミナーを開催し、市民の環境保全への理解を深めることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	生物多様セミナーや標本教室等を開催し、多くの市民から参加していただいたことで自然環境への理解が得られました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	環境美化運動、花いっぱい運動、生物多様性調査等多くの市民が参加する事業を展開することで市民協働による環境保全活動が推進されています。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	地域の自然を保全するために、現在支援している団体の高齢化問題への対策と、新たな団体の掘り起こし、支援・育成をする必要があります。 効果的な環境政策を進めるため市民との協働を継続する必要があります。さらに、市民協働の自然環境保全調査及び環境保全活動を推進していきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	循環型社会環境の整備	関係課	農政課	
施 策 名	1号	ごみの減量化とリサイクルの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭や事業所からのごみの発生や排出を抑制し、限りある資源を有効に活用するため、ごみの分別と３Ｒの啓発活動を積極的にすすめ、引き続きごみを資源に変えるリサイクル意識の醸成を図り、持続可能な循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化と再資源化を推進します。

また、ごみ処理業務における広域的な協力体制の構築をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
255		地域バイオマス施設整備事業	6 1 3	農政課	0	36,866	2,310	55,336			やや高い	B
		事業の取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。 ※R５で総合計画計上終了									
520		ごみ処理事業	4 2 2	生活環境課	509,359	535,851	595,274	883,453			やや高い	B
		事業の取組内容	ごみ処理施設の維持管理を行う。									
525		新ごみ処理施設整備構想策定事業	4 2 2	生活環境課	0	0	6,375	52,209			やや高い	B
		事業の取組内容	エコプラント魚沼に替わる新しい廃棄物処理施設の構想策定を行う。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	市民一人当たりの一般廃棄物排出量	1,072 (R1実績)	目標値	997	995	993	991	990	990	g／日
			実績値	1,109	1,098	1,037				
			達成率	88.7%	89.6%	95.8%	%	%		
2	リサイクル率	16.5 (R1実績)	目標値	18.3	18.5	18.7	18.9	19.0	19.0	%
			実績値	19.0	18.2	18.2				
			達成率	103.8%	98.4%	97.3%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
255	原材料受入量	5,647	目標値	6,000	6,000	6,000	6,500	7,000	7,000	t
			実績値	5,317	5,798	5,715				
255	堆肥販売量	1,903	目標値	2,300	2,300	2,300	2,900	3,150	3,150	t
			実績値	1,975	2,112	2,342				
525	新ごみ処理施設整備構想策定		目標値		0.3	1			1	冊
			実績値			1				
525	循環型社会形成推進地域計画策定		目標値			1			1	冊
			実績値			0.2				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

地域バイオマス施設整備事業は令和５年度をもって終了し、以降は地域バイオマス施設維持管理運営事業のみで施設管理を行うこととなりました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

目標には達していないものの、市民一人当たりの一般廃棄物排出量及びリサイクル率とも効果が年々発現してきています。

また、有機センターにおける堆肥販売量も年々増加しており、持続可能な循環型社会の構築に向けて貢献できていると考えます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	出前講座の開催や「事業系廃棄物分け方・出し方ガイドブック」の新規作成などもあり、目標達成に向けた取組を進めることができました。また、肥料販売量が増え、循環型社会構築の推進も図られてきていることから、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	各種取組により、年度毎の目標には達しないものの、年々成果を上げており現状の取組を引き続き着実に進めていくことが重要となることから、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	ごみの減量化と資源化率の向上には、可燃ごみ中の資源化可能な紙類及び容器包装プラスチックの分別を徹底する必要があります。また、国が推進するプラスチック廃製品の再商品化には、収集体制と処理施設の整備が必要となるため、R13年度に供用開始予定としているごみ処理施設の更新に併せて、分別区分や収集方法について十分な検討を行ったうえで、廃棄物の効率的な処理及び資源化する品目の選定を行う必要があります。 新ごみ処理施設の稼働までは現状の処理施設で安定的な処理を継続しなければならないため、機能維持に必要な修繕を計画的に行います。また、有機センターにおいても稼働開始から15年が経過し、堆肥撹拌発酵段階において発生するアンモニアや水蒸気により、設備・機械等の劣化や腐食が激しいため、車両系を含めた改修・更新の検討が必要となります。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	循環型社会環境の整備	関係課		
施策名	2号	地球温暖化対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地球温暖化対策の取組を計画的・総合的に推進し、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図ります。
また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなど再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
218	○	地球温暖化対策事業	4 1 4	生活環境課	2,209	7,149	20,512	9,719			やや高い	B
		事業の取組内容	省エネルギー啓発、新エネルギー利用促進、カーボン・オフセット事業等の温暖化防止の取組を行う。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	再生可能エネルギー機器設置件数	18 (R1実績)	目標値	30	30	40	50	55	55	件／年
			実績値	10	16	25				
			達成率	33.3%	53.3%	62.5%	%	%		
2	バイオマスの利用率	83.0 (R1実績)	目標値	85	87	89	91	92	92	%
			実績値	83	88	－				
			達成率	97.6%	101.1%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
218	エコチャレンジ参加者数	188	目標値	140	140	140	140	140	140	人
			実績値	154	186	200				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）の改定を行い、温室効果ガスの排出削減目標を修正しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図るため、「地球温暖化対策ワークショップ事業」、「グリーンカーテン普及事業」、「省エネ家電等入替促進事業補助金」などを実施し、市民に向けて地球温暖化対策や身近な省エネの実践を呼びかけました。地球温暖化防止の普及・啓発を図るため、啓発イベント「魚沼市環境・交通安全フェア」を開催し、地球温暖化対策ワークショップの成果展示等を行いました。また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、再エネ機器等の設置に要する費用の一部に補助を行いました。また、カーボンオフセット事業を実施し、環境に関心のある自治体、事業所からクレジットを購入いただき、CO2削減に貢献していただくことができました。

家庭や事業者等が継続的に可能な範囲で取り組むことができるよう、地球温暖化対策に関するこれらの事業を継続して実施することで、各主体の意識啓発に寄与し、行動変容につなげることができたものと考えます。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	再生可能エネルギー機器設置件数は目標値に達しませんでしたが、前年度と比較して件数が増加したこと、また、エコチャレンジ参加者数が多かったため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	再生可能エネルギー機器の設置にかかる経費の補助を継続的に実施することで、各主体の意識啓発に寄与し、再エネ導入の動機付けとしても必要な事業と考えるため「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	地球温暖化対策は目に見える形での成果が得られにくい分、市民一人ひとりの意識付けが重要です。より多くの市民・事業者等の意識醸成を図り行動につなげていくことが課題です。 国や県が2050カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）を目標としていることを踏まえ、市でも脱炭素化のための具体的施策を検討していくことが課題です。地球温暖化対策については、長期的に取り組んでいくことが必要です。県などの関係機関と連携しながら、市民や事業者を巻き込むような取組を構築していく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	市の地球温暖化対策実行計画に則った取組とすること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然		評価担当課	部課名	市民福祉部　生活環境課
基本目標	2節	豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	循環型社会環境の整備	関係課		
施 策 名	3号	公害の抑制と生活環境の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

公害発生を未然に防ぎ、身近な生活環境を良好に保つために監視活動や環境意識向上のための啓発活動に努めます。
また、市民が中心になった環境美化運動を推進し、ごみのないきれいなまちづくりをめざして生活環境の保全に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
214		環境衛生管理事業	4 1 4	生活環境課	3,308	3,965	3,480	7,909			やや高い	B
		事業の取組内容	環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。									
216		環境監視員設置事業	4 1 4	生活環境課	1,040	1,208	1,137	1,150			やや高い	B
		事業の取組内容	環境監視員による巡回監視活動を実施し、公害の発生抑制と不法投棄を防止する。									
217		公害対策事業	4 1 4	生活環境課	4,326	4,320	4,301	5,184			高い	B
		事業の取組内容	騒音、振動、悪臭等の苦情処理及び調査、河川水質検査、広報等の未然防止活動を行う。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	環境美化運動の参加者数	7,737 (R1実績)	目標値	8,200	9,300	10,400	11,500	12,700	12,700	人／年
			実績値	9,763	8,867	8,116				
			達成率	119.0%	95.3%	78.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
214	不法投棄物処理量	6.3	目標値	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	t
			実績値	6.6	4.0	3.3				
216	7大公害苦情件数	62	目標値	45	45	45	40	40	40	件
			実績値	50	49	52				
217	臭気等苦情数(悪臭・野焼き)	24	目標値	25	25	24	24	24	24	件
			実績値	20	36	19				
217	騒音・振動苦情数	4	目標値	5	5	4	4	4	4	件
			実績値	1	2	2				
217	水質汚濁等苦情数	41	目標値	40	40	38	38	38	38	件
			実績値	29	28	21				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

畜産由来の臭気苦情については、関係機関とも連携し、実施可能な対応についての助言等を行いました。

その他の苦情については、公正な判断や対応、指導等ができるよう、内容の聴き取りや現地確認を行い、事態の終息に努めました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	環境美化運動の参加者が目標に達成していないものの、苦情の件数は減少しているため「やや高い」としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	環境美化運動や、巡回監視活動など、市民と行政等が協力しながら公害抑制や生活環境保全に貢献していることから「やや高い」と判断しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	臭気や騒音等の人の感覚による苦情は、対策や取組の成果を確認できるまで時間を要します。 苦情の原因解決のためには、公害のみでなく様々な面から指導や相談をする必要があることから、関係機関や関係部署との連携を密にする必要があります。 今後も、継続して啓発等の未然防止対策を行います。 また、長期の継続案件については、引き続き原因者に対して面談や申入れ等を行い、苦情内容の共有や対策の要望について継続して行っていく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　健康増進課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係課	企画政策課	生涯学習課
施 策 名	1号	健康づくりの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、自らの健康について考え、自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、各年代に適した栄養・食生活・身体活動・こころの健康・休養などに関する情報の発信や動機付け（インセンティブ）を提供します。また、加齢に伴う心身の機能低下の予防に関して若い世代から取り組めるよう普及啓発を行います。

からだの健康とともにこころの健康について、悩みを抱えた人の孤独を防ぐため、保健・医療・福祉だけでなく、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つなぎ・見守りができるネットワークの充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
185		心の健康づくり推進事業	4 1 1	健康増進課	274	748	1,089	1,289			やや高い	A
		事業の取組内容	心の健康についての普及啓発、ハイリスク者対策、支援ネットワークの構築等を行う。									
203		電話健康相談事業	4 1 1	健康増進課	2,040	1,776	－	－				
		事業の取組内容	急病の対処法、家庭内の応急手当、受診の目安等の電話相談に24時間対応する。（R5に保健対策事業へ統合）									
207		保健対策事業	4 1 3	健康増進課	1,026	1,342	3,885	5,491			やや高い	C
		事業の取組内容	健康教育・個別訪問指導・健康情報の発信等を行う。（R5に電話健康相談事業、健康づくり支援事業と統合）									
208		歯科保健事業	4 1 3	健康増進課	5,429	5,010	5,077	7,314			高い	A
		事業の取組内容	乳幼児歯科保健、成人歯科保健、フッ化物洗口等を実施する。									
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業	2 1 6	企画政策課	2,891	3,754	3,286	3,620			やや高い	B
		事業の取組内容	「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。									
211		健康づくり支援事業	4 1 3	健康増進課	1,042	1,162	－	－				
		事業の取組内容	健康ポイント制度を実施する。（R5に保健対策事業へ統合）									
460	○	市民スポーツ普及事業	10 5 1	生涯学習課	12,582	13,834	14,294	25,574			やや高い	B
		事業の取組内容	スポーツフェスティバルや各種運動教室を開催し、市民の健康増進や生きがいづくり、スポーツ実施率の向上を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自分が健康であると感じている人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	79.8 (R1調査)	目標値	―	―	―	86	―	85	%
			実績値	―	―	―				
			達成率	%	%	%	%	%		
2	５年間平均の自殺死亡人数	11.2 (H26～H30平均)	目標値	11	10	10	10	10	10以下 (R3～R7平均)	人
			実績値	8.8	8.6	7.8				
			達成率	125.0%	116.3%	128.2%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
185	市民等向けゲートキーパー養成講座実施回数	2	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	2	2				
185	市民等向けゲートキーパー養成講座参加者数	35	目標値	40	40	40	40	40	40	人
			実績値	46	57	57				
185	市プラットホーム等を活用した事例検討の実施件数	-	目標値	-	2	3	5	6	6	件
			実績値	-	2	6				
207	運動や食生活等の生活習慣について、既に取り組んでいる(6か月以上)人の割合	26.5	目標値	24.1	24.5	24.8	25.3	25.5	25.8	%
			実績値	22.8	22.2	20.8				
207	家庭で血圧測定をする人の割合	47.7	目標値	47.1	47.3	47.5	47.7	47.9	47.9	%
			実績値	47.2	50.3	52.0				
207	喫煙率	13.7	目標値	15.6	15.4	15.2	15.0	14.8	14.8	%
			実績値	15.1	14.1	14.5				
207	元気ポイント参加者数（実数）	689	目標値	630	690	750	810	870	870	人
			実績値	758	778	494 ※1				
208	12歳のむし歯有病率	9.2	目標値	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	%
			実績値	11.7	5.7	10.6				
208	成人歯科健診受診率	12.3	目標値	13.3	13.5	13.7	13.9	14.1	14.1	%
			実績値	15.2	14.8	16.7				
210	食まちうおぬまﾈｯﾄﾜｰｸ推進協議会の開催数	3	目標値	2	－	－	－	－	10	回
			実績値	0	－	－	－	－		
210	食まちイベント参加人数	210	目標値	1,000	4,000	5,000	5,500	6,000	6,000	人/年
			実績値	940	5,000	4,800				
460	各種スポーツ教室等の参加者数	8,014	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	人/年
			実績値	9,555	10,235	9,993				
460	体育施設利用者数	167,895	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人/年
			実績値	186,012	186,097	206,682				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度に電話健康相談事業・健康づくり支援事業は保健対策事業に統合しました。
令和5年度にひきこもり対策支援事業は、心の健康づくり推進事業に統合しました。
特定健診質問票の集計については、市の集団健診受診者の結果を対象としています。
※1　元気ポイント事業について、令和5年度から年2回の抽選を年1回にしました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

健康に関する普及啓発活動を継続して実施することにより、家庭血圧測定をする人の割合と喫煙率、成人歯科健診受診率は目標を達成し、市民の健康意識の向上につながっています。
心の健康づくりに関する普及啓発や市民向け講演会の開催、ゲートキーパー養成講座の実施により、ゲートキーパーへの理解促進及び人材育成につながりました。
食まちイベントの開催により、多くの方に食からの健康づくりに対して関心を持ってもらうことができました。
体力測定会や親子運動教室など、エンジョイスポーツクラブ魚沼と連携して企画し、各年齢層に合った運動プログラムを提供したことで、スポーツや体の動かし方について理解を深めることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	5年間平均自殺死亡人数は減少してきております。また、ゲートキーパー養成講座の実施により人材の育成も進んできています。 血圧測定する人の割合、歯科健診受診率、スポーツ教室参加者など多くの項目で目標値を達成していることから、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	健康や食に関する普及啓発や健康教育、イベントを実施し、健康づくりや生きがいづくりの場を提供することで、健康意識の向上と健康づくりに取り組むきっかけにつながることから、「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	市民の生活習慣病予防に取り組む意識改革が将来の重症化予防につながるため、特に40歳から60歳代が健康づくりに関心をもってもらえるような普及啓発や健康教育などを今後も継続的に実施します。 悩みを抱えた人の孤独を防ぐために、相談先の普及啓発を行うとともに、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つなぎ・見守りができるよう連携体制の強化や人材養成に取組む必要があります。 幅広い年齢の市民が参加でき、運動習慣の定着のため、市民のニーズの把握や新しい競技の体験会を実施するなどの新たな取組を進めていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	
	3 すべての人に健康と福祉を

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　健康増進課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係課		
施 策 名	2号	疾病予防と重症化防止対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

病気の予防、早期発見及び生活習慣病の重症化を防止するため、特定・基本健診及び各種がん検診の受診率向上を図ります。また、健（検）診結果をはじめとする各種データを活用し、疾病の予防と重症化防止のための健康相談・健康教育の内容を充実します。

新型インフルエンザ等をはじめとする各種感染症について、正しい知識の普及と感染予防に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
204		基本健診事業	4 1 3	健康増進課	3,183	3,311	3,216	4,805			やや高い	C
		事業の取組内容	健康増進法に基づく健康診査や保健指導を実施する。									
206		がん検診事業	4 1 3	健康増進課	44,942	61,847	61,588	75,579			やや高い	C
		事業の取組内容	各がん検診の実施、個別受診の勧奨、がん予防のための普及啓発等を行う。									
519		感染症対策事業	4 1 3	健康増進課	419,989	340,547	231,243	232,991			高い	B
		事業の取組内容	予防接種により疾病に対する免疫を保有し、感染症の発生及びまん延を予防する。（R5に感染症対策事業と統合し、事業名を予防接種事業から感染症対策事業に変更）									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	特定健康診査受診率	52.0 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	49.3	48.4	未確定				
			達成率	85.0%	82.0%	%	%	%		
2	特定保健指導実施率（市集団検診実施分）	48.4 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	41.6	40.3	未確定				
			達成率	71.7%	68.3%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
204	39歳以下国保受診率	10.4	目標値	11	12	13	14	15	15	%
			実績値	9.2	13.8	12.5				
204	骨粗鬆症検診受診率	30	目標値	33	35	35	37	40	40	%
			実績値	25.6	23.4	28.8				
206	肺がん検診受診率	16.3	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	19.1	19.8	19.5				
206	胃がん検診受診率	8.6	目標値	12.0	16.0	20.0	25.0	30.0	30.0	%
			実績値	10.0	10.1	9.6				
206	大腸がん検診受診率	15.8	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	17.6	18.0	17.9				
206	乳がん検診受診率	24.5	目標値	27.6	30.7	33.8	36.9	40.0	40.0	%
			実績値	24.6	25.3	24.7				
206	子宮頸がん検診受診率	18.6	目標値	21.8	25.0	28.2	31.4	35.0	35.0	%
			実績値	18.7	19.3	18.6				
519	定期接種(麻しん風しん(MR)2期)の接種率	99.6	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%
			実績値	98.2	95.9	99.0				
519	定期接種(高齢者インフルエンザ)の接種率	67.8	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%
			実績値	58.5	59.2	56.6				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

特定健診受診率及び特定保健指導実施率は、働き盛り世代の状況を把握でき、また全国及び県との比較ができるため成果指標としましたが、実績値が確定するのは翌年度の12月頃となります。

各種がん検診の指標の実績は速報値です。「がん検診結果報告」で報告した数値を計上しており、数値が確定するのは、翌年度末です。また、新潟県が発行している「にいがたの生活習慣病」の算出方法に基づき算出しているため、受診者数を対象者数で除して求めた値とは異なります。

感染症対策として、令和5年度から50歳以上を対象とした帯状疱疹ワクチン任意予防接種の助成を開始しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

骨粗しょう症検診では、要精密検査結果判定された方の約６割が骨粗しょう症又は骨減少症と診断されました。また、がん検診では、要精密検査判定された方のうち１７名にがんが発見されました。各健診、検査の実施により、疾病の早期発見、早期治療につながりました。

各種予防接種の実施により、発症者の抑制につながり、市内における感染症のまん延防止と重症化予防につながりました。

新たに帯状疱疹ワクチン予防接種の助成を開始したことにより、経済的負担の軽減と疾病の発症及び重症化の予防につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	指標となる達成度が目標より下回っており、その他事務事業に関する活動指標及び成果指標についても目標を下回っていることから、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	各種健康診断や検査を行うことで、疾病の早期発見、早期治療につながること、また、各種予防接種の実施により、重症化予防や感染症のまん延防止となることから、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	生活習慣病又は他疾病の早期発見及び重症化予防並びに早期治療のためには、毎年の健診受診又は検査及び各検査結果の活用が重要ですが、健診、検査の受診率が低い傾向にあります。そのため、市民への健診、検査、予防接種の有効性をわかりやすくお知らせするとともに、受診しやすい環境及び効果的な受診勧奨の方法を検討する必要があります。 今後も健診や検査結果で精密検査が必要と判定された方への受診勧奨や保健指導を引き続き行っていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　子ども課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	関係課	企画政策課	地域創生課
施策名	1号	子育て支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、すべての保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられるよう、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。

妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターと子育て世代包括支援センターとの連携を強化し、情報の発信と相談・支援体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
36		男女共同参画事業	2 1 6	企画政策課	73	37	813	2,699			やや高い	B
		事業の取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。									
47	○	うおぬま出会いサポート事業	2 1 6	地域創生課	695	1,970	7,376	8,330			やや低い	C
		事業の取組内容	婚活イベント、結婚セミナー、結婚サポーター研修等を実施する。									
139	○	ひとり親家庭等医療費助成事業	3 2 2	子ども課	15,449	17,346	18,196	18,505			やや高い	A
		事業の取組内容	ひとり親世帯の保険診療の自己負担金の一部（児童は全額）を助成する。									
172	○	要保護児童相談・支援事業	3 2 6	子ども課	2,459	4,498	4,917	6,212			やや高い	A
		事業の取組内容	要保護児童及び要支援妊婦相談支援の実施等により児童虐待の防止を図る。									
194	○	母子健康相談・教育事業	4 1 2	子ども課	3,339	3,446	3,472	4,471			やや高い	B
		事業の取組内容	妊娠期から幼児期に関する正しい知識の普及、発達段階に応じた子育て教室等を実施する。									
195		乳児家庭全戸訪問事業	4 1 2	子ども課	394	382	317	652			やや高い	A
		事業の取組内容	生後４ヶ月までに訪問し、子育て支援の情報提供と養育環境の把握を行う。									
196	○	妊産婦医療費助成事業	4 1 2	子ども課	9,114	8,014	9,007	11,026			高い	A
		事業の取組内容	妊産婦の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。									
197	○	妊産婦・新生児訪問事業	4 1 2	子ども課	1,041	840	928	1,537			やや高い	A
		事業の取組内容	助産師等による新生児と産婦訪問を実施する。									
198	○	不妊・不育治療費助成事業	4 1 2	子ども課	3,236	4,378	2,027	4,450			やや高い	A
		事業の取組内容	不妊・不育治療に要する費用の一部を助成する。									
199	○	妊婦健診助成事業	4 1 2	子ども課	18,248	16,063	16,111	25,116			やや高い	B
		事業の取組内容	妊婦健診について、一人当たり16回分を助成する。									

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
200	○	子ども医療費助成事業	4 1 2	子ども課	87,689	93,644	110,300	99,957			やや高い	A
		事業の取組内容	児童の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。									
201	○	乳幼児健診事業	4 1 2	子ども課	6,301	7,138	5,481	10,058			やや高い	B
		事業の取組内容	法定以外にも健診の機会を設け、疾病予防や育児相談を行う。									
515	○	すこやかサポート事業	4 1 2	子ども課	912	1,705	1,685	4,027			やや高い	A
		事業の取組内容	子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行う。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	子育てが楽しいと感じる人の割合 ４か月児健診時のアンケート調査での割合	4か月 89.2 (R1調査)	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	5ポイント増加	%
			実績値	95.8	92.1	93.4				
			達成率	105.2%	100.1%	100.4%	%	%		
2	子育てが楽しいと感じる人の割合 １歳６か月児健診時のアンケート調査での割合	１歳6か月 84.9 (R1調査)	目標値	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	5ポイント増加	%
			実績値	87.0	89.0	90.6				
			達成率	101.1%	102.2%	103.0%	%	%		
3	子育てが楽しいと感じる人の割合 ３歳児健診時のアンケート調査での割合	3歳児 82.5 (R1調査)	目標値	83.5	84.5	85.5	86.5	87.5	5ポイント増加	%
			実績値	82.2	81.3	84.2				
			達成率	98.4%	96.2%	98.5%	%	%		
4	ハッピー・パートナー企業登録数	12 (R1実績)	目標値	16	19	22	26	30	30	社
			実績値	13	14	21				
			達成率	81.2%	73.6%	95.4%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
36	市の審議会等への女性の登用率	24	目標値	25	29	33	37	40	40	%
			実績値	23.3	23.8	23.2				
36	研修会後のアンケートで「とても参考になった」の割合	－	目標値	73	80	80	80	80	80	%
			実績値	83	76	58				
47	参加者数（１回平均）	9	目標値	20	20	20	20	20	20	人
			実績値	25.5	26.7	15.0				
47	参加者満足度（１回平均）	実施なし	目標値	80	80	80	80	80	80	%
			実績値	82.2	77.5	66.7				
47	（参考）年間参加者数（男性/女性）		目標値							
			実績値	26/25	59/21	17/13				
139	受給者証更新申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	99.2	99.2				
172	（参考）児童虐待の件数	31	目標値							人
			実績値	49	55	40				
172	（参考）上記のうち児童相談所が一時保護・措置した件数	5	目標値							人
			実績値	3	1	1				
194	楽しそうに食べている子の割合(1歳6か月児健診)	90	目標値	91	92	93	94	95	95	%
			実績値	90.7	89	89.0				
195	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	99.5	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.4	100	99.3				
195	（参考）訪問実人員/対象者実人員	202/203	目標値							
			実績値	165/166	142/142	139/140				
196	妊娠届出者の申請率	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
196	（参考）実人数	263	目標値							
			実績値	264	238	234				

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
196	（参考）延べ助成件数	1,667	目標値							
			実績値	1,914	1,627	1,719				
197	新生児への訪問率	92.3	目標値	93	94	95	95	95	95	%
			実績値	94.6	94.7	95.8				
197	（参考）新生児訪問実人数/対象全数	198/202	目標値							
			実績値	159/168	126/133	137/143				
197	（参考）妊婦・産婦訪問実人数/対象全数	193/200	目標値							
			実績値	166/172	128/134	148/153				
198	（参考）特定治療申請件数	20	目標値							件
			実績値	29	39	21				
198	（参考）一般治療申請件数	20	目標値							件
			実績値	12	10	2				
198	（参考）妊娠成立夫婦/制度利用夫婦	11/29	目標値							組
			実績値	6/27	17/33	10/16				
199	（参考）妊婦検診延受診者数	2,460	目標値							人
			実績値	2,107	1,794	1,843				
199	（参考）産婦健診助成件数	197	目標値							件
			実績値	157	240	249				
200	出生児の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
200	転入等の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
200	（参考）子ども医療費助成件数	32,648	目標値	－	－	－				件
			実績値	38,078	38,732	47,361				
201	健診受診率（4か月、1歳6か月、３歳児健診）	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.7	100	100				
201	（参考）乳児一般健康診査受診者数	213	目標値							人
			実績値	172	163	123				
515	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合(3歳児)	91.1	目標値	92	93	94	95	96	96	%
			実績値	96	96.3	96.4				
515	（参考）年間相談件数	1,209	目標値							件
			実績値	1,369	1,236	984				
515	EPDS：9点未満の割合	91	目標値	91	92	93	94	94	94	%
			実績値	96.0	94.1	97.7				
515	（参考）利用件数	令和３年度拡充	目標値							件
			実績値	5	6	2				

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

妊娠期から幼児期までの妊産婦を対象とした教室や産後ケアを行い、正しい子育ての知識の普及を図ることで、育児不安の解消につながりました。さらに子育て世帯に対する経済的支援を行うことで安心して養育できる環境を整えました。こどもに対しては新生児訪問から乳幼児健診等を通じて健康管理や発達相談等を定期的に行い、継続的な支援が必要な家庭には保健師が訪問するなど細やかな対応を行うことで健やかな成長を促し、保育園等の入所につながりました。

また、すべての妊産婦、子育て世代、こどもへの相談支援体制の強化を図るため、これまで「子育て世代包括支援センター（母子保健部門）」と「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉部門）」において実施している相談支援を一体的に行う「こども家庭センター」設置のための体制整備を進めました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	成果指標の半数は目標値を超えており、前年度と比べて実績値が上昇傾向にあるため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	各事業において「高い」、「やや高い」が多数ですが、今後は更なる事業間の連携と支援事業の周知を図る必要があると考え、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	子育て支援については、既存の事業や股関節エコー検診などの新事業を市内外に周知するとともに、魚沼市の子育て支援事業の認知度を高め、支援が必要な人に届けるために子育て応援のまち魚沼市をアピールする必要があります。また、ファミリー・サポート・センターの提供会員や養育支援訪問事業の受託者等が不足していることから、子育てに関する地域資源の開拓を進めるとともに、地域全体に子育て相談窓口の周知を図るなど助けを必要としている人が気軽に子育て相談しやすい環境を作り上げることが課題です。 今後は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を継続していくために、「魚沼市こども家庭センター」を軸とした関係機関との連携強化と包括的な相談支援体制の構築を進めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　子ども課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	関係課		
施 策 名	2号	子育て環境の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

保護者の就業状況など社会の変化による保育ニーズの多様化に対応するため、多面的な保育サービスの提供や、公立保育園の運営のあり方について検討します。
乳児期から健やかな発達を支援するため、子育て支援センターや子育ての駅かたっくりの体制整備や施策の充実に加え、保護者や地域が共に学び、育ち、支え合えるよう情報提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
142		児童福祉施設整備事業	3 2 3	子ども課	9,735	88,928	121,093	113,750			高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。									
169		地域療育支援事業	3 2 6	子ども課	8,781	9,466	9,393	12,170			やや高い	A
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。									
173	○	子ども・子育て支援事業	3 2 6	子ども課	922	923	2,220	5,405			やや高い	B
		事業の取組内容	子ども・子育て新制度の推進に向けて計画策定、進捗管理を行う。									
514	○	子育ての駅運営事業	2 1 6	子ども課	15,368	23,671	28,746	29,831			高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたっくりの管理運営									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	ファミリーサポートセンター会員数	30 (R1調査)	目標値	40	50	60	70	70	70	人
			実績値	67	94	112				
			達成率	167.5%	188.0%	186.6%	%	%		
2	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合(4か月健診)	96.9 (R1調査)	17	98	98	99	99	100	100	%
			実績値	93	96	91				
			達成率	94.8%	97.9%	91.9%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0				
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1				
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10				
169	就園前（つくしプレイ）教室参加者	274	目標値	280	280	280	280	280	280	人／年
			実績値	334	355	315				
169	就学前（ステップアップ）教室	336	目標値	288	288	288	288	288	288	人／年
			実績値	320	282	299				
173	会議の開催回数	2	目標値	3	3	3	5	3	3	回／年
			実績値	3	2	2				
514	子育ての駅「かたっくり」市内利用者数	15,057	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人
			実績値	15,410	17,186	20,075				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

公立保育園等の児童福祉施設については、魚沼市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育サービスの提供や公立保育園運営を行い、魚沼市児童福祉施設長寿命化計画に沿った施設改修等を実施したことで、快適な保育環境を維持することができました。また、子育ての駅かたっくりは指定管理施設となり、民間のノウハウを活かした施設運営により、来館者が増加しています。

地域で支える子育て環境については、ファミリー・サポート・センター会員数・依頼件数ともに増加しており、地域資源を活用した子育て環境の充実につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	ファミリー・サポート・センター会員については、目標値を大きく超えているものの、この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合が減少傾向であることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	地域の子育てに関する機運をさらに高め、子育て環境の充実と切れ目のない支援に向けた子育て関係機関の連携を密にしていく必要があることから「やや高い」としました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	早朝、延長及び休日保育や増員配置が必要な幼児の保育など、多様化している保育ニーズに提供体制が追いついていない現状があります。令和5年度に実施した子ども子育てニーズ調査の結果等を踏まえ、今後の保育サービスの量と提供体制等を検討し、第三期魚沼市子ども・子育て支援事業計画に反映します。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合が増えるよう、子育て分野の要因だけでなく他分野の要因や、ほかの事業も含めて検討し、取組を進めること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　福祉支援課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係課	介護福祉課	
施 策 名	1号	すべての市民が自立できる環境の構築			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害のある人が、住み慣れた地域の中で、自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、相談体制を強化するとともに、一人ひとりに合った適切な福祉サービスの提供や、地域生活支援拠点等の整備をすすめます。

また、地域における自立と社会参加の実現に向けて、市民一人ひとりが相互に尊重し支え合い、障害のある人もない人もともに安心して暮らせるよう地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
104		精神障害者医療費助成事業 / 3 1 2	福祉支援課	28,900	31,396	37,406	35,444			高い	A
		事業の取組内容	精神障害（児）者の医療費の一部を助成し、疾病の早期治療及び発病の予防を促進する								
116	○	地域生活支援事業 / 3 1 2	福祉支援課	97,393	101,019	109,988	128,887			やや高い	B
		事業の取組内容	障害者等の総合的な相談業務、権利擁護、日常生活用具の給付、障害福祉サービス（訪問入浴、日中一時支援等）の給付等の事業								
129	○	高齢者生活支援事業 / 3 1 4	介護福祉課	73,136	56,302	40,107	90,759			やや高い	B
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	自立し安心して生活できる環境の整備施策の満足度 / 障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）	40.2 (R1調査)	目標値	―	―	―	―	50	50	%
			実績値	―	―	―	―			
			達成率	%	%	%	%	%		
2	就労支援により就労した人の数 / （生活保護受給者＋生活困難者）	3	目標値	4	4	4	5	5	5	人／年
			実績値	4	1	4				
			達成率	100.0%	25.0%	100.0%	%	%		
3	就労継続支援事業所における平均月額工賃（Ｂ型）	21,118 (R1調査)	目標値	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	23,000	円
			実績値	19,397	20,817	25,613				
			達成率	102.0%	104.0%	121.9%	%	%		
4	障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思う人の割合 / 障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）	20.2 (R1調査)	目標値	―	－	－	―	40	40	%
			実績値	―	16.8	－	－			
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
104	申請者に対して助成金を支払った件数	1,419	目標値	1,400	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	件／年
			実績値	1,406	1,425	1,505				
116	一般相談及び基本相談利用実人数	431	目標値	420	420	420	420	420	420	人／年
			実績値	473	504	618				
116	相談支援専門員新規養成者数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	人／年
			実績値	1	0	0				
116	障害があることで差別や嫌な思いをした割合	－	目標値	－	30	－	－	30	30	%
			実績値	－	38	－				
116	障害者への理解を深めるための研修会　理解度	100	目標値	80	80	80	80	80	80	%
			実績値	100	100	100				
129	軽度生活支援事業(除雪援助及び生活援助)の利用世帯数	550	目標値	550	560	582	582	582	582	世帯
			実績値	550	582	399				
129	外出支援サービス事業の利用者数	335	目標値	335	362	371	371	371	371	人／年
			実績値	362	371	363				
129	食の自立支援事業の利用者数	194	目標値	194	226	255	255	255	255	人／年
			実績値	226	255	236				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

精神科の治療は、長期間にわたる場合が多いため、医療費助成による治療の継続と早期治療を促すことで、障害者の自立支援と社会生活の継続を支援することができたと考えます。

障害者基幹相談支援センターが開設され、地域の相談支援体制の整備と障害者の相談窓口が増え、支援につなげやすい体制になったと考えます。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	障害者基幹相談支援センターを設置したことで、障害者の相談窓口が増え、そして、地域生活支援拠点の登録を進めることができ、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	障害者の日常生活の支援を実施することにより、地域共生社会の実現に協力することができたので「やや高い」と評価しました。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	障害者サービスや支援の構築を図ることは進んできていますがそれを支える人材が不足し、人材確保対策が課題となっています。障害のある方への支援方法と理解を広めて行きます。 障害のある方の高齢化が進み、障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行が、課題となっています。基幹相談支援センターが中心となり、関係機関と情報共有し、連携を深める協力連携体制を強化します。 令和6年度から、成年後見制度の中核機関として「魚沼市権利擁護サポートセンター」を魚沼市社会福祉協議会内に設置するとともに、運営協議会を立ち上げ、障害のある方への権利擁護支援について関係機関と連携を図るとともに、暮らしやすいまちづくりを進めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	産業経済部　都市整備課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係課	生活環境課	建設課
施策名	2号	安心して暮らせる公共空間の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害の有無にかかわらず、市民の誰もが安全で快適に暮らすことができる地域社会を実現するため、公共建物のバリアフリー化、交通機関や道路のユニバーサルデザイン化をすすめることにより、全ての人にやさしいまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
39	○	公共交通総合連携事業	2 1 6	生活環境課	114,124	115,054	116,953	163,289			やや高い	B
		事業の取組内容	路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。									
314		市道整備事業	8 2 2	建設課	216,231	193,247	332,632	282,201			やや高い	B
		事業の取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。									
329		都市計画策定事業	8 4 1	都市整備課	0	5,687	7,819	6,878			やや高い	B
		事業の取組内容	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し及び策定を行うとともに、計画に沿いコンパクトなまちづくりを推進する。									
342		公営住宅整備事業	8 5 1	都市整備課	6,582	14,383	3,783	93,667			やや高い	A
		事業の取組内容	建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【段差等】	22.4 (R1調査)	目標値	―	―	―	―	20以下	20以下	%
			実績値	―	21.0	―	―			
	障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）		達成率	%	%	%	%	%		
2	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【経費等】	17.7 (R1調査)	目標値	―	―	―	―	15以下	15以下	%
			実績値	―	21.8	―	―			
	障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）		達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
39	住民1人あたりの乗合タクシー等利用回数	0.79	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76				
314	市道整備工事実施路線数		目標値	11	21	29	36	43	43	路線
			実績値	9	19	27				
314	市道整備測量設計実施件数		目標値	9	17	20	33	34	34	路線
			実績値	8	14	18				
329	立地適正化計画改定の進捗率		目標値		50	100			100	%
			実績値		50	100				
342	公営住宅解体棟数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

運転免許証自主返納者に対し乗合タクシー等共通回数券を交付することにより、自主返納を促進し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。＜令和５年度共通回数券交付申請者：206人（前年度161人）＞

・令和5年3月31日　路線バス　小出－小千谷線、小出－栃尾又線、小出－六日町線　休止届提出

・令和5年6月 1日　上記3路線の休止届取下げ（いずれも事業者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

路線バスや乗合タクシーの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで高齢者を中心とした通院や買物など交通弱者の移動手段を確保できたほか、交通事業者の分野を超えた取組により湯之谷及び守門地域において令和6年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができました。

歩道整備と市道改良を行うことで道路のユニバーサルデザイン化が進み、市民の安全な歩行空間が増え、また、市営住宅の計画的な集約により入居者の住替えが進み、市街地への居住誘導を図ることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	歩道整備や道路改良による段差等の解消が進んだこと、また、路線バスと乗合タクシーの運行費を助成することにより自家用車に頼らない交通手段の維持を図ることができたことから「やや高い」と判断しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	道路改良や公共交通の維持を図り公共交通空白地を解消し高齢者等交通弱者の移動手段を確保することで安心して暮らせるまちづくりに寄与できたため「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	公共交通に関しては、人口減少や少子高齢化、乗合タクシーの毎日の運行や市外への運行など、高まる移動ニーズの多様化に加え、交通事業者の人材確保が大きな課題となっています。また、公共施設等の老朽化改修と同時に、公共建築物のバリアフリー化及び道路改良時におけるユニバーサルデザイン化についても優先して進める必要があります。 都市計画マスタープラン及びコンパクトなまちづくりの実現に向けて、都市拠点と地域拠点への居住誘導や都市施設の集約、拠点を結ぶ地域交通の維持に引き続き取り組み、安全で快適に暮らすことができる地域の実現に努めていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　介護福祉課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係課		
施 策 名	1号	暮らしの支援体制の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

住み慣れた地域の中で、高齢者が安心して自分らしい生活を送ることができ、また、介護者の負担も軽減できるようにするため、地域資源を活用した地域ネットワークの整備をすすめ、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスが切れ目なく提供されるよう「地域包括ケアシステム」を推進し、在宅医療と介護の連携強化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
127	○	介護人材確保支援事業 / 3 1 3	介護福祉課	882	46,503	59,145	86,183			やや高い	A
		事業の取組内容	介護分野を支える人材育成マネジメントの支援を行う。								
129	○	高齢者生活支援事業 / 3 1 4	介護福祉課	73,136	56,302	40,107	90,759			やや高い	B
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う。								
130	○	生きがい活動支援通所事業 / 3 1 4	介護福祉課	22,271	19,760	20,662	26,111			やや高い	B
		事業の取組内容	人との交流や日常動作訓練などを通じて、高齢者の生きがい活動と社会参加を促進し、要介護状態になることを予防する。								
介4	○	認知症総合支援事業 / 3 3 1	介護福祉課	16,500	16,900	17,200	17,200			やや高い	B
		事業の取組内容	認知症理解のための普及・啓発活動及び発症予防の推進、早期診断・早期対応のための体制整備を行う。								
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業 / 3 3 1	介護福祉課	9,000	9,465	9,400	9,500			高い	C
		事業の取組内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合	15.3 (R1調査)	目標値	―	45	―	―	45	45	%
			実績値	―	19.3	―				
	魚沼市地域福祉推進計画策定時のアンケート調査		達成率	%	42.8%	%	%	%		
2	介護予防事業参加者の割合	6.6 (R1調査)	目標値	8	8.5	9	9.5	10	10	%
			実績値	5.8	4.8	4.8				
	第１号被保険者のうち、介護予防事業（若トレ等）参加者の割合		達成率	72.5%	56.5%	53.3%	%	%		
3	要介護認定者の割合	19.0 (R1実績)	目標値	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	%
			実績値	18.7	18.3	18.2				
	介護保険事業状況報告（３月末の第１号被保険者の認定者の割合		達成率	106.0%	108.0%	109.0%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
4	市で実施する介護に関する入門的研修修了者数 研修修了者数	24 (R1現在)	目標値	34	38	42	46	50	50	人
			実績値	36	43	50				
			達成率	105.9%	113.1%	119.0%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
介5	検討会議開催数（事例検討含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回／年
			実績値	7	16	18				
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人／年
			実績値	1,778	1,756	487				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちづくりをめざし、軽度生活支援、食の自立支援等様々な高齢者生活支援や、介護予防のため生きがい活動支援、若トレ等を実施し、第1号被保険者の認定者の割合が目標を達成するなど、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせる体制の整備づくりに寄与しました。

また、生活習慣や価値観の変化により、高齢者の抱える問題やニーズは多様化していますが、関係機関と連携し、３か所に設置した地域包括支援センターを中心に必要な支援を実施するなど、医療、介護、介護予防等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に寄与しました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと自分らしい暮らしを実現するには、健康の維持と介護予防が重要であり、それらの取組の成果により要介護の認定者の割合が目標を達成したと判断したため、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	「地域包括ケアシステム」の推進や在宅医療と介護の連携強化のためには、事務事業の構成は妥当と判断したため、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	本市において、総人口が減少しているなか、少子高齢化が進行しており、認知症の人や一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人はますます増加することが懸念されるとともに、介護の担い手不足といった問題も一層深刻化していくことが見込まれます。 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、住まい、医療、介護、介護予防及び日常生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築・深化しながら、中長期的な視野に立ち、「高齢者等が安心して生き生きと暮らせるまちづくり」の実現に向け、各種取組を進めていく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　介護福祉課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係課	生涯学習課	
施 策 名	2号	高齢者の社会参加の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

価値観が多様化する中で、高齢者が社会の重要な一員として、これまで培ってきた高い技術や知識を活かし、生きがいを持って活躍できる場や生涯学習の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
120		シルバー人材センター助成事業	3 1 3	介護福祉課	10,300	10,300	10,300	10,300			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼市シルバー人材センターの活動支援を行う。									
124		老人クラブ助成事業	3 1 3	介護福祉課	9,860	9,610	9,440	9,840			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼市老人クラブ連合会の活動支援を行う。									
444	○	地区公民館講座教室事業	10 4 2	生涯学習課	654	1,302	1,600	2,620			やや高い	C
		事業の取組内容	各種公民館講座教室、講演会等を開催する。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	地域活動に参加している高齢者の割合 高齢者福祉計画･介護保険事業計画策定時実施の介護予防･日常生活圏域ニーズ調査	21.7（R2調査）	目標値	―	25	―	―	40	40	%
			実績値	―	24.6					
			達成率	%	98.4%	%	%	%		
2	シルバー人材センター会員数	506（R1実績）	目標値	510	520	530	540	550	550	人
			実績値	463	462	396				
			達成率	90.7%	88.8%	74.7%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
120	シルバー人材センター受注額	175	目標値	173	188	191	194	197	－	百万円
			実績値	169	153	155				
124	単位老人クラブ加入者数	4,220	目標値	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	人
			実績値	4,063	3,729	3,432				
444	講座教室の参加率(参加人数/募集定員)*100	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71				
444	参加者の満足度(満足/回答者)*100※アンケート	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

シルバー人材センター助成事業では、定年年齢の引き上げや継続雇用など、社会情勢の変化に伴い、会員数が減少した一方で、受注額は、1会員1仕事開拓運動などに取り組み、対前年度比で1.2%増となりました。シルバー人材センターを通して行う各種事業は、高齢者の就労支援と社会参加の推進に寄与しています。

老人クラブ助成事業では、老人クラブの加入者数が前年度から減少となっていますが、高齢者の趣味の多様化、雇用年齢の引上げなどの昨今の社会情勢の中において、各単位老人クラブが実施する健康づくりやボランティア活動は高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に寄与しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	シルバー人材センターの受注額は前年度から微増しており、各種事業に意欲的に参加する高齢者は多く、また地域においては「身近な頼れる存在」として高いニーズがあることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	シルバー人材センターの幅広い分野の事業や老人クラブの各種活動によって、多くの高齢者が社会参加、就労支援、生きがいづくりの場に参加できる環境づくりができていることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	シルバー人材センター、老人クラブともに社会情勢の変化や趣味の多様化などにより、入会者の確保が課題となっています。 シルバー人材センターは、コロナ禍の規制も緩和されたことから、更なる就業機会の確保とともに幅広いニーズに応えられるよう、研修会を開催するなど会員のスキルアップに積極的に取り組んでおり、高齢者の就労支援と社会参加の推進に果たす役割は非常に大きいことから、引き続き助成を実施していきます。 老人クラブの加入者数は減少傾向にありますが、高齢者の健康づくりやボランティア活動に参加することで、人とのつながりができ、生きがいづくりにも寄与していますので、引き続き助成を実施していきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	
	3 すべての人に健康と福祉を

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　健康増進課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項	誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係課		
施 策 名	1号	健康管理システムの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が地域で安心して暮らし続けられ、初期医療から高度医療まで、地域内で対応できるよう魚沼基幹病院及び市内診療所との連携の強化を図ります。

医療機関等がそれぞれの役割を分担するなかで、病院、診療所及び在宅医療・在宅介護に関わる職種間での連携や患者情報を共有し、必要な医療及び介護へスムーズにつなげるため「うおぬま・米ねっと」の加入促進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	達成度
189	○	地域医療対策事業 4 1 1	健康増進課	355	15,407	92,353	29,410			高い	B
		事業の取組内容	病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。								
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	基幹病院を含めた市内医療提供体制の満足度	44.0 (R1調査)	目標値	―	―	75	―	―	75	%
			実績値	―	―	47.4	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	63.2%	%	%		
2	うおぬま・米ねっと加入率	27.0 (R1末)	目標値	30	35	40	45	60	60	%
			実績値	37	40	44				
	魚沼の総人口に対する、うおぬま・米ねっと加入者の割合		達成率	123.3%	114.2%	110.0%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名 指標の説明	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
189	市立小出病院の常勤医師数	9	目標値	9	9	9	9	9	9	人
			実績値	9	10	10				
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	1				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

「うおぬま・米ねっと」については、医療機関と介護施設との連携が可能となっており、介護サービス利用者の加入が増えたことにより加入率が伸びました。これによって医療と介護の職種間での連携や患者情報のスムーズな共有が図れています。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	医療、介護の連携が進み、加入率が目標を達成していることから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	「うおぬま・米ねっと」の活用で医療、介護の連携が進んでいること、また地域完結型医療の推進により、市内診療所、小出病院、魚沼基幹病院との連携強化が図られており、「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	「うおぬま・米ねっと」に関しては、今後在宅医療や在宅介護の需要が高まることが予想され、医療と介護の情報共有が一層重要となります。そのため、加入促進への取組が課題です。 地域完結型医療の実現に向け、医療機能の分化・連携が進められている中、今後、在宅医療の需要が増えることが予測されることから、医療、介護の連携をさらに進め、地域包括ケアシステムの実現に向けた医療体制の整備が必要です。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	
	3 すべての人に健康と福祉を

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課	部課名	市民福祉部　健康増進課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項	誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係課	介護福祉課	
施策名	2号	医療資源の育成			

2. 施策目的（目指すすがた）

医師・看護師などの地域内に不足する医療資源を充実させるため、修学資金の貸与事業を継続するほか、小出病院地域医療教育・研修センター、地域医療魚沼学校と連携し医療従事者の育成に取り組みます。

医療及び介護サービス資源の把握や課題等を共有し、住み慣れた地域で生活できる在宅医療・介護の連携の取組を進めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
189	○	地域医療対策事業	4 1 1	健康増進課	355	15,407	92,353	29,410			高い	B
		事業の取組内容	病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。									
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業	3 3 1	介護福祉課	9,000	9,465	9,400	9,500			高い	C
		事業の取組内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	家庭で血圧を測っている人の割合 / 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	34.7 (R1調査)	目標値	―	―	―	40	―	40	%
			実績値	―	―	―		―		
			達成率	%	%	%	%	%		
2	かかりつけ医がある人の割合 / 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	61.9 (R1調査)	目標値	―	―	―	80	―	80	%
			実績値	―	―	―		―		
			達成率	%	%	%	%	%		
3	市立小出病院の常勤医師人数	9 (R1現在)	目標値	9	9	9	9	9	9	人
			実績値	9	10	10				
			達成率	100.0%	111.1%	111.1%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名 指標の説明	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
189	うおぬま・米ねっと加入率	32	目標値	30	35	40	45	60	60	人
			実績値	37	40	44				
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	1				
介5	検討会議開催数（事例検討含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回／年
			実績値	7	16	18				
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人／年
			実績値	1,778	1,756	487				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

在宅医療と介護を一体的に提供するために、ワーキングチームによる課題の抽出と対応策についての検討をし、医療機関・介護事業所等の多職種連携研修や事例検討会で関係者間の情報共有を図りました。

また、令和4年度に発行した「わたしの想いノート」の普及啓発に向け、講演会や出前講座を開催し、市民への普及啓発に努めました。

医師等修学資金貸与者数については目標を達成することができませんでしたが、一定程度の実績もあり、医師・看護師が不足している本市において、修学資金の貸与は医療資源の確保を図るための有効な手段の一つであり、未来の医療人材の確保に向けて前進しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価		評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	多職種連携研修や、講演会、講座を開催し、市民への普及啓発に努め、また、小出病院の常勤医師の目標数を達成することができたことから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	限られた人材や医療資源のなかで、医療と介護の連携を図り、効率的にサービスを提供できるよう取り組んでおり施策に貢献しています。また将来のための医療人材の確保及び育成は地域医療の継続につながることから施策に貢献しているため「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡 充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課題及び今後の方向性	医療機関及び介護施設の関係機関との連携は取れてきていますが、市民への普及啓発が不足しています。また、看護師確保においては、修学資金の貸与者が市内医療機関へ就職しており、一定数の人材確保に貢献していますが、修学資金制度は、退学や進路変更、就職後の離職がみられることから、働く者にとって魅力ある病院づくりのため、魚沼市医療公社と連携した取組が課題です。 今後さらに高齢化が進み、在宅医療の需要が増加することが予想されることから、小出病院を拠点とした地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種連携は継続して取り組む必要があります。「人生の最終段階の過ごし方」について「わたしの想いノート」を活用しながらACPの普及啓発を推進する必要があります。また医療資源を充実するために医療人材の確保を継続するほか、ICTの活用も積極的に取り組む必要があります。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価		評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡 充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　農政課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	地域資源の活用による産業の振興	関係課	地域創生課	企画政策課
施 策 名	1号	新たな特産品づくり、ブランド化の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

本市には魚沼産コシヒカリや山菜をはじめとした豊かな農林水産物や魅力ある食文化があります。これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりをすすめ、食のまちづくりの推進により魚沼ブランドの積極的な情報発信や高付加価値化を図り、販路の開拓及び拡大に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
46	○	ふるさと結基金事業	2 1 6	地域創生課	1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,351,001			高い	A
		事業の取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をＰＲする。									
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業	2 1 6	企画政策課	2,891	3,754	3,286	3,620			やや高い	B
		事業の取組内容	「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。									
245	○	農産物ブランド力強化事業	6 1 3	農政課	5,609	13,143	12,968	16,617			高い	C
		事業の取組内容	地産地消の啓発、魚沼ブランド推奨品の普及、６次産業化支援、販路拡大支援を行う。									
522	○	インターチェンジ名称変更事業	2 1 6	企画政策課	0	1,626	2,388	349,403			やや高い	A
		事業の取組内容	交流人口の拡大、産業振興、利便性の向上及び市民の一体感の醸成のため、インターチェンジの名称変更に取り組む									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	魚沼ブランド推奨品の数	57 (R1末)	目標値	60	60	65	65	70	70	品
			実績値	68	72	74				
			達成率	113.3%	120.0%	113.8%	%	%		
2	市内直売所年間販売額	215,809 (R1実績)	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円／年
			実績値	210,987	195,168	190,342				
	市内直売所の年間販売額		達成率	97.6%	89.9%	87.3%	%	%		
3	ふるさと納税額	2,100,000 (R1実績)	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円／年
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008				
	寄附金額		達成率	133.6%	128.2%	121.9%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
46	ふるさと納税寄附件数	126,317	目標値	120,000	123,000	126,000	130,000	134,000	134,000	件
			実績値	137,900	131,884	122,887				
46	ふるさと納税寄附金額	2,465,259	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008				
210	食まちうおぬまﾈｯﾄﾜｰｸ推進協議会の開催数	3	目標値	2	－	－	－	－	10	回
			実績値	0	－	－	－	－		
210	食まちイベント参加人数	210	目標値	1,000	4,000	5,000	5,500	6,000	6,000	人／年
			実績値	940	5,000	4,800				
245	魚沼ブランド登録商品販売額向上割合	なし	目標値	5	7	55	55	55	55	%
			実績値	3.9	54	34				
245	市内直売所年間販売額	222,954	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円
			実績値	210,987	195,168	190,342				
522	年間観光入込客数	958	目標値	1,650	1,675	1,700	1,725	1,750	1,750	千人
			実績値	1,174	1,551	1,691				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和６年秋に関越自動車道小出インターチェンジの名称が魚沼インターチェンジに変更することが決定しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

県内外の販売会イベントやブランド農産物のトップセールスの実施にあたり、生産者や関係機関との協働により、魚沼市産のブランド力の高さを効果的にＰＲし、認知度向上に繋げることができました。特にトップセールスを実施したユリや促成山菜は、全国の主要市場から高い評価をいただき、平均販売単価において前年度実績を上回り、ブランド力の向上に繋がっています。

また、ふるさと納税についても、10月に返礼品に関するルール改正による厳しい状況の中、コシヒカリをはじめ本市の特産品等多くを返礼品として選んでいただき、前年度並みの寄附額を確保することができました。

令和６年秋に魚沼インターチェンジへの名称変更が決定し、市制施行２０周年に向けた市民協働による盛り上がりの機運が醸成されつつあります。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	直売所年間販売額は、目標に届きませんでしたが、ブランド推奨品数は前年実績を上回り、ふるさと納税額も前年並みの実績により目標を上回る成果を達成しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	本市特産品のＰＲを生産者や関係機関等と一体で取り組み、新たな特産品づくりや、豊かな農林水産物等の販路拡大、ブランド力向上から、本市の魅力発信へと繋げており、各事業が成果を発揮し、貢献していると言えます。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	本市の特産品のＰＲや魅力発信等において、関係機関や生産者等と一丸となった取組が進みつつあります。更に市制施行20周年を契機に、魚沼インターチェンジから多くの人を呼び込み、交流人口の拡大、本市経済の発展に向けて、市民も含めた盛り上がりの機運を各事業等を通じて醸成していきます。 また大都市等において、本市のブランド農産物をはじめ、令和4年度からスタートした魚沼市プレミアム認定品等の特産品のＰＲや広告宣伝の強化を図り、ふるさと納税寄附額の増加と販路開拓・拡大を図ります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　商工課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	地域資源の活用による産業の振興	関係課	農林整備課	
施 策 名	2号	新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の豊富な食材、森林資源、雪や水などの資源を活用した新製品の開発や新技術の確立、新分野への進出や新産業の創出に向けた企業の取組を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
276	○	魚沼市産材活用促進事業	6 2 2	農林整備課	15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		事業の取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。									
288	○	地域産業活性化事業	7 1 2	商工課	4,860	5,086	10,127	15,034			やや高い	C
		事業の取組内容	産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	新製品の開発支援事業による事業化件数	5 (H28～R1累計)	目標値	2	4	6	8	10	10 (R3～R7累計)	件
			実績値	2	2	3				
			達成率	100.0%	50.0%	50.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	㎥/年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発数	－	目標値	－	－	21	30	40	40	個
			実績値	－	－	18				
288	新製品の開発支援事業による事業化件数	－	目標値	1	2	3	4	5	5	件
			実績値	1	1	2				
288	支援事業の商談成立件数	3	目標値	50	50	50	50	50	50	件/年
			実績値	22	8	20				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和５年度より、成果指標に「市産材活用製品開発数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市木製品総合カタログの制作に伴い、森林資源を活用した製品の開発や販路開拓を支援することができました。

また、IoT技術を活用した新たな製品の開発を支援することで、新分野への進出や新産業の創出に寄与しました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	目標値に到達しなかったが、新製品開発や新技術の確立、地域資源の活用に取り組む気運の醸成を図ったことで事業化や製品開発に結びついた案件もあったことから、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	新製品開発や新技術の確立は企業にとって容易ではないものの、目標達成に向けて企業の主体的な取組を支援することが重要なことから、貢献度は「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	新製品・新技術開発支援や販路拡大の支援は、市内事業者の競争力強化に有効であるものの、市内の多くの製造業者の大部分は下請けということもあり、新たな事業展開が活発とはいえない状況です。今後、提案型企業が育つような環境づくりをどのように展開していくのかが課題です。 地域産業の活性化を図るため、補助制度の活用促進や商品開発支援、地域資源の活用支援を今後も進めながら、企業の考え、現状、ニーズなどの把握を強化した上で、企業、企業団体、商工会や包括連携協定を締結している大学などとも課題を共有し、異業種連携や産学官連携などに前向きに取り組んでいく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	指標の達成状況により判断し、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	○

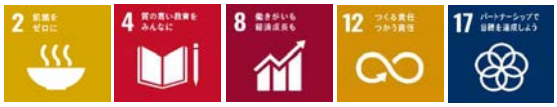
課　題 及び 今後の方向性	一次評価に加え、企業が新製品の開発へ意欲を示すような取組や企業の成長を促すような支援を行うこと。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連



1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　農政課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	魅力ある農林業の振興	関係課	農林整備課	学校教育課
施 策 名	1号	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進します。

農産物の品質向上と生産拡大をすすめ、６次産業化、農商工連携、ブランド化により商品開発や販売活動を支援し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。

農村環境と調和した農業生産と食の安全性向上の取組をすすめ、安心安全な農産物の生産と地産地消の取組を推進します。

新たな就農・就業者が、地域で培った技術や経営資産を円滑に事業継承が行えるように、受入体制や経営開始時の負担軽減の支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
241		農林水産業総合振興事業	6 1 3	農政課	7,624	972	－	－				
		事業の取組内容	県の事業認定を経て単独事業を実施する団体へ間接的に県補助金を交付する。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
243		中山間地域等直接支払交付金事業	6 1 3	農政課	193,273	192,905	191,789	194,905			高い	A
		事業の取組内容	耕作条件の劣る中山間地域の営農活動の維持全般に対して財政支援等を行う。									
244	○	生産調整対策事業	6 1 3	農政課	58,033	56,379	59,143	72,855			高い	B
		事業の取組内容	米の生産調整や経営所得安定対策を実施・推進する。									
247		多面的機能支払交付金事業	6 1 3	農政課	180,342	178,349	178,438	186,471			高い	B
		事業の取組内容	地域共同による農村環境の保全向上の取組を支援する。									
248	○	人・農地プラン事業	6 1 3	農政課	34,060	17,850	22,834	19,293			高い	A
		事業の取組内容	農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援する。									
250		経営体育成支援事業	6 1 3	農政課	3,128	0	－	－				
		事業の取組内容	人・農地プランに位置づけられた中心経営体の農業用機械等の導入に対し補助を行う。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
251	○	農業者育成支援事業	6 1 3	農政課	14,329	32,977	42,680	63,129			やや高い	A
		事業の取組内容	国県補助事業を利用して施設整備を行う農業者等に上乗せ補助を行う。									
254	○	新規就農者援助事業	6 1 3	農政課	1,200	1,200	－	－				
		事業の取組内容	新規就農者に補助金を交付し経営が軌道に乗るまでの間を支援する。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
255		地域バイオマス施設整備事業	6 1 3	農政課	0	36,866	2,310	55,336			やや高い	B
		事業の取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。※R５で総合計画計上終了									
259	○	農地農業施設整備事業	6 1 5	農林整備課	87,407	31,501	39,302	70,846			やや高い	B
		事業の取組内容	農業用施設の整備により生産コストの縮減を図り、持続可能で力強い農業経営の構築を推進する。									

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
482		学校給食支援事業 10 6 1	学校教育課	3,769	3,878	3,498	3,711			やや高い	A
		事業の取組内容	小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
1	農業担い手数 認定農業者、認定新規就農者	362 (R1末)	目標値	360	360	360	360	360	360	経営体
			実績値	326	308	290				
			達成率	90.5%	85.5%	80.6%	%	%		
2	担い手への農地利用集積面積 農地中間管理機構を通じて担い手へ集積した面積	2,404 (R1末)	目標値	2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	2,900	ha
			実績値	2,608	2,608	2,655				
			達成率	96.5%	94.8%	94.8%	%	%		
3	新規就農者数 新規就農者実態調査に計上される人数	34 (H28～R1累計)	目標値	42	49	56	63	70	70 (H28～R7累計)	人
			実績値	53	62	70				
			達成率	126.1%	126.5%	125.0%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
243	中山間地域等直接支払交付金事業取組面積	982	目標値	982	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	ha
			実績値	1,001	999	1,004				
247	多面的機能支払交付金事業取組面積	2,553	目標値	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	ha
			実績値	2,553	2,544	2,542				
251	農業機械等導入経費補助件数	6	目標値	5	5	5	5	5	5	件
			実績値	6	1	3				
251	新規就農者研修支援	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0				
253	環境保全に資する農業取組面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297				
255	原材料受入量（家畜排泄物、エノキ廃菌床、おから他）	5,647	目標値	6,000	6,000	6,000	6,500	7,000	7,000	t
			実績値	5,317	5,798	5,715				
255	堆肥販売量（田、畑（水稲、花き,野菜）、家庭菜園他	1,903	目標値	2,300	2,300	2,300	2,900	3,150	3,150	t
			実績値	1,975	2,112	2,342				
259	県単農業農村整備事業の事業実施箇所	1	目標値	3	2	1	1	1	1	箇所／年
			実績値	8	2	0				
259	小規模農地基盤整備事業実施における受益面積	2	目標値	2	2	2	2	2	2	ha／年
			実績値	1.7	2.0	3.6				
482	（参考）コシヒカリ提供数量	31,436	目標値	－	－	－	－	－	－	kg
			実績値	32,142	30,437	28,544				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

交付金や補助金の活用により、農地の保全、農業用施設・機械等の整備、導入支援により農村環境の形成に繋げました。また、就農して間もない農業者へ支援したことにより、経営基盤の安定に寄与し、新たな担い手の育成に繋げています。

また、市内小中学校の給食では魚沼産コシヒカリを使用することで地産地消の推進と郷土愛の醸成に取り組むことができました。なお、米飯給食のうち1回分を有機栽培米により提供し、児童・生徒から農業や環境への関心を持ってもらうことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価		評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	認定農業者数、担い手への農地利用集積面積は目標に達しませんでしたが新規就農者数が目標を大きく上回り、担い手への農地利用集積面積も前年実績を上回っていることから一定の成果があると判断し「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本市の基幹産業である農業を将来に繋げていくために、新規就農者の確保や担い手が営農継続していくための条件整備が必要であり、力強い農業経営の構築と地域農業の活性化のため各事業は有効であることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課題及び今後の方向性	
	年々農家戸数が減少していく中で、担い手の育成が最重要課題と言えます。そのために引き続き、各事業を活用し生産基盤の整備や担い手育成と農地集積に向けた取組を進め、生産性の向上やブランド力向上から農業者の所得向上を図り、持続可能で力強い農業経営の構築と地域農業の活性化を図ります。また、各地域で活動しているそれぞれの農業経営体、営農組織などの支援拡充を図り魚沼市農業の維持発展に取り組みます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価		評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	新規就農者の数が担い手の減少者の数に追い付いていないこと、また、他産業との連携が少ないことから「やや低い」と判断しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○

課題及び今後の方向性	
	今後の農地の保全生産性を確保していくうえで、地域計画を考慮した取組を進めていくこと。また、更なる地域経済の発展に向け、他産業との連携による販路拡大を目指し、取組を進めていくこと。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　農林整備課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	魅力ある農林業の振興	関係課		
施 策 名	2号	森林・里山を活用した地域の活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域産業である林業の活性化と森林・里山の健全化をめざして、地元産木材の需要拡大と低質材の有効活用及び生産基盤の整備による生産コストの縮減を図るとともに、人財の育成及び安定供給体制の整備により雇用の創出、所得の向上を図ります。

また、農林業体験と観光を融合し、交流人口の拡大に向けた取組を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
268		林業振興事業	6 2 2	農林整備課	545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		事業の取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。									
270	○	森林整備事業	6 2 2	農林整備課	17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		事業の取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。									
271	○	里山整備事業	6 2 2	農林整備課	22,081	21,579	－	－				
		事業の取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。									
274	○	森林体験・環境学習事業	6 2 2	農林整備課	321	675	－	－				
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。									
276	○	魚沼市産材活用促進事業	6 2 2	農林整備課	15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		事業の取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。									
277	○	魚沼市伝統技能継承支援事業	6 2 2	農林整備課	3,245	2,960	3,086	5,106			やや高い	B
		事業の取組内容	炭焼き、紙すき、木工の技能の継承希望者に対し、就業に向けた支援を行う。									
280	○	林道整備事業	6 2 3	農林整備課	63,373	38,564	45,955	50,242			やや高い	B
		事業の取組内容	林道改良・舗装工事、橋梁等の長寿命化により、林業の生産基盤を整備する。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	森林、里山整備新規従事者数の増加	59 (H28～R1累計)	目標値	64	68	72	76	80	80 (H28～R7累計)	人
			実績値	69	86	103				
			達成率	107.8%	126.4%	143.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人／年
			実績値	7	12	7				
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人／年
			実績値	4	5	8				
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	12	8	11				
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	21	12	7				
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha／年
			実績値	0	2	5				
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha／年
			実績値	41	52	54				
270	里山整備森林資源活用量	574	目標値	600	600	600	600	600	600	t／年
			実績値	1,472	616	744				
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	m3／年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18				
277	技能継承希望者数(新規参入者数累計)	1	目標値	0	1	1	2	2	2	人
			実績値	0	0	0				
277	継承者定着数	0	目標値	3	3	4	4	5	5	人
			実績値	2	2	3				
277	イベント新規参加者数	33	目標値	16	16	16	16	16	16	人／年
			実績値	12	146	815				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和５年度から里山整備事業は森林整備事業に、森林体験・環境学習事業は林業振興事業に統合しました。

令和５年度より、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市有林は間伐等を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、林業の活性化に貢献しました。里山整備事業により搬出された木材は、首都圏友好都市等の学校向けに炭焼き体験の材料として活用され、交流人口の拡大に寄与しました。

魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟130m3の利用があり森林資源の利活用を推進しました。また、森林資源の新たな利活用として、市産材を活用した木製品を18種類・194個を開発・制作して、森林産業の活性化に繋げました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	林業従事者は減少しているが、里山整備の新規団体の取組により、成果指標の目標は上回っているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	里山整備の木材が炭焼き体験の材料として活用され交流人口の拡大に寄与したほか、市産材の新たな利活用により森林産業の活性化に繋がっていることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	林業従事者が減少する中、森林整備を促進するためには、林業の担い手を確保していく必要があります。また、市産材の需要拡大を進め供給するためには、木材の有効利用と販路開拓を検討していく必要があります。 今後も林業の担い手確保に向けた取組を継続しながら、計画的かつ効率的な森林整備を行い、森林・里山の健全化を目指していきます。また、市産材の需要拡大に向けて、木材の利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　商工課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	商工観光業の競争力強化	関係課		
施策名	1号	競争力強化に向けた商工業者への支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

商業においては商店街における賑わい創出による活性化をめざし、地域コミュニティ機能の向上に向けた取組を支援するとともに、製造業においては産学官連携の推進や関係団体との協力体制の強化に向けた活動を支援します。

また、地域のリーダー的な役割を担う人財育成に取り組むとともに、創業や新事業、高度な技術を持つ人財育成を支援します。あわせて、円滑な企業経営、事業承継に必要な資金調達時の負担軽減と相談窓口の充実に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
234	○	企業人材確保・育成支援事業 / 5 1 1	商工課	9,174	15,937	24,427	43,913			高い	A
		事業の取組内容	企業の人材確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。								
288	○	地域産業活性化事業 / 7 1 2	商工課	4,860	5,086	10,127	15,034			やや高い	C
		事業の取組内容	産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。								
289	○	商業活性化事業 / 7 1 2	商工課	9,083	6,471	7,292	23,451			やや低い	C
		事業の取組内容	商店街販売促進イベント助成、アーケード改修助成、個店魅力向上セミナーを実施する。								
290		金融対策事業 / 7 1 2	商工課	339,164	251,117	209,287	188,141			やや高い	C
		事業の取組内容	市内中小企業者の経営基盤の安定化を支援し、比較的低金利の制度融資と信用保証料補給を実施する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	製造業付加価値額	22,707 (H30実績)	目標値	22,841	22,976	23,112	23,249	23,388	23,388 (3%増)	百万円
			実績値	22,299	－	－				
			達成率	97.6%	－　%	%	%	%		
2	製造品出荷額等	52,280 (H30実績)	目標値	52,860	53,441	54,022	54,603	55,184	55,184	百万円
			実績値	56,477	－	－				
			達成率	106.8%	－　%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
234	インターンシップ実施新規企業数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	2	1	2				
234	新入社員等合同研修会新規参加企業数	－	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	8	6	3				
234	中小企業等人材育成支援活用企業数	7	目標値	8	8	8	8	8	8	社
			実績値	7	7	12				
288	新製品の開発支援事業による事業化件数	－	目標値	1	2	3	4	5	5	件
			実績値	1	1	2				
288	支援事業の商談成立件数	3	目標値	50	50	50	50	50	50	件/年
			実績値	22	8	20				
289	市内事業所景況実態調査で収益を「黒字」と回答する事業所の割合	29.6	目標値	32	34	36	38	40	40	%
			実績値	32.8	32.7	33.3				
289	市内共通ポイントカードの加盟店舗数	93	目標値	95	100	105	110	115	115	店
			実績値	88	88	86				
290	魚沼市景気対策特別支援資金の新規融資額	33,120	目標値	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	千円/年
			実績値	107,300	73,150	94,980				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

商業においては、行政ポイント事業により、地元商店における消費喚起が図られました。また、製造業においては、産学官連携の取組の推進、魚沼ものづくり振興協議会への支援を通じ、市内企業の連携が強化されたことで、オープンファクトリーの実施など企業の主体的な取組につながっています。

人材確保・育成に関する各種支援制度により、従業員の資質向上や仕事へのモチベーションの向上が図られ、企業活動の基盤強化につながりました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	競争力強化に向けて様々な観点から市内企業に対し支援してきた結果、成果指標の目標をおおむね達成していると考えられることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	現行施策の利用実績はおおむね堅調に推移しており、市内企業の人材確保、事業展開の後押しとして機能していることから、構成事務事業は妥当であり貢献度は「やや高い」と評価しました。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	商店街のにぎわい創出のため、うおぬまポイントカード会加盟店を増やし、消費喚起につなげていくことが課題であるほか、企業における人材不足が深刻化する中、労働生産性の向上や、担い手となる人財の確保と育成が課題です。 日々変化する世情の中において、現行制度を継続しつつも、国県等の制度にも注視するとともに各企業や市内商工団体からニーズの聞き取りを行い、外国人雇用に関する支援など、新たな支援策について今後検討していく必要があります。 また、今後、にぎわい館（仮称）の整備を機に、商店街の賑わいの創出、地域経済が発展していく取組に加え、地域のリーダー的な役割を担う人財育成にも取り組む必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価				
	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　観光課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	商工観光業の競争力強化	関係課	生涯学習課	企画政策課
施 策 名	2号	地域資源を最大限に活かした観光の振興			

2. 施策目的（目指すすがた）

尾瀬・奥只見をはじめとした魚沼の自然を活かした体験型観光や外国人観光客などの誘客促進に向けた体制整備、友好都市との交流、来訪者をおもてなしする人財の育成などを推進し、地域資源を最大限に活かした観光をめざして観光の振興を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
301	○	誘客宣伝事業 / 7 1 3	観光課	93,733	125,952	65,834	103,828			高い	B
		事業の取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。								
302	○	体験型観光推進事業 / 7 1 3	観光課	20,521	21,501	17,955	18,541			高い	B
		事業の取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。								
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業 / 10 4 5	生涯学習課	0	0	0	－			やや低い	D
		事業の取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。								
522	○	インターチェンジ名称変更事業 / 2 1 6	企画政策課	0	1,626	2,388	349,403			高い	A
		事業の取組内容	交流人口の拡大、産業振興、利便性の向上及び市民の一体感の醸成のため、インターチェンジの名称変更に取り組む								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	観光客の入込数	1,645,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	1,750,000	人／年
			実績値	1,174,284	1,551,384	1,690,518				
	新潟県観光動態調査に基づく暦年(1月～12月)の観光客数		達成率	71.1%	92.6%	99.4%	%	%		
2	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	11,000	人／年
			実績値	7,092	12,081	9,076				
	主に首都圏から観光協会がアテンドした体験学習の受入人数		達成率	72.3%	119.6%	87.3%	%	%		
3	観光ガイド利用者数	2,026 (R1実績)	目標値	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,200	人／年
			実績値	1,611	2,199	2,482				
	奥只見ネイチャーガイドを利用した観光客数		達成率	57.5%	75.8%	82.7%	%	%		
4	宿泊者数	176,612 (R1実績)	目標値	145,000	158,250	171,500	184,750	198,000	198,000	人／年
			実績値	108,424	175,513	176,414				
	新潟県観光動態調査に基づく暦年(1月～12月)の宿泊数		達成率	74.7%	110.9%	102.9%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名 指標の説明	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
302	体験型観光の受入延べ人泊数 首都圏友好都市を中心とする体験受入	0	目標値	24,800	25,400	26,000	26,600	27,200	27,200	人泊数
			実績値	9,671	26,963	20,210				
457	事業参加者数	471	目標値	2400	2400	2400	－	－	－	人
			実績値	759	1,146	359				
457	うち県内団体人数	287	目標値	1,200	1,200	1,200	－	－	－	人
			実績値	610	1,043	105				
457	うち県外団体人数	184	目標値	1,200	1,200	1,200	－	－	－	人
			実績値	149	103	198				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に分類され、行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の自主的な取組をベースとした対応に変わりました。観光分野においても、コロナ禍において生じていた様々な制限が解消され、観光客の動向はコロナ前の状況に戻りつつあります。当市を訪れた観光客数、宿泊者数についてもほぼ目標値を達成することができました。

本市の地域資源を活かして観光振興を進めることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	お祭りや観光イベントが通常開催となり、多くの来場者が訪れました。また、補助金制度などで誘客の底入れをしつつ、当市の観光資源を活用した観光振興を図ることができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本市ならではの食、文化、自然などを活用した各事業の実施は、施策目標の達成につながるものであり、事業構成は妥当です。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	本市の状況としては、日帰り客や通過のみといった観光客も多く、地域経済への波及効果がまだ十分とはいえません。毎年多数の受入れを行っている体験教育での実績を活かし、滞在志向、リピート志向の観光客をターゲットに据えて誘客を展開し、市内における観光消費額を増加させるような取組を進める必要があります。 また、関越自動車道魚沼インターチェンジの誕生を契機に、更なる誘客の増加に取り組みます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　商工課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施策名	1号	起業の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

起業や新分野進出にチャレンジしやすい環境を整備するため、相談窓口の充実に努めるとともに、国県等の支援制度についても積極的に情報提供や活用支援を行い、商工会や金融機関等と連携しながら、起業の支援に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
295	○	新規起業・事業承継支援事業 / 7 1 2	商工課	2,280	2,486	745	5,033			やや高い	C
		事業の取組内容	新規起業から事業承継まで一貫して事業者の持続可能な経済活動を支援し、新規起業、事業承継セミナー等の実施、補助金の交付を行う。								
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	新規起業支援事業による起業件数	22 (R1実績)	目標値	27	32	38	44	50	50	件
			実績値	27	31	31				
	H25からの累計		達成率	100.0%	96.9%	81.6%	%	%		
2	新規起業支援事業による就業者数	40 (R1実績)	目標値	52	64	76	88	100	100	人
			実績値	45	49	54				
	H25からの累計		達成率	86.5%	76.6%	71.1%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
295	補助金の交付を受けて当年度に新規起業した件数	1	目標値	5	5	5	5	5	5	件/年
			実績値	4	4	0				
295	起業による就業者数	－	目標値	10	20	30	40	50	50	人
			実績値	4	8	13				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

本年度は、市の補助制度を利用した新規起業はありませんでしたが、創業後間もない事業者の広告宣伝費の一部を補助することで、事業展開を後押しすることができました。

創業を考えている方に対し、創業塾や個別相談により起業に際して必要な知識を身に付けてもらい、事業計画の作成を支援できたことから、今後の起業につながることが期待できます。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	創業塾や個別相談会を開催したほか、市内商工会等と連携した支援を行うことにより継続して起業者を出してはいるものの、就業者数の指標が目標を下回っていることから「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	創業支援体制や起業者のフォローアップ体制など改善を要する部分はあるものの、市内商工会等と一定の連携が図られているため、目標達成に向けて貢献度は「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	新規起業に際して、商工会と行政が連携することで一定の支援ができているものの、個人事業主による起業が多く、雇用を生み出すような起業案件が少ないことから、新たな支援策の創設などにより、今までにないビジネスモデルを創出するベンチャー、スタートアップの起業を生み出していくことが課題です。 施策そのものは継続しますが、その効果を高めるために、起業後のフォローアップを含む創業支援体制の強化や、金融機関との連携を検討する必要があります。 また、新規起業を促すためには、創業セミナーなどの開催による、起業家マインドの醸成も必要だと考えます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　商工課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施 策 名	2号	定住人口確保のための取組の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

定住人口を増やすためには、雇用の場の確保と市内企業の周知が重要です。事業者への各種支援策の拡充に努めるとともに、市内への就職希望者に対して、市が主催する就職相談会等の開催や、ハローワークとの連携による職業紹介の取組をすすめることにより、定住人口の確保に努めます。また、次世代を担う若者の本市への定着に向け、市内小中高校及び企業等と連携しキャリア教育の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
233	○	雇用対策事業	5 1 1	商工課	61,103	66,086	68,274	73,047			高い	B
		事業の取組内容	就職活動等を行う新規学卒者及びU・I ターン者等に対する支援や中高生に対するキャリア教育等を実施する。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	市企業ガイドブック掲載企業(57社)で新卒・中途採用があった企業数	38 (R1実績)	目標値	57	57	57	57	57	57	社
			実績値	43	44	44				
			達成率	75.4%	77.2%	77.2%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
233	企業ガイダンス参加企業数	0	目標値	20	20	20	20	20	20	社
			実績値	32	21	30				
233	企業ガイダンス延べ参加者数	0	目標値	40	40	40	40	40	40	人
			実績値	82	29	36				
233	ふるさと定住就職奨励金、ふるさと定住促進就職者家賃補助金申請数	37	目標値	50	50	50	50	50	50	人
			実績値	48	52	60				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

移住者向けの補助金制度は、市内事業者における採用PRツールの一つとして認知、利用され、市内事業者の人材確保及び定住人口の確保に繋げることができました。

また、市内の小中学生や高校生などに向けたキャリア教育の取組により、ものづくりの魅力を感じてもらうことや、市内企業を知ってもらうことで、将来の選択肢の一つとして市内企業への就職について考える機会とすることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市全体としては人口の流出が続いているものの、移住者向けの補助金等の活用により、一定の定住人口の確保に繋がっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	目標達成のための施策は構成事業の中に複数存在し、それらが企業側や求職者側の双方にインセンティブを与えることで、定住人口確保の要因となっていることから、貢献度は「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	人口減少が進む中、市内企業においては、今後さらなる人手不足が懸念されます。また、若者が市外に流出していく状況も続いており、子ども世代だけではなく、その保護者等に対しても、地元企業を知る機会を提供していくなど、長期的な視点に立った継続的な取組が必要です。 このため、従来の制度を継続するなかで、移住定住促進に関する取組との連携を強化するなど、県外・市外の若者のＵＩターンを促すための効果的な施策を考えるとともに、市内の若者が魚沼に住み続けたいと思うようなまちづくりを進めていく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	産業		評価担当課	部課名	産業経済部　商工課
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施 策 名	3号	戦略的な人財確保・企業誘致の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

本市の豊かで良質な水など、地域資源を利活用した産業おこしをすすめます。あらゆるネットワークを活用し、重点的に企業誘致活動を行っている食品・健康・医療・環境ビジネス分野での広がりをめざして、地域の特性を活かすことのできる優良企業の立地に向けて、県や関係団体と連携しながら戦略的な企業誘致活動を展開します。

また、地域産業の人財確保に向けて、新卒者の確保とＵ・Ｉ・Ｊターン者の増加に向けた取組の強化を移住定住施策と一体となって取り組み、働きやすい職場環境等、企業の魅力向上の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
234	○	企業人材確保・育成支援事業 / 5 1 1	商工課	9,174	15,937	24,427	43,913			やや高い	A
		事業の取組内容	企業の人材確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。								
291	○	企業誘致対策事業 / 7 1 2	商工課	45,662	77,571	42,222	39,467			やや高い	C
		事業の取組内容	立地促進補助金の交付、企業誘致推進員の配置を行う。								
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	水の郷工場団地及び旧湯之谷庁舎立地企業の就業者数	209（R1実績）	目標値	320	350	390	410	440	440	人
			実績値	288	324	397				
			達成率	90.0%	92.6%	101.7%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
234	インターンシップ実施新規企業数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	2	1	2				
234	新入社員等合同研修会新規参加企業数	－	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	8	6	3				
234	中小企業等人材育成支援活用企業数	7	目標値	8	8	8	8	8	8	社
			実績値	7	7	12				
291	水の郷工業団地未分譲区画1件の売却	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0				
291	水の郷工業団地以外の誘致企業件数	0	目標値	1	1	1	1	1	5	件
			実績値	0	0	0				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

水の郷工業団地においては、食品を生産する工場棟が増築され、新たな雇用の場が創出されました。また、エネルギー供給体制が強化されることにより、工業団地としての付加価値が向上し、これを強みとした誘致活動が可能となりました。

また、市内企業の人材確保に向けて、移住者向けの各種支援制度を設けるとともに、事業者の主体的な取組を支えることにより、就業者数の増加に結び付けることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	実績が目標を上回ったことから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	雇用機会の拡充は進んでいると考えられることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	企業誘致は、社会情勢の変化により企業の立地ニーズも変化しており、それらの変化に合わせた柔軟な対応が求められています。 また、求職者のニーズに沿った雇用の場の創出も必要となっており、重点的に誘致対象とする企業について、これらのニーズを反映させる必要があります。 事業者の人材不足が深刻化している中、また、求職者にとっては売り手市場と言われる現状において、企業は採用だけでなく人材の定着を図るため、労働環境の向上や福利厚生の充実など企業価値をより高めていく必要があります。 Ｕ・Ｉターン施策を継続していくことに加え、市内事業者を就職の場として選んでもらえるように、働きやすい職場環境づくりに関する支援を強化していく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	企業誘致等により雇用機会の確保を行っていることや、職場環境づくりへの支援も行っていることから「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs 関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	生涯学び続ける仕組みの充実	関係課		
施策名	1号	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

子どもから高齢者までの社会参加や生涯学習を支援し、学習機会の充実を図るため、多様な交流の促進や発表の機会を確保するとともに優れた地域資源の活用を図り、地域課題解決に貢献する人財の発掘を推進します。また、生涯学習関係団体との事業連携を推進するとともに、インターネットなどを活用した効果的な学習情報の提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
434		生涯学習推進事業	10 4 1	生涯学習課	316	730	719	1,356			やや低い	C
		事業の取組内容	生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する。									
435		うおぬま市民大学事業	10 4 4	生涯学習課	251	408	469	1,204			やや高い	B
		事業の取組内容	年２回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る。									
455		宮柊二記念館運営事業	10 4 5	生涯学習課	15,436	15,442	16,536	18,530			やや高い	C
		事業の取組内容	魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柊二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。									
456		エコ・ミュージアム運営事業	10 4 5	生涯学習課	6,047	5,993	6,804	8,341			やや高い	C
		事業の取組内容	県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。									
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業	10 4 5	生涯学習課	0	0	0	－			やや低い	D
		事業の取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	公民館事業、図書館事業の講座の参加者数	11,673 (R1実績)	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	人／年
			実績値	2,411	5,247	3,882				
			達成率	16.0%	34.9%	16.60%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
434	生涯学習体験ひろば参加者数	0	目標値	230	230	230	230	230	230	人
			実績値	125	100	75				
434	生涯学習連絡協議会登録団体数	59	目標値	60	60	60	60	60	60	団体
			実績値	54	53	49				
435	市民大学参加者数	96	目標値	400	400	400	400	400	400	人
			実績値	129	206	274				
455	宮柊二記念館来館者数	348	目標値	750	750	750	750	750	750	人
			実績値	427	481	620				
455	全国短歌大会応募作品数	10,533	目標値	12,000	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	首
			実績値	12,539	12,752	12,391				
456	エコミュージアム一般入園者数	7,377	目標値	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	人
			実績値	9,333	8,382	6,514				
456	エコミュージアム主催事業参加者数	1,758	目標値	2,000	2,000	2,000	2,200	2,400	2,400	人
			実績値	2,276	2,923	2,149				
457	エコミュージアム教育旅行受入事業参加者数	471	目標値	2,400	2,400	2,400	0	0	0	人
			実績値	759	1,146	359				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習体験ひろばの開催によるステージ発表や作品紹介、サークル体験の実施や活動を広報誌の発行により、生涯学習団体の成果発表と情報発信に貢献しました。

宮柊二記念館では、広報・事業周知に力を入れ、学習機会の充実と来館者数の増加につなげることができました。

うおぬま市民大学では、市民の学びのきっかけと学習意欲向上を目的に、ありがとう作文事業と連携実施し、より多くの方への学習機会の提供につなげることができました。

エコ・ミュージアム運営事業では、市内外の来場者に魚沼市の歴史や自然について学ぶ機会を提供することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	前年度に比べ各種事業への参加者数が大幅に減少したため、「低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各事業を通じて生涯学習の機会を確保するとともに取組の成果を広報誌で周知したり、講座の開催状況を動画掲載するなどして効果的な学習情報の提供を行っているため、「やや高い」としました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	生涯学習関連事業は幅広い分野に関わるため、あらゆる分野の関係団体等との連携や協働を促進していく必要があります。会員の高齢化等による会員減少で活動できなくなっている生涯学習団体も増えてきていることが課題です。 今後の方向性としては、情報発信に力を入れ、地域資源を生かした生涯学習の普及促進や子どもから高齢者までを対象とした学習機会提供に努めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価に加え、参加者が増加する取組を検討すること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	生涯学び続ける仕組みの充実	関係課		
施策名	2号	生涯学習推進体制の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

生涯学習の普及促進と、図書館や公民館事業の充実を目的に、市民主体の活動や保育園等と学校を支援し、行政各分野の連携と様々な生涯学習事業の活用など市民ニーズに合わせた生涯学習推進体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
434		生涯学習推進事業	10 4 1	生涯学習課	316	730	719	1,356			やや高い	C
		事業の取組内容	生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する									
435		うおぬま市民大学事業	10 4 4	生涯学習課	251	408	469	1,204			やや高い	B
		事業の取組内容	年２回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る									
436		学校・家庭・地域の連携協働事業	10 4 1	生涯学習課	2,352	2,545	2,714	4,765			高い	B
		事業の取組内容	青少年が地域社会の中で健全に成長するために、うおぬまわくわくキッズ事業等を行う。									
444		地区公民館講座教室事業	10 4 2	生涯学習課	654	1,302	1,600	2,620			やや高い	C
		事業の取組内容	住民の教養向上、生活文化の振興のため、各種講座教室、講演会等を開催する									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	公民館事業、図書館事業の講座の数	142 (R1実績)	目標値	150	150	150	150	150	150	件／年
			実績値	150	196	166				
			達成率	100.0%	130.6%	110.7%	%	%		
2	文化協会、生涯学習連絡協議会の加盟団体数	158 (R1実績)	目標値	158	158	158	158	158	158	団体
			実績値	141	128	113				
			達成率	89.2%	81.0%	71.5%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
434	生涯学習体験ひろば参加者数	0	目標値	230	230	230	230	230	230	人
			実績値	125	100	75				
435	うおぬま市民大学参加者数	96	目標値	400	400	400	400	400	400	人
			実績値	129	206	274				
435	うおぬま市民大学受講者の満足度	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	98	98	96				
436	家庭教育事業の講座・セミナー等実施数	13	目標値	29	29	29	29	29	29	回
			実績値	18	16	16				
436	ありがとう作文応募人数	1,021	目標値	998	976	955	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	1,030	869	858				
436	子ども育み講座（ＰＴＡ・子育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853				
436	子ども地域活動推進事業参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115				
436	地域学校協働活動へのボランティア延べ参加者数	2,920	目標値	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	人
			実績値	3,746	3,775	3,011				
444	地区公民館講座教室の参加率	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71				
444	地区公民館講座教室参加者の満足度	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習の普及促進のため、生涯学習団体の活動発表や作品紹介、公民館講座やうおぬま市民大学の開催、また、学校・家庭・地域の連携協働による地域活動などを行い、市民の学びの場及び学んだことの活用の場を提供することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	生涯学習関連団体等の数は目標値に届かなかったものの、講座等の開催は目標値を上回る事業もあり、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市民大学参加者の満足度について、目標を上回っていることや、生涯学習成果の活用の場として、地域ボランティアに関心が高まっていることから、「やや高い」としました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	近年会員の高齢化等により、活動できなくなっている生涯学習団体もあるため、継続できるための支援等が課題です。生涯学習の普及推進のために、各種生涯学習団体が持続可能な団体となるために必要な施策の検討を行います。また、引き続き学びの場の提供を関係団体と連携して進めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	生涯学び続ける仕組みの充実	関係課		
施 策 名	3号	効率的・効果的な施設運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効率的な利用と利用しやすい施設運営に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
446		図書館管理運営事業	10 4 3	生涯学習課	41,084	45,629	44,713	59,988			やや高い	C
		事業の取組内容	図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。									
455		宮柊二記念館運営事業	10 4 5	生涯学習課	15,436	15,442	16,536	18,530			やや高い	C
		事業の取組内容	魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柊二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。									
523	○	生涯学習センター建設事業	10 4 5	生涯学習課	280	13,750	401,840	1,940,941			高い	B
		事業の取組内容	旧小出庁舎及び小出公民館の解体後に、図書館と公民館機能を併せもつ複合施設を建設する。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	社会教育・体育施設の利用者数	356,034 (R1実績)	目標値	360,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	人／年
			実績値	298,201	303,102	320,888				
			達成率	82.8%	75.7%	80.2%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
446	年間利用者数	42,470	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	人
			実績値	43,534	41,790	40,667				
446	図書館行事延べ参加者数	533	目標値	630	630	630	630	630	630	人
			実績値	617	546	420				
455	宮柊二記念館来館者数	348	目標値	750	750	750	750	750	750	人
			実績値	427	481	620				
455	全国短歌大会応募作品数	10,533	目標値	12,000	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	首
			実績値	12,539	12,752	12,391				
523	建設工事等の進捗率	0	目標値		15	50	100		100	%
			実績値		15	50				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

堀之内公民館トイレ改修工事、広神コミュニティセンター和室畳表替え等を実施し、利用しやすい施設整備を進めることができました。

生涯学習センター建設工事は市民ワークショップを基にした実施設計が完了し、工事発注しました。工事は降雪前に基礎工事を行い、工程表とおりに進んでいます。

また、旧広神庁舎１階を文化財展示室に改修する工事を実施し、社会教育施設の再編が進んでいます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	施設改修等の整備は計画とおりに進められたが、利用者数が目標に届かなかったため、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施設の利用者数は昨年度よりは増えたものの目標に届きませんでしたが、予定した施設整備ができ、利用しやすい施設運営に近づけることができたため、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	施設の老朽化等により大規模改修が必要な施設が増えていく中で、再編計画に沿った計画的な修繕を進めていく必要があります。 施設の計画的な再編及び機能整備を図るとともに、運営体制の見直しや修繕を行い、持続可能な施設運営を目指します。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○

課　題 及び 今後の方向性	一次評価に加え、参加者数が減少傾向にある公民館事業のあり方を検討すること。また、令和7年度に開館予定の生涯学習センターについては、多くの市民が利用できるような施設運営を検討すること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　子ども課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	乳幼児期の教育の充実	関係課		
施 策 名	1号	明るくのびのびとした子育て			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・地域・保育園等が一体となり、社会全体で子育てを支えていく機運を醸成し、明るくのびのびとした子育てができるよう支援し、思いやりや挑戦の心を育むとともに、規則正しい生活のリズム、基本的な生活習慣の獲得をめざして乳幼児期の教育の充実を図ります。

また、人や自然と関わり、遊びを通して多くの体験から、好奇心や社会性のある子供に育つよう支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
169		地域療育支援事業 / 3 2 6	子ども課	8,781	9,466	9,393	12,170			やや高い	A
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。								
170	○	子育て支援センター管理運営事業 / 3 2 6	子ども課	7,416	8,959	9,043	9,986			やや高い	B
		事業の取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。								
171	○	地域子育て活動支援事業 / 3 2 6	子ども課	4,147	2,500	2,801	3,819			やや高い	B
		事業の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。								
514	○	子育ての駅運営事業 / 2 1 6	子ども課	15,368	23,671	28,746	29,831			高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたっくりの管理運営を行う。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	生活習慣がきちんと整っている子どもの率 / 保育園等在園児の保護者へのアンケート調査	87.8 (R1調査)	目標値	90	90	95	95	95	95	%
			実績値	87.9	92.0	89.0				
			達成率	97.6%	102.2%	93.7%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
169	就園前（つくしプレイ）教室参加者	274	目標値	280	280	280	280	280	280	人／年
			実績値	334	355	315				
169	就学前（ステップアップ）教室	336	目標値	288	288	288	288	288	288	人／年
			実績値	320	282	299				
170	利用者数	11,064	目標値	12,000	11,500	11,000	10,500	10,000	10,000	人／年
			実績値	11,096	10,310	8,767				
170	うち土曜広場開放利用組数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	組／年
			実績値	8	8	8				
171	ファミリー・サポート・センター会員数	41	目標値	40	50	60	70	80	80	人
			実績値	67	94	112				
171	ファミリー・サポート・センター利用回数	23	目標値	30	40	50	60	70	70	回
			実績値	85	120	144				
171	子育てサポーターの人数	9	目標値	10	12	14	16	18	18	人
			実績値	9	7	7				
514	子育ての駅「かたっくり」市内利用者数	15,057	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人
			実績値	15,410	17,186	20,075				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

子育ての駅かたっくりや子育て支援センターの施設開放、各保育園の園開放を通して、年齢の異なる子ども達で遊んだり、親子同士の交流が生まれてくるなど、明るくのびのびとした子育ての広がりに貢献しています。

また、子育て支援センターで相談された場合や親子運動教室などのイベントを通して、子育ての助言やファミリー・サポート制度の紹介をすることで、子育てに対する安心感を育み、育児疲れの解消や子育て世代のワーク・ライフ・バランスの充実に寄与しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	成果指標が減少しているが、施策を構成する事業の担当課評価は概ね「B（相当程度進展あり）」以上なことから「やや高い」としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	本施策は、施設開放における子ども達の健全な育成と各種支援策における子育て世代支援をしており、乳幼児期の教育の充実に対しての貢献度は「やや高い」としました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	乳幼児期における家庭や地域、保育園等での対人での関わりは、その後の人間形成に大きな影響を与えます。そして、子育て世代が明るくのびのびとした家庭環境を作るためには、地域社会における子育てを支えようという機運の盛り上がりや子育て支援施設の積極的な利用が必要です。そのために施設や各種支援策を周知していくことや年齢が上がるなかで切れ目のない支援策を届けることが課題です。 社会全体で子育てを支えていく機運を醸成しながら乳幼児期の充実を図っていくためには、構成事務事業以外の取組とも連携協調していくとともに、地域における人材確保のための研修や養成講座等への取組をさらに進めてまいります。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　子ども課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	乳幼児期の教育の充実	関係課	生涯学習課	
施 策 名	2号	乳幼児教育の仕組みづくり			

2. 施策目的（目指すすがた）

乳幼児期の相談支援、子育てサークル支援、親子の交流の場の提供などを行い、子どもの個々の発達に即した支援に努めます。
保育園等と学校が連携し、情報共有することによって、切れ目のない支援と保育・教育の質の向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
170	○	子育て支援センター管理運営事業	3 2 6	子ども課	7,416	8,959	9,043	9,986			やや高い	B
		事業の取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。									
171	○	地域子育て活動支援事業	3 2 6	子ども課	4,147	2,500	2,801	3,819			やや高い	B
		事業の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。									
436		学校・家庭・地域の連携協働事業	10 4 1	生涯学習課	2,352	2,545	2,714	4,765			やや高い	B
		事業の取組内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	子育て相談窓口利用者数	137 (R1実績)	目標値	160	180	200	200	200	200	人／年
			実績値	311	309	276				
	子育て世代包括支援センターや子育て支援センター及び各保育園等の子育て相談窓口利用者数		達成率	194.3%	171.6%	138%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
170	利用者数	11,064	目標値	12,000	11,500	11,000	10,500	10,000	10,000	人／年
			実績値	11,096	10,310	8,767				
170	うち土曜広場開放利用組数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	組／年
			実績値	8	8	8				
171	ファミリー・サポート・センター会員数	41	目標値	40	50	60	70	80	80	人
			実績値	67	94	112				
171	ファミリー・サポート・センター利用回数	23	目標値	30	40	50	60	70	70	回
			実績値	85	120	144				
171	子育てサポーターの人数	9	目標値	10	12	14	16	18	18	人
			実績値	9	7	7				
436	家庭教育事業の講座・セミナー等実施数	13	目標値	29	29	29	29	29	29	回
			実績値	18	16	16				
436	ありがとう作文応募人数	1,021	目標値	998	976	955	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	1,030	869	858				
436	子ども育み講座（ＰＴＡ・子育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853				
436	子ども地域活動推進事業参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115				
436	地域学校協働活動へのボランティア延べ参加者数	2,920	目標値	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	人
			実績値	3,746	3,775	3,011				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

子育て支援センター等の施設開放において、就園前の子どもと親同士の交流の場の提供や子育て相談、育児情報の提供を行いました。そして、子育て支援センターや保育園等の関係機関が情報共有を図ることで、療育教室を案内するなど個々の子どもの発達に即した支援につなげることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	施設開放等で就園前の子どもと親の交流の場の提供、子育て相談及び育児情報の提供等を行ったことで、子どもの個々の発展に即した支援がおおむねできたものと判断し、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	子育て支援センターと子育て世代包括支援センター、各保育園が子育て相談情報交換会等を通じて情報共有を図り、個々の子ども達に即した支援につなげることができたことから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	施設開放等により親子の交流の場や育児情報の提供を行いましたが、コロナ禍以降、子育てサークルによる活動が停止しており、サークルに対する支援の進め方等について再構築していくことが課題です。あわせて、ファミリー・サポート事業や療育教室等を支えていただく人材確保や育児に関する人材育成を地域で進めていくことが必要です。 「魚沼市架け橋プログラム」が施行され、幼・保・小の架け橋期における連携した支援が始められました。今後、一人ひとりの多様性に配慮し、子ども達に寄り添った切れ目のない支援体制を成熟させていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　子ども課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	乳幼児期の教育の充実	関係課		
施 策 名	3号	子育て環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

保育園等と学校、放課後児童クラブの連携と地域との関わりを深め、情報共有することで切れ目のない支援と教育環境の充実を図ります。
また、各年代における子育てニーズの多様化や少子化などの社会情勢の変化に応じ、地域の子育て人財の育成と民間活力の導入による持続可能な子育て環境の整備をすすめます。
子育ての駅については、安心安全で、自由に利用できる子育て支援施設としての環境づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
142		児童福祉施設整備事業 / 3 2 3	子ども課	9,735	88,928	121,093	113,750			高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する								
166		放課後児童クラブ再編事業 / 3 2 5	子ども課	11,000	114,524	－	－				
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する								
514	○	子育ての駅運営事業 / 2 1 6	子ども課	15,368	23,671	28,746	29,831			高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたっくりの管理運営								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	子育て支援センターを利用している乳幼児の割合 / 年度末時点で市内６歳までの子どもに対するセンター登録者の割合	29 (R1実績)	目標値	30.0	32.0	35.0	38.0	40.0	40	%
			実績値	25.0	26.8	26.6				
			達成率	83.3%	83.7%	76.0%	%	%		
2	子育ての駅「かたっくり」市内利用者数	28,539 (R1実績)	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人／年
			実績値	15,410	17,186	20,075				
			達成率	48.9%	54.5%	63.7%	%	%		
3	放課後児童クラブに満足している人の割合	95.4 (R1実績)	目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98	%
			実績値	97.1	94.0	92.0				
			達成率	99.0%	95.9%	93.9%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0				
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1				
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

成果指標に反映されていませんが、子育ての駅かたっくりの利用者は、市内だけでなく、市外の利用者でも増加しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公立児童福祉施設において、機器の更新や老朽化した施設の改修工事等を行うことで、多面的な保育サービスの提供及び持続可能な子育て環境の整備につなげることができました。

子育ての駅については、令和5年度から指定管理制度を導入し民間のノウハウ等を活かした施設運営と質の高いサービスの提供に努めた結果、来場者が増加傾向に転じたことから、安心安全で自由に利用できる子育て支援施設としての環境づくりをすすめることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	施設の再編に関する事業は計画どおりに進めることができました。また、新型コロナウイルス感染症の第5類への移行と指定管理制度の導入成果により、施設の利用者数は概ね目標値に近いため「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	施設整備は予定どおり進めることができました。また、各施設等の運営については、子育ての駅の指定管理制度の導入成果が大きいことから、総合的判断として「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	少子化問題や子育てに関する多様な考え方、保育ニーズに応じた安心安全な施設環境と安定した保育サービスを提供するため、施設面において長期にわたり良好な状態で使用できるよう保育環境の整備を行っていくことが課題であることから、魚沼市公共施設再編整備計画及び魚沼市児童福祉施設長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化の優先順位を検討しながら事業をすすめます。 保育園等と学校、放課後児童クラブの連絡会議等は引き続き開催し、途切れない支援のための情報共有を行っていきます。 子育ての駅については、施設の老朽化による不具合箇所が見られることから計画的な修繕を行います。また、指定管理者と連携を密にして、子育て支援・情報交流の場として、魅力ある事業の企画と安心安全に利用できるよう施設管理を行います。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	子育ての駅の利用者数及び放課後児童クラブに満足している人の割合が目標値に達していないことから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

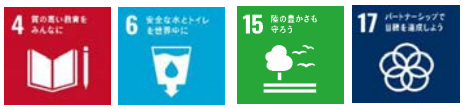
課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価に加え、安全な施設整備だけではなく、多様化するニーズに対応した子育て環境の整備を進めること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連



1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　学校教育課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民が参加する学校づくりの推進	関係課	健康増進課	農林整備課
施策名	1号	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進		生涯学習課	

2. 施策目的（目指すすがた）

魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を活かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。

また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。なお、地球規模で考え行動するグローバル人財育成の取組もすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
268		林業振興事業	6 2 2	農林整備課	545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		事業の取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。									
274	○	森林体験・環境学習事業	6 2 2	農林整備課	321	675	－	－				
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。（R5に林業振興事業事業と統合）									
371		教育支援事業	10 1 3	学校教育課	113,639	130,717	130,520	167,848			やや高い	B
		事業の取組内容	介助員・学習補助員の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。									
372		不登校・いじめ問題対策事業	10 1 3	学校教育課	19,519	19,550	19,765	29,572			やや高い	B
		事業の取組内容	適応指導教室、別室登校支援、保護者等相談を実施し、教室への復帰を目指す。									
376	○	総合学習支援事業	10 1 3	学校教育課	4,437	4,690	4,486	8,101			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。									
377	○	自然環境学習推進事業	10 1 3	学校教育課	2,774	4,441	5,478	6,181			高い	A
		事業の取組内容	小学校５年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。									
379		学級づくり支援事業	10 1 3	学校教育課	4,256	4,659	4,485	3,208			やや高い	B
		事業の取組内容	学力向上と不登校発生率低減を目指し、親和的な学級集団づくりを進める。									
382		ひきこもり対策支援事業	10 1 3	健康増進課	180	297	－	－				
		事業の取組内容	実態調査を行い地域の実情を把握し、引きこもり対策全般についての調整を行う。（R5に心の健康づくり推進事業へ統合）									
185		心の健康づくり推進事業	4 1 1	健康増進課	－	－	1,089	1,289			やや高い	A
		事業の取組内容	ひきこもりの状況に関する実態把握を行い、状況に応じて相談支援や本人、家族が不安を解消できるようひきこもり支援全般の調整を図る。（R5にひきこもり対策支援事業と統合）									
436		学校・家庭・地域の連携協働事業	10 4 1	生涯学習課	2,352	2,545	2,714	4,765			高い	B
		事業の取組内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。									
482		学校給食支援事業	10 6 1	学校教育課	3,769	3,878	3,498	3,711			やや高い	A
		事業の取組内容	小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。									

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
516	○	コミュニティスクール推進事業	10 1 3	学校教育課	2,220	4,150	4,616	6,138			高い	A
		事業の取組内容	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める									
517	○	グローカル人材育成事業	10 1 3	学校教育課	21,840	21,625	22,633	26,704			高い	B
		事業の取組内容	国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって、地域の活性化及び持続的発展に貢献する人材の育成を行う									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	学力テスト結果 (NRT偏差値)	小学校50.8 中学校50.5 (R1実績)	目標値	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小学校 52.0 中学校 52.0	-
			実績値	小50.2 中50.2	小50.0 中49.6	小49.0 中48.4				
			達成率	小96.5% 中96.5%	小96.1% 中95.3%	小94.2% 中93.1%	%	%		
2	学級満足度	小学校67.6 中学校67.7 (R1実績)	目標値	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小学校 75 中学校 70	%
			実績値	小63.8 中75	小70.2 中88.9	小66.2中68.5				
			達成率	小85.0% 中107.1%	小93.6% 中127.0%	小88.3% 中97.9%	%	%		
3	不登校率	小学校0.47 中学校2.01 (R1実績)	目標値	小1.15 中4.78	小1.58中5.75				県平均値以下	%
			実績値	小0.28 中4.86	小1.08 中5.95	小1.47中6.66				
			達成率	小175.6% 中 98.3%	小146.3% 中 96.6%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

指標の不登校出現率については「県平均以下」を目標としているが、比較対象となる文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が翌年の秋に公表となるため、当該年度の目標値については、記載していません。

令和5年度からNo.185森林体験・環境学習事業は林業振興事業へ、No.382ひきこもり対策支援事業は心の健康づくり推進事業へ統合されました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

尾瀬学習により魚沼の豊かな自然と触れ合う機会を設けるとともに、特産の魚沼産コシヒカリを給食に提供したほか、コミュニティスクールの取組により、学校と地域が協力しながらふるさとの魅力をアピールしつつ、子どもたちの豊かな感受性や協調性の育成につなげる教育を実践することができました。また、温かい学級づくりの取組を進めるとともに、不登校・いじめ問題対策事業による校内・校外適応指導教室の設置・運営、児童生徒や保護者への面談支援により、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所づくりを行うことができました。さらに地球規模で考え行動するグローカル人材育成の取組を進め、魚沼の子どもたちの英語への学習意欲の向上に寄与することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	学力テスト結果については、目標を下回りました。また、学級満足度については、事業をリニューアルし「親和的な学級集団」から「多様性を認め合う集団」へと目指すべき方向性の転換を図りましたが、数値目標を下回ったため「やや低い」と評価しました。 不登校出現率は、全国的に増加傾向となっており、本市も同様の傾向が見られます。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	成果指標は、未達成となっていますが、各事業の実施により、施策目的である「感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備」に向かって着実に前進していると判断できます。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	魚沼の自然や文化を伝える学びの機会が増える一方で、高齢化等により指導ができる地域人材が不足しており、コミュニティスクールの取組など学校と地域が協力しながら、指導者・後継者の育成を進める必要があります。コロナ禍の自粛ムードが子どもたちの登校意欲を下げ、全国的な不登校出現率の急増につながり、現在もその影響が根強く残っています。学習の遅れが生じると学校復帰が困難となるため、早い段階での対応と継続的な支援が必要です。また、温かい学級づくりを進めつつ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を実現していくために教職員の指導力向上が課題であり、教職員の研修・講座の取組を強化します。グローカル人材育成事業では、子どもたちの英語への学習意欲の向上が見られます。新たに中学校のオンラインによる海外交流なども進めており、子どもたちの興味関心を高める取組を進めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　学校教育課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民が参加する学校づくりの推進	関係課	生涯学習課	
施策名	2号	市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクールの指導や教育ボランティア活動等の充実を図り、保護者や地域の意見を反映できる学校の運営をすすめていきます。幼保小中高の連携や外部との相互交流を積極的に推進し、地域の伝統文化に親しみながら、社会性の向上や社会を生き抜く知恵を磨きます。

また、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するため、地域と連携しながら将来を見据えた適正な通学区域の再構築に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
371		教育支援事業	10 1 3	学校教育課	113,639	130,717	130,520	167,848			やや高い	B
		事業の取組内容	介助員・学習補助員の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。									
375		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	10 1 3	学校教育課	974	864	904	1,133			やや高い	B
		事業の取組内容	スクールガードによる登下校時の見守り、防犯パトロール、緊急通報メールの運用を行う。									
376	○	総合学習支援事業	10 1 3	学校教育課	4,437	4,690	4,486	8,101			やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。									
436		学校・家庭・地域の連携協働事業	10 4 1	生涯学習課	2,352	2,545	2,714	4,765			やや高い	B
		事業の取組内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。									
516	○	コミュニティスクール推進事業	10 1 3	学校教育課	2,220	4,150	4,616	6,138			高い	A
		事業の取組内容	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	コミュニティ・スクールの普及率 全14校(R5～13校)	－	目標値	7	100	100	100	100	100	%
			実績値	7	100	100				
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
375	スクールガードリーダーによる巡回時数	126	目標値	130	140	150	150	150	150	時数
			実績値	132	123	132.5				
376	児童・生徒の「ふるさと」への意識向上	77	目標値	78	78	79	79	80	80	%
			実績値	77.0	78.6	72.2				
436	子ども育み講座（ＰＴＡ・子育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853				
436	子ども地域活動推進事業参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115				
516	学校運営協議会開催数	－	目標値	－	39	36	36	36	36	回
			実績値	－	45	38				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

コミュニティ・スクールの活動実績から見えてくる課題や成果を研修会を通して可視化することで、地域や家庭と学校が課題解決に向けた対話ができるようになりました。

教育支援事業による個別指導や特別な支援が必要な児童生徒への対応、スクールガード等による見守り活動、学校・家庭・地域の連携協働事業などにより、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するための取組が進みました。また、総合学習支援事業により地域の伝統文化や自然環境等について学習し、子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成が一定程度図られました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	市内小中学校全校にコミュニティ・スクール制度が定着しつつあり、地域や家庭と共に学校運営を行う体制整備が推進されたことにより「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	コミュニティ・スクールの活動は、市民が参加する学校づくりの推進に大きく寄与しているため「高い」と評価しました。

総合評価				
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	コミュニティ・スクール制度が有効に機能していくには、時間と経験が必要となります。また、委員や学校教職員等の入れ替わりもあるため、制度が定着するまでの間、研修会を開催するなどして、学校、家庭、地域がお互いを理解し、信頼関係を深める必要があります。子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成を図るためには、地域や家庭と学校がより良い関係を構築し、協力しながら教育環境を整備していく必要があります。 今後も、コミュニティ・スクールを中心とした各種事業を実施し、学校運営に地域住民が主体的に係わっていけるようになるための必要なサポートを行っていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	コミュニティ・スクール制度の普及は進んでいるものの、制度が定着するには時間と経験が必要となるため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価				
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　学校教育課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民が参加する学校づくりの推進	関係課	子ども課	
施策名	3号	安全・安心な学校施設の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

老朽化対策、大規模改修などによる施設整備をすすめるとともに、情報化対策など、近年の学習内容や形態に合った環境への改修を行い、子どもたちが快適に学ぶことができる、安全・安心な学校施設の整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
166		放課後児童クラブ再編事業	3 2 5	子ども課	11,000	114,524	－	－				
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。									
373		通学対策事業	10 1 3	学校教育課	83,359	87,105	93,989	122,975			やや高い	B
		事業の取組内容	学校から遠隔地の児童生徒の確実な通学手段を確保する。									
381		ＩＣＴ機器整備・情報教育推進事業	10 1 3	学校教育課	75,083	126,329	68,359	77,643			やや高い	B
		事業の取組内容	児童生徒の基礎的な情報活用能力を育成するために情報教育を推進する。									
391	○	小学校施設整備事業	10 2 1	学校教育課	554,534	430,023	74,169	41,500			高い	A
		事業の取組内容	各小学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。									
415	○	中学校施設整備事業	10 3 1	学校教育課	307,215	436,855	133,944	15,000			高い	C
		事業の取組内容	各中学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	建物の大規模改修率	98.1 (R1改修率)	目標値	100	100	100			100	%
			実績値	100	100	100				
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
381	ICT機器活用指導力	71	目標値	72	74	76	78	80	80	%
			実績値	68.8	66.3	73.6				
381	授業に対する満足度	94	目標値	95	95	95	95	95	95	%
			実績値	81.9	76.4	78.7				
391	校舎改修工事	2	目標値	3	2	0			9	棟
			実績値	3	2	0				
391	トイレ改修工事	1	目標値	3	2	5			9	棟
			実績値	1	2	5				
391	特別教室エアコン設置工事	5	目標値	6	6	4			9	棟
			実績値	5	0	5				
415	校舎改修工事	2	目標値	2	2	0	1	1	5	棟
			実績値	2	2	0				
415	トイレ改修工事	4	目標値	4	3	0			5	棟
			実績値	0	3	0				
415	特別教室エアコン設置工事	4	目標値	4	3	3			5	棟
			実績値	4	4	1				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

№166　放課後児童クラブ再編事業　令和４年度で終了
　R3-R4継続事業（旧堀之内子育て支援センター解体撤去工事事業）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

　老朽化した学校施設の大規模改修等や情報ネットワークの配備等を計画的に進められたことで、子どもたちが快適に学ぶことができる環境を整備することができました。環境、衛生面でもエアコン設置及びトイレの改修整備も進みました。
　適正な施設管理や公共施設再編整備についても進めることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	大規模改修などによる施設整備を計画的に進めるとともに、情報化対策についても特別教室の無線WiFiの設置を進められたことから「高い」と判断しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	トイレ、エアコンの改修など子どもたちが快適に学ぶことができる学校施設の整備が進み、学習意欲や学習効率の向上に貢献できたことから「高い」と判断しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	学校に整備した端末の耐用年数を踏まえた定期的な更新、端末の保守管理、修理等への対応や、老朽化したスクールバスの更新が必要であり、少子化による今後の児童生徒数の減少を考慮しながら検討していく必要があります。 学習内容に対応できる情報化整備について、子どもたちが快適に学ぶことができるように、学校施設の改修を行います。通学路の安全確保についても、通学路の危険箇所の解消について計画的な実施により強化していきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係課		
施 策 名	1号	芸術・文化活動の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が心豊かな生活を送るために、多様な芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、芸術文化を支える人財の育成と活動支援を行います。また、次世代の担い手である子どもたちを育成する文化体験の場を拡充します。

さらに、市民が芸術文化に広く関わっていくため、教育、商工観光、福祉など各種団体と連携を深め、新しい文化活動を創出します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
72	○	文化振興事業 / 10 4 6	生涯学習課	2,941	3,729	5,797	8,027			やや高い	C
		事業の取組内容	美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。								
73		小出郷文化会館管理運営事業 / 10 4 6	生涯学習課	132,574	133,944	287,634	235,407			やや高い	B
		事業の取組内容	小出郷文化会館の大規模改修を行う。								
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	文化会館年間利用者数	76,756 (R1実績)	目標値	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	人／年
			実績値	41,374	56,696	60,128				
			達成率	53.7%	73.6%	78.1%	%	%		
2	各種催し物の参加者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人
			実績値	3,877	4,495	4,753				
			達成率	51.6%	59.9%	63.4%	%	%		
3	文化的催しに対する満足度	35.8 (R1調査)	目標値	―	―	40	―	―	40	%
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		実績値	―	―	65.1	―	―		
			達成率	%	%	162.8%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
72	芸術文化の事業件数	27	目標値	75	75	75	75	75	75	件／年
			実績値	41	47	47				
73	中長期大規模改修計画の進捗率	0	目標値	13	42	59	84	100	100	%
			実績値	13	23	53				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市文化協会や小出郷文化会館の指定管理者であるＮＰＯ法人魚沼交流ネットワークと連携することで、文化団体の人財育成や活動の支援を行うことができました。このことで市民に多様な芸術文化に触れる機会を充実させることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種事業を開催することで、多様な文化芸術に触れる機会を充実させるとともに、人財育成と活動支援を行うことができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	多種多様な事業を展開することで、潤いのある地域文化や芸術を振興することができました。また、子どもたちの参加拡充をすることにより新しい文化活動の機会を提供することができました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題　及び　今後の方向性	
	幅広い年代に即した市民ニーズに基づいた事業を展開していく必要があります。今後、各種事業を展開するにあたり、社会教育分野にとどまらず、福祉や地域創生（まちづくり）など各種団体と横断的な連携を深め、新しい文化芸術活動の創出に努めていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	成果指標は前年度と比較し実績値は増加しているが、目標値との開きがあるため「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題　及び　今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係課		
施 策 名	2号	地域文化の振興と発信			

2. 施策目的（目指すすがた）

市内文化施設の特徴を活かし、家庭・地域・学校が連携し、伝統的生活文化に触れる機会を創出し、地域文化活動の促進を図ります。
また、ふるさと伝統文化を継承し活用するために、子どもたちの地域文化活動への参加を促進します。
国内外の都市・団体などと連携を図りながら文化交流を行い、あわせて地域文化活動の振興と情報の発信を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
72	○	文化振興事業	10 4 6	生涯学習課	2,941	3,729	5,797	8,027			やや高い	C
		事業の取組内容	美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。									
444	○	地区公民館講座教室事業	10 4 2	生涯学習課	654	1,302	1,600	2,620			やや高い	C
		事業の取組内容	各種講座教室、講演会等を開催する。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	芸術文化の事業件数	42 (R1実績)	目標値	75	75	75	75	75	75	件
			実績値	41	47	47				
			達成率	54.6%	62.6%	62.70%	%	%		
2	美術展・地域文化祭・地域芸能祭の観覧者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人／年
			実績値	3,877	4,495	4,753				
			達成率	51.6%	59.9%	63.4%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
72	芸術・文化活動の促進（文化会館年間利用者数）	22,932	目標値	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	人／年
			実績値	41,374	56,696	60,128				
444	講座教室の参加率	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71				
444	参加者の満足度	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種芸術文化事業や地区公民館講座教室事業を実施することにより、家庭・地域・学校が連携し、地域の伝統文化に親しむことができました。また、学校と連携し、年間行事に組み込むことで、子どもたちの地域文化活動への参加を促進することができました。各地区公民館講座教室事業として、多様な文化芸術に触れる機会を提供することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	各種事業を開催し多様な文化芸術に触れることで、地域文化の振興を図ることができましたが、参加率が低いため「やや低い」としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種事業について、市内のみならず市外や県外からの参加者もあり、地域文化を広く発信することができました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	既存の参加者の各種事業参加を維持しつつ、新規の参加者を増加させる必要があります。また、地域の文化活動について、市民により浸透させ参加につなげることが課題です。参加者の年齢層に偏りがあることから、幅広い年齢層の学習ニーズに応えられるように企画の見直しも必要です。 今後は、文化交流を活発にするために、引き続き各種団体と連携を図ります。また、市内の文化活動を広めるため、市HPやSNSなどにより積極的に情報発信に努めます。参加者数の少ない年齢層のニーズにも対応した企画を検討します。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	
	4 質の高い教育をみんなに / 17 パートナーシップで目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係課		
施 策 名	3号	文化財の保護と活用			

2. 施策目的（目指すすがた）

市内に存在する文化財を地域資源として広く公開し、施設整備を含め、子どもたちが接する機会や、市民が学ぶ機会を積極的に設けるなどの有効な活用を図り、郷土の歴史・文化に関する認識を深め、市民全体で保護・継承し、発信していく意識を高めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
451		埋蔵文化財調査活用事業	10 4 4	生涯学習課	59,913	68,431	126,457	96,005			やや高い	B
		事業の取組内容	埋蔵文化財保護のため、記録・保存を行い、成果物を公開し、地元の歴史への理解と関心を高めていく。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	文化財を活用した講座や体験教室等の参加者数	429 (R1実績)	目標値	500	500	500	500	500	500	人／年
			実績値	342	297	312				
	講座や体験教室、企画展等を開催し、市民にＰＲを行う。		達成率	68.4%	59.4%	62.40%	%	%		
2	企画展等の見学者数	600 (R1実績)	目標値	800	800	800	800	800	800	人／年
			実績値	1,365	984	937				
	企画展等を通じて、市民の歴史・文化への認識を深める。		達成率	170.6%	123.0%	117.1%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
451	講座・体験教室・企画展等の開催数	2	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	6	7	10				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

県営圃場整備に伴う遺跡調査では、試掘調査の結果により、本発掘調査となる場合があり、事業費が大幅に増加する可能性があります。今後も数か所で広大な面積の圃場整備の計画があります。

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

文化財保護法により大規模開発に伴う試掘確認調査及び本発掘調査を適切に実施し、圃場整備事業、県道路改良事業等の工程に影響を与えませんでした。また、令和５年度にはじめて遺跡発掘調査の現地公開として、市内小学校２校を受け入れ発掘体験を実施し、遺跡を生きた教材として活用することができました。このほか、遺跡発掘報告会、企画展、ギャラリートーク、講演会、縄文体験教室等を実施し、魚沼市の歴史の紹介と文化財保護思想の普及啓発に寄与しました。歴史の道八十里越については、総合計画の策定が終了し、国指定史跡の指定に向け前進しました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	講座・体験教室等の参加者数は目標値を下回ったものの、講座・体験教室・企画展等の開催数は目標値を上回り広く普及啓発ができたため。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	適切な遺跡発掘調査等による埋蔵文化財の保護とともに、調査結果を縄文体験教室や遺跡発掘報告会等で活用し、市民への郷土の埋蔵文化財の紹介ができたことにより郷土愛の醸成に寄与したため。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	埋蔵文化財の適切な保護とともに、市内小中学校の遺跡発掘体験等の実施や、新たに開設される文化財展示室の活用等により、市民が自らの郷土の歴史を学ぶ機会を創出するとともに、観光資源となる活用方法の創出に取り組みます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項	楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係課	健康増進課	
施 策 名	1号	誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

子どもから高齢者まで、スポーツ活動やレクリエーションに参加でき、仲間との交流などを通して、健康増進や生きがいづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目 / 担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
207		保健対策事業 4 1 3 健康増進課	－	－	3,885	5,491			やや高い	C
		事業の取組内容：市民一人ひとりが主体的に行う健康づくりへの動機づけとして、楽しみながら運動習慣を継続できるようポイント制度により支援する。（R5に健康づくり支援事業と統合）								
211		健康づくり支援事業 4 1 3 健康増進課	1,042	1,162	－	－				
		事業の取組内容：市民一人ひとりが主体的に行う健康づくりへの動機づけとして、楽しみながら運動習慣を継続できるようポイント制度により支援する。								
460	○	市民スポーツ普及事業 生涯学習課	12,582	13,834	14,294	25,574			やや高い	B
		事業の取組内容：スポーツフェスティバルや各種スポーツ教室を開催する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	各種スポーツ教室等の参加者数 市民スポーツフェスティバル及びＥスポに委託している各種教室等の参加者数	8,014	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	人／年
			実績値	9,555	10,235	9,993				
			達成率	116.5%	124.8%	121.8	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
460	体育施設利用者数	167,895	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人/年
			実績値	186,012	186,097	206,682				
207	運動や食生活等の生活習慣について、既に取り組んでいる(6か月以上)人の割合	26.5 参考： R1 24.1 H30 23.9 H29 22.9	目標値	24.1	24.5	24.8	25.3	25.5	25.8	%
			実績値	22.8	22.2	20.8				
207	家庭で血圧測定をする人の割合	47.7 参考： R1 47.1 H29 44.8	目標値	47.1	47.3	47.5	47.7	47.9	47.9	%
			実績値	47.2	50.3	52.0				
207	喫煙率	13.7 参考： R1 15.6 H30 15.7 H29 16.4	目標値	15.6	15.4	15.2	15.0	14.8	14.8	%
			実績値	15.1	14.1	14.5				
207	元気ポイント参加者数（実数）	689	目標値	630	690	750	810	870	870	人
			実績値	758	778	494 ※1				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から中学校部活動の地域移行に向け、関係団体と連携しながら順次可能な種目から移行を進め、令和7年度には休日の完全移行に向け進めていきます。

健康づくりの担い手である食生活改善推進員の養成は、隔年で養成計画に応じて実施し、人材の確保を図ります。

令和5年度に電話健康相談事業・健康づくり支援事業と統合しました。

特定健診質問票の集計については、市の集団健診受診者の結果を対象としています。

※1　元気ポイント事業について、令和5年度から年2回の抽選を年1回にしました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種スポーツ教室等の参加者数が目標値を上回る結果となり、教室等の開催により健康づくりへの意識や関心の向上につなげることができました。また、継続して参加することで、運動習慣が定着し、健康増進につながっています。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	成果指標が目標値を上回る実績となったため、高いとしました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	現在行っている各種スポーツ教室は、指導者が様々な工夫をしており、健康づくりに楽しさやレクリエーション要素を取り入れながら実施しています。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	幅広い年齢層の市民から参加してもらうことが目標ですが、実施者が固定されていたり年齢層が高くなっていることが課題です。今後は2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックにより新しい競技や障害者スポーツへの関心が高まっているため、体験会などのイベントを行い、市民のニーズを把握し、新しい取組を事業に組み込んでいきたいと考えています。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	スポーツ教室等の参加者は目標に到達しているが、継続した生活習慣への取組につながっていないため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価に加え、市民が関心の持てるような健康教育の実施を検討すること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項	楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係課		
施 策 名	2号	スポーツ活動推進のための体制強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

夢に向かってスポーツに挑戦していく人々や関係者への支援を充実させるため、各スポーツ団体と連携・協働しながら、各組織の自立と体制強化を推進します。
また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といったかかわり方に応じて、スポーツに接する機会を創出し、それぞれが支えあい、連携するシステムの整備を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
461	○	競技スポーツ支援事業	10 5 1	生涯学習課	2,087	2,238	3,188	3,978			やや高い	C
		事業の取組内容	競技スポーツの選手、指導者の育成を図るとともに、各種スポーツ大会の開催により、競技スポーツ活動の普及、促進を図る。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	スポーツ協会の会員数	2,069 (R1実績)	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	人／年
			実績値	1,692	1,762	1,648				
			達成率	67.6%	70.4%	65.90%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
461	各種スポーツ大会の参加人数	81	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	299	553	756				
461	高位大会出場者激励金交付件数	29	目標値	100	100	100	100	100	100	件
			実績値	50	53	82				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

指導者養成講演会の開催などスポーツ協会及び関係スポーツ・レクリエーション団体と連携・協働をしていくことで、スポーツ関係の組織・体制強化を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症が緩和され、今まで開催できなかった大会が開催されるようになり、前年に比べ多くの高位大会出場者の支援を行うことができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	高齢化によりスポーツ協会を脱退する団体があり協会員数が減少しましたが、新型コロナウイルス感染症が緩和され、徐々にコロナ禍前の人数に近づきつつあります。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	競技スポーツを活発にするには、ジュニア世代をはじめとする競技者への支援を行いつつ、指導者の養成が求められていることから、その環境づくりに努めました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題　及び　今後の方向性	
	指導者養成の一環として講演会や講習会を計画していますが、育成に関心のある指導者と関心のない指導者の格差があるため、情報収集や広報の仕方を見直す必要があると考えます。また、ジュニアスポーツ支援では保護者の負担軽減も課題となっています。また、スポーツ協会やスポーツ少年団加盟競技団体の構成員減少に加え、指導者の担い手不足も大きな課題となっています。今後の取組として、中学校部活動地域移行も踏まえ、指導者がどのような講演会や講習会を求めているのか把握し、ニーズに合った講習内容を検討し地域スポーツ指導者の担い手育成を行っていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題　及び　今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	教育・文化		評価担当課	部課名	教育委員会事務局　生涯学習課
基本目標	5節	私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項	楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係課		
施策名	3号	スポーツにおける広域連携の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

様々なスポーツに接する機会の拡大、スポーツの普及、推進、競技力向上を図るには、近隣市町と連携した取組も重要となります。既存施設の活用を図りながら、施設整備や相互利用など、スポーツの振興や推進にかかる全ての分野において、広域的な連携をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
459	○	社会体育管理事業	10 5 1	生涯学習課	7,176	7,069	8,425	10,328			やや低い	C
		事業の取組内容	社会体育推進体制の充実を図るための取組や方針の協議を行うとともに、スポーツ関係団体に対する運営支援を行う。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	体育施設利用者数	218,508 (R1実績)	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人／年
			実績値	186,012	186,097	207,536				
			達成率	72.6%	72.6%	81.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
459	近隣市町とのスポーツイベント開催に関する相互PR回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回数
			実績値	0	0	0				
459	魚沼ｺｼﾋｶﾘ紅葉ﾏﾗｿﾝ	0	目標値	450	450	450	450	450	450	人
			実績値	326	346	429				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種スポーツの広域での大会開催や湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会において、広域サイクリングルートのＰＲなどを行い、近隣自治体と広域的交流を行うことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	広域連携については、魚沼地域定住自立圏構想の会議の開催や、サイクルツーリズムを通じたPR活動等のみであったことから、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	広域的な共通課題（競技スポーツ人口の減少、体育施設の整備等）については、魚沼地域定住自立圏構想の会議は開催されたが、連携して事業実施するまでには至らず、貢献度は「やや低い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	○

課　題 及び 今後の方向性	
	スポーツ施設の有効活用を図るための広域的な相互利用事業は、利用料金の統一等多くの課題があることと、今後、近隣市町とのスポーツ施設の相互利用を進めるにあたり、現状市民が求めるニーズの把握が課題となります。 魚沼地域定住自立圏構想の会議が再開され、今後課題解決に向け議論を進めていきます。また、近隣自治体で連携した各種スポーツ大会の開催やサイクルツーリズムを通じた広域サイクリングルートを活用したスポーツの普及に関する検討を引き続き行い、連携を進めていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	○

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　企画政策課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	市民参画と行政との協働の推進	関係課	市民課	地域創生課
施 策 名	1号	まちづくりへの市民参画の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、お互いの人権・人格を尊重し合って、自らがまちづくりの重要な担い手であることを自覚し、発言と行動に責任を持って参画できるよう意識の高揚を図ります。
また、情報を市民と共有し、男女・世代を問わず多くの市民が参画し、その意見が反映されるまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
13		人権啓発事業 / 2 1 2	市民課	1,657	871	798	2,655			やや高い	B
		事業の取組内容	市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。								
36		男女共同参画事業 / 2 1 6	企画政策課	73	37	813	2,699			やや低い	B
		事業の取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。								
48	○	うおぬま未来人財育成事業 / 2 1 6	地域創生課	610	454	86	910			低い	C
		事業の取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。								
521		地域活動活性化事業 / 2 1 6	地域創生課	1,486	1,323	498	2,500			やや高い	C
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	市政やまちづくりへの関心度 / 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	78.0 (R1調査)	目標値	―	―	85	―	―	85	%
			実績値	―	―	81	―	―		
			達成率	%	%	95.3%	%	%		
2	地域活動への参加割合 / 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	67.0 (R1調査)	目標値	―	―	75	―	―	75	%
			実績値	―	―	64	―	―		
			達成率	%	%	85.3%	%	%		
3	市民提案型事業の件数 / （市民自ら企画立案し、地域の課題解決や活力ある地域を実現するための事業）	4 (R1実績)	目標値	4	8	13	18	23	23 (R3～R7累計)	件
			実績値	4	7	8				
			達成率	100.0%	87.5%	61.5%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
13	人権・同和問題職員研修、市民研修開催回数	4	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	3	4	4				
13	本人通知制度の周知回数	3	目標値	3	3	3	3	3	3	回/年
			実績値	2	2	2				
13	人権施策懇話会開催回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回/年
			実績値	2	1	1				
36	ハッピー・パートナー企業登録数	12	目標値	16	19	22	26	30	30	社
			実績値	13	14	21				
36	市の審議会等への女性の登用率	23.5	目標値	25	29	33	37	40	40	%
			実績値	23.3	23.8	23.2				
36	研修会後のアンケートで「とても参考になった」の割合	－	目標値	73	80	80	80	80	80	%
			実績値	83	76	58				
48	若者会議メンバーが開催した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2				
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

今年度から開始した「男性の育児休業取得促進奨励金」制度については、前年度までに「市長と語らん会」や外部委員会において、提案があったものを制度化したものであります。奨励金交付においては、制度開始１年目にも関わらず想定を上回る交付実績となり、市民の意見をまちづくりに反映させることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	各指標において、指標の向上はあるものの、年度目標には到達していないため「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民の意見を反映した制度を取り入れたことや、商店街の活性化につながる取組も実施できたことから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	人権啓発については、セミナーの開催にとどまらずに理解度や関心度を上げる取組を検討します。また、男女共同参画においては、性別にとらわれることなく誰もが暮らしやすい社会の実現に向けパートナーシップ制度の導入を検討します。 そのほか、若い世代のまちづくり参加においては、様々な取組や意見の反映について検討します。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　地域創生課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項	市民参画と行政との協働の推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施 策 名	2号	協働体制の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

まちづくりの主体である市民と行政が、お互いに対等な立場で意見交換を行いながら施策を推進する体制を充実するとともに、市民が主体となった活動が行えるように地域の人財育成や活動をコーディネートするなど人的支援を行います。

また、市民の自主的主体的な活動と行政が連携、連帯を強め、魅力ある地域づくりを実践し、各地域の今後の振興や課題の解決に向けた取組が行えるように財政的支援を行います。

地域社会の担い手として、自主的かつ自立的な活動を行う「コミュニティ」を守り育てていくとともに、まちづくり委員会をはじめとした組織が市民や他の市民活動団体、行政とのつながりを形成し、協働・連携のできるネットワーク体制づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
37		市民協働推進事業	2 1 6	地域創生課	513	250	357	648			やや低い	C
		事業の取組内容	魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。									
48	○	うおぬま未来人財育成事業	2 1 6	地域創生課	610	454	86	910			低い	C
		事業の取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。									
61	○	地域活動支援事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	51,757	61,467	51,462	48,256			やや高い	B
		事業の取組内容	連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。									
63	○	コミュニティ活動支援事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	13,754	15,348	14,738	17,946			やや高い	C
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。									
65	○	地域との「絆」推進事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	32,780	31,980	25,244	37,804			やや高い	B
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。									
67		交通安全対策事業	2 1 10	生活環境課	15,349	18,142	19,510	21,152			やや高い	B
		事業の取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	市民と行政との協働推進の充実度	17.4 (R1調査)	目標値	－	－	50	－	－	50	%
			実績値	－	－	51.3	－	－		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	102.6%	%	%		
2	市民参画と行政との協働を理解している人の割合	49.1 (R1調査)	目標値	－	－	75	－	－	75	%
			実績値	－	－		－	－		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
37	まちづくり委員会の開催の数	36	目標値	36	36	36	36	36	36	回
			実績値	53	48	56				
37	市民会議・総会等への参加者数	31	目標値	80	110	140	170	200	200	人
			実績値	27	42	77				
48	若者会議メンバーが開催した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2				
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

　まちづくり委員会メンバーが各種審議会などへ参画することにより、市民と行政の協働によるまちづくりを進めることができました。
　また、地域振興や課題解決に向けた取組が行えるよう各コミュニティ協議会に財政的支援を行うとともに、運営を集落支援員が支援することにより、住民主体の活動を促進することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	成果指標は上回っているものの、まちづくり委員会をはじめとした組織等と行政との協働・連携できるネットワーク体制づくりが進んでいるとはいえないことから「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	まちづくり委員会、自治会、コミュニティ協議会活動は、地域活性化につながる取組であり、継続して行う必要があることから、「やや高い」と評価します。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	将来の人口減少を見据えると、まちづくり委員会やコミュニティ協議会などの組織において、地域づくりなど相互に連携できる体制づくりが必要ですが、どのように構築していくかが課題です。また、それぞれの組織において、役員が固定化されているなど、次代を担う人財育成・確保も課題となっています。 まちづくり委員会やコミュニティ協議会などの組織が、まちづくり活動の中で連携・協働できるネットワーク体制づくりが進むよう支援するとともに、若者をはじめとしたあらゆる世代の地域活動への参画を促し、市民が主体となった活動を今後も継続して行うためにも次代のまちづくりの担い手育成を進めていきます。

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　地域創生課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	市民参画による地域づくりの推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施 策 名	1号	支え合う地域づくりの支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域内の若者や子育て世代と高齢者など、世代間を越えた市民の交流を推進し、人財の発掘と活用を図るとともに、次代を担う人財の育成や活力ある地域づくりを支援します。
また、少子高齢化に伴う社会情勢の変化に対応して、地域の事情に応じた支え合い、助け合う地域づくりを支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
37		市民協働推進事業	2 1 6	地域創生課	513	250	357	648			低い	C
		事業の取組内容	魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。									
48	○	うおぬま未来人財育成事業	2 1 6	地域創生課	610	454	86	910			やや低い	C
		事業の取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。									
52	○	農村文化創生事業	2 1 6	地域創生課	0	0	18	1,245			低い	C
		事業の取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。									
63	○	コミュニティ活動支援事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	13,754	15,348	14,738	17,946			やや高い	C
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。									
65	○	地域との「絆」推進事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	32,780	31,980	25,244	37,804			やや高い	B
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。									
67		交通安全対策事業	2 1 10	生活環境課	15,349	18,142	19,510	21,152			やや高い	B
		事業の取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。									
521		地域活動活性化事業	2 1 6	地域創生課	1,486	1,323	498	2,500			やや高い	C
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	市民と行政との協働推進の充実度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	17.4 (R1調査)	目標値	―	―	50	―	―	50	%
			実績値	―	―	51.3	―	―		
			達成率	%	%	102.6%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	市民参画と行政との協働を理解している人の割合 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	49.1 (R1調査)	目標値	－	－	75	－	－	75	%
			実績値	－	－		－	－		
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
37	まちづくり委員会の開催の数（専門委員会含む）	36	目標値	36	36	36	36	36	36	回
			実績値	53	48	56				
37	市民会議・総会等への参加者数	31	目標値	80	110	140	170	200	200	人
			実績値	27	42	77				
48	若者会議メンバーが開催した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2				
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0				
521	市民提案型事業の件数	3	目標値	4	4	5	5	5	23 (R3～R7累計)	件
			実績値	4	3	1				
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32				
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

集落支援員の配置により、コミュニティ協議会の運営を支援することができ、地域課題の解決に向けた住民主体の話合いを進めることができました。

高齢世帯の屋根雪除雪等やコミュニティバスの運行など、地域が抱える課題解決に向けて取り組む団体に対して支援することにより、助けあう地域づくりを進めることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進が図れた一方、将来のまちづくりを担う若者会議の活動が大幅に減ったことや大学連携による事業ができなかったことなどから、評価を「やや低い」としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域の担い手不足を解消し、活動の活性化を図るためには、継続した支援を行う必要があることから「やや高い」と評価します。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	地域づくりに関わる地域の担い手は、高齢化や固定化、若者が参加しないなどの実態があることから、新たな担い手の育成、確保が課題となっています。今後は、それらの解消に向け地域人材の掘り起こしなどにつながる地域活動を支援していく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　地域創生課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	市民参画による地域づくりの推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施策名	2号	地域づくりの活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

「地域の課題は地域で話し合い解決する」という本来の住民主体型の地域づくりを推進しながら、「地域づくりから始まるまちづくり」をめざし、地域づくりの活性化を図ります。
また、広範な地域課題への対応や活力ある地域活動をすすめるために設立されたコミュニティ協議会について、市民の関心を高め、参加する市民の輪が広がるように制度の周知と人的支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
61	○	地域活動支援事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	51,757	61,467	51,462	48,256			やや高い	B
		事業の取組内容	連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。									
63	○	コミュニティ活動支援事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	13,754	15,348	14,738	17,946			やや高い	C
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。									
65	○	地域との「絆」推進事業	2 1 9	地域創生課・北部事務所	32,780	31,980	25,244	37,804			やや高い	B
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。									
67		交通安全対策事業	2 1 10	生活環境課	15,349	18,142	19,510	21,152			やや高い	B
		事業の取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。									
521		地域活動活性化事業	2 1 6	地域創生課	1,486	1,323	498	2,500			やや高い	C
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	地域活動への参加割合	67.0 (R1調査)	目標値	―	―	75	―	―	75	%
			実績値	―	―	63.8	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	85.1%	%	%		
2	コミュニティ協議会数	15	目標値	15	15	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15				
			達成率	100.0%	100.0%	93.8%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
521	市民提案型事業の件数	3	目標値	4	4	5	5	5	23 (R3～R7累計)	件
			実績値	4	3	1				
61	集会施設建設費等補助金の申請件数	18	目標値	20	20	20	20	20	20	件
			実績値	23	19	24				
63	共助事業に取り組むコミ協等の数	5	目標値	6	9	11	13	15	15	団体
			実績値	4	4	4				
65	話し合い実施集落等への支援	5	目標値	9	9	9	9	9	9	集落等
			実績値	8	10	8				
65	地域づくりセミナー実施回数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	0	2	4				
67	交通事故件数(※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32				
67	交通死亡事故件数(※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、集落支援員による対面でのコミュニケーションの機会が増えたことにより、各コミュニティ協議会の運営支援につながり、地域課題の解決に向けた住民主体の話し合いを促進することができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	総合計画市民アンケートの結果、地域活動への参加割合が目標を下回っていることから「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民主体の活動を行うためには地域の人材育成や活動をコーディネートする人的支援が必要であることから「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	自治会役員や地域づくりに関わる地域の担い手不足、確保が課題となっていることから、地域活動のデジタル化も視野に入れながら、市民が地域活動に参画しやすい環境づくりを行うなど、新たな地域人材の掘り起こし、確保ができるよう地域活動を支援していきます。 また、コミュニティ協議会では、住民主体の話し合いや活動を促し、地域の課題解決に向けた活動に取り組めるよう支援していく必要があります。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　地域創生課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項	市民参画による地域づくりの推進	関係課	北部事務所	都市整備課
施 策 名	3号	地域づくりに向けた移住・定住の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域外との交流や地域おこし協力隊の拡充による豊かな地域資源の発掘、積極的な情報発信、雪国・田舎暮らし体験、空家の有効活用などを通じて、活力ある地域づくりに向けた移住者・定住者の増加を図るとともに、関係人口の拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
34	○	地域交流推進事業	2 1 6	地域創生課・北部事務所	492	1,140	2,049	8,143			やや低い	B
		事業の取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。									
42	○	田舎暮らし体験事業	2 1 6	北部事務所	9	68	－	－				
		事業の取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。									
43	○	地域おこし協力隊受入事業	2 1 6	地域創生課・北部事務所	17,145	19,244	13,654	40,591			やや高い	C
		事業の取組内容	地域おこし協力隊を受入れ、地域への定住・定着を図るとともに、地域の活性化を推進する。									
45	○	移住定住促進事業	2 1 6	地域創生課・北部事務所	1,588	6,079	16,196	26,009			やや高い	B
		事業の取組内容	移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。									
46	○	ふるさと結基金事業	2 1 6	地域創生課	1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,351,001			やや高い	A
		事業の取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をＰＲする。									
52	○	農村文化創生事業	2 1 6	地域創生課	0	0	18	1,245			低い	C
		事業の取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。									
346	○	住宅リフォーム支援事業	8 5 2	都市整備課	62,958	68,080	61,470	60,267			高い	B
		事業の取組内容	個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	地域おこし協力隊の受入者数	13 (H28～R1累計)	目標値	16	19	22	25	29	29 (H28～R7累計)	人
			実績値	16	16	17				
			達成率	87.5%	84.2%	77.3%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	空き家バンクの登録件数	21 (H28～R1累計)	目標値	25	29	33	37	41	40 (H28～R7累計)	件
			実績値	25	32	44				
			達成率	100.0%	110.3%	133.3%	%	%		
3	転入時ｱﾝｹｰﾄ把握による移住者の数(転入者の内数)	265 (R1実績)	目標値	270	280	290	295	300	300	人／年
			実績値	221	201	281				
			達成率	81.9%	71.8%	96.8%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
346	住宅ﾘﾌｫｰﾑ申請件数 （通常・世帯要件分）	401	目標値	397	458	470	320	320	320	件
			実績値	456	492	423				
346	住宅ﾘﾌｫｰﾑ申請件数 （空き家対策分）	3	目標値	3	4	5	5	5	5	件
			実績値	8	6	9				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

空き家バンク登録件数（令和5年度：12件）
空き家バンク成約数（令和5年度：4件うち1件が市外からの移住者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症に移行したことで、首都圏における移住定住イベントや市主催の移住セミナーを開催するなど積極的に情報発信を行うことで、移住者の増加につなげることができました。

また、郷人会の総会や友好都市におけるイベントなどが再開され、積極的に本市の特産品販売等を通じて情報発信を行うことにより、関係人口及び交流人口の拡大に貢献しています。

「家の就活」等による広報を行ったことにより、空家バンク登録件数が増加するとともに空家の取引が活発化し、空家を活用した移住に結び付きました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	移住者の数は、目標に近い実績になっているものの、地域おこし協力隊の拡充ができていないことから、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	移住者・定住者の増加を図るためには、構成する事業を継続して取り組む必要があることから、「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	地域おこし協力隊の新規募集に対し、応募申込者が少なく必要人数を確保できていないことが課題となっています。引き続き、受入れ希望団体のニーズに基づき、ターゲット層に届くような情報発信の工夫・強化、魅力的な条件提示、イベントの開催などを組み合わせ、地域おこし協力隊の確保に向けた取組を進めていきます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや低い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　企画政策課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民に信頼される開かれた行政運営	関係課		
施 策 名	1号	効率的で効果的な行政運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

持続可能な行政運営を確立するため、優先的、重点的に取り組むべき施策を中心に事業を展開し、効率的で効果的な行政運営をすすめます。そのために施策や事業について行政評価を行うとともに、その結果をわかりやすく公表します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
41		行政効率化推進事業	2 1 6	企画政策課	39	67	39	78			やや高い	B
		事業の取組内容	効率的で効果的な行政運営の推進を図る。									
524		総合計画管理事業	2 1 6	企画政策課	118	421	1,657	3,518			やや高い	C
		事業の取組内容	市政運営の方向性を示す最上位計画である総合計画の策定及び進捗管理を行う。									
		事業の取組内容										
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	効率的で効果的な行政運営の満足度	37.9 (R1調査)	目標値	―	―	75	―	―	75	%
			実績値	―	―	54.8	―	―		
			達成率	%	%	73.1%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1				
41	再編整備アクションプランの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6				
524	総括評価における施策評価の評価区分ABの割合	27.9	目標値	－	－	－	－	35	35	%
			実績値	－	－	－	－			
524	暮らしやすいまちと感じている市民の割合	58.1	目標値	－	－	75	－	－	75	%
			実績値	－	－	58.4	－	－		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習センターの建設や旧堀之内庁舎及び旧広神庁舎の改修については、合併特例債を有効に活用することで、市の負担額を抑える中で、市民が長期にわたり利用できる施設の整備に貢献することができました。

また、行政評価では、外部評価対象の12施策について全委員から意見を聴取したことで、市民の考えをより多く知ることができ、今後の取組につなげることができました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	アンケート結果については、目標値に到達はしていないものの、前回調査に比べて増加しているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	公共施設の再整備については、市の将来負担を軽減した中で施設整備を進めることができたため「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	公共施設整備の事業費が増加する中、合併特例債の適用期間が終了するなど、財源の確保が一段と厳しくなりますので、国県補助金等の特定財源を有効に活用した事業立案を検討します。 また、効果がない又は少ないと思われる事業については、内容を精査し再構築を行います。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題　及び　今後の方向性	
	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　秘書広報課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項	市民に信頼される開かれた行政運営	関係課	総務人事課	市民課
施 策 名	2号	わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

行政と市民との情報共有及び市民が参加しやすい行政運営のため、広報誌、ホームページのみならず、ＳＮＳやコミュニティＦＭなど様々な媒体を活用し、理解しやすい内容での情報提供に努めるとともに、「市民の想い」を行政に反映させる広聴活動を行います。

また、質の高い行政サービスを提供するには、市民が充実した生活をおくるためのニーズの把握に努め、今後も更なる職員の能力向上等を推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名 / 予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
9		職員研修事業 / 2 1 1	総務人事課	2,394	2,318	3,593	4,125			やや高い	A
		事業の取組内容	職場内研修や、新潟県市町村総合事務組合等に委託して職場外研修を行う。								
12		広報広聴事業 / 2 1 2	秘書広報課	29,517	48,125	37,715	44,749			やや高い	B
		事業の取組内容	市報の発行、魚沼市ホームページ・SNS等による情報発信、「市長の手紙」等の広聴、出前講座等を実施する。								
13		人権啓発事業 / 2 1 2	市民課	1,657	871	798	2,655			やや高い	B
		事業の取組内容	市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。								
58		ケーブルテレビ運営事業 / 2 1 8	秘書広報課	31,179	32,245	29,621	61,892			やや高い	B
		事業の取組内容	ケーブルテレビの運用、施設管理、利用料徴収、自主放送番組の制作委託による番組提供等を行う。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	情報・行政サービスの提供の満足度	54.6 (R1調査)	目標値	―	―	75	―	―	75	%
			実績値	―	―	56.0	―	―		
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		達成率	%	%	74.7%	%	%		
2	出前講座の参加者数	706 (R1実績)	目標値	860	1,020	1,180	1,340	1,500	1,500	人／年
			実績値	75	63	612				
			達成率	8.7%	6.1%	51.9%	%	%		
3	ホームページ記事アンケートでの「わかりやすかった」の回答割合	77.8 (R1実績)	目標値	78	79	81	83	85	85	%
			実績値	78.2	―	78.5				
	HPの仕様変更によりR4年度は調査未実施		達成率	100.3%	%	96.9%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5．その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6．その他特記事項

7．施策目的に向かってどのような成果があったのか

お知らせ版を含めた月2回の市報発行とともに、ホームページのほかSNSを併用することにより、市民に対して防災情報などの市民生活に必要な情報をスピーディーに伝達することができました。特に、令和5年度から「子育て支援」「農業振興」「移住定住」「医療福祉」など政策分野単位で（庁内横断的に）関連する取組を総合的に周知・案内することにより市民から各種制度を効果的に活用していただけるよう、保存版のチラシを全戸に配付し政策の推進を図りました。

また、「市長への手紙」の用紙を本庁舎内各所に配置して、市民や来庁者の想いや考えを広く受け止められるようにしながら、頂戴した苦情については改善に向けた取組を検討するとともに投稿者に対して対応状況を速やかに回答することにより、市民から信頼される行政運営につなげました。

また、職員の能力向上についても、各種職場内研修や人権研修を行い、意識啓発を図りました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	市報アンケートの結果やSNSのフォロワー数増加等により、市報アンケートの回答者やSNS登録者の満足度は良好とみられるものの、市報を見ている人の割合やSNS登録者数の目標値を定めていないことから、総合的な成果の達成度測定が不明であることを考慮し「やや高い」と判断しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	市政情報を速やかにわかりやすく市民に伝えることは市政運営において欠かせないものであり、また、政策の実現に向けて市民からコンセンサスを得るためには広く市民の声を聴く必要があることから、市民からの信頼を得る上で「広報」と「広聴」の貢献度は高いものと考えます。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	以前から本市は情報発信力が弱いと指摘されており、近年、様々な媒体の活用や新たな試みに取り組んでおりますが、未だ手探りの状態にあります。民間メディアとの違いや役割分担を明確化した上で、行政広報の責務として、市民に対して市政情報を速やかにわかりやすく伝えていくための工夫が求められているほか、UIターン者の増加に向けて民間メディアを通じた本市の魅力発信など、効果的・効率的な手法を検討する必要があります。 政策を推進するためには、「広報」と「広聴」の機能の充実が必要です。このため、LINEをはじめとするSNSを活用しながら、スピーディーでわかりやすい情報の発信に努めるとともに、市民から信頼される行政を目指して、市民の声に耳を傾けるための広聴機会の拡大と併せて職員の積極性も含めた能力・資質の向上を図ることとします。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**やや高い**	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	**高い**	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	**現状維持**	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	**拡　充**	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		**改善・見直し**	

課　題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　企画政策課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	選択と集中による財政運営	関係課	子ども課	都市整備課
施 策 名	1号	行政改革の継続とデジタル化の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

公共施設においては、複合的に施設を活用するなど、施設の再編を計画的にすすめ、維持管理経費の節約と将来負担の縮減を図ります。

また、業務内容の見直しを続けていくとともに、行政のデジタル化の取組を積極的にすすめることにより、窓口業務等の効率性を向上させ、人員の削減と財政負担の軽減を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
41		行政効率化推進事業	2 1 6	企画政策課	39	67	39	78			やや高い	B
		事業の取組内容	効率的で効果的な行政運営の推進を図る。									
57		ＩＣＴ推進事業	2 1 7	企画政策課	423	200	990	2,458			やや高い	B
		事業の取組内容	市内のあらゆる場所でＩＣＴを活用できる環境を整備する。									
142		児童福祉施設整備事業	3 2 3	子ども課	9,735	88,928	121,093	113,750			やや高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。									
166		放課後児童クラブ再編事業	3 2 5	子ども課	11,000	114,524	－	－				
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。									
342		公営住宅整備事業	8 5 1	都市整備課	6,582	14,383	3,783	93,667			やや高い	A
		事業の取組内容	建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。									
526		総合行政システム等管理事業	2 1 7	企画政策課	194,472	210,620	186,476	260,000			高い	B
		事業の取組内容	行政事務及び行政手続等のデジタル化とデジタル人材の育成及び情報セキュリティの徹底を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	行政の組織機構や行政改革についての満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	36.2 (R1調査)	目標値	－	－	75	－	－	75	%
			実績値	－	－	56	－	－		
			達成率	%	%	74.7%	%	%		
2	行政手続のオンライン化 (国が定めた優先的にオンライン化を推進すべき手続)	16 (R2時点)	目標値	21	28	35	42	52	52 (累計)	種類
			実績値	16	19	20				
			達成率	76.1%	67.8%	57.1%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1				
41	再編整備アクションプランの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6				
57	メール配信登録者数	7,297	目標値	9,000	10,500	12,000	13,500	15,000	15,000	人
			実績値	9,480	9,505	9,706				
57	公衆無線LAN設置支援件数	―	目標値	3	6	9	12	15	15	箇所
			実績値	2	3	4				
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0				
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1				
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10				
342	設計実施棟数		目標値	0	0	0	0	0	0	棟
			実績値	0	0	0				
342	建設棟数		目標値	0	0	0	0	0	0	棟
			実績値	0	0	0				
342	解体棟数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0				
526	行政手続のオンライン化	16	目標値	21	28	35	42	52	52	種類
			実績値	16	19	20				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

第３次行政改革大綱の推進計画である公共施設等総合管理計画を改定したことで、現状に即したより実行性のある効率的な行政運営や財政の健全化の実現につながりました。

DXの推進では、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例を制定し、書面等で行うことが規定されいてる申請等について、当該条例等の規定に関わらずオンライン申請等が可能となったことや、市の公式LINEを導入したことにより市民の利便性向上につながりました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	各事業については、目標に向かい進展しているものの、施策の評価指標については、目標に届いていないため「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	行政事務のデジタル化について、市民の利便性向上のため、オンライン申請や公式LINEの導入を進めているため「やや高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	公共施設等の維持管理については、これまでの事後保全的な考え方ではなく、予防保全を行い施設の長寿命化を進め、更新費用の縮減を図ります。 また、行政手続のデジタル化では、市民アンケートと職員ヒアリングの結果から、マイナンバーカードの活用、キャッシュレス決裁や電子申請などが進んでいないことが明らかになりましたので、市民等が来庁しなくて手続ができ、職員にとっても効率化となる環境づくりを進めます。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	○
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価に加え、窓口業務改革を進める中で、更なる市民の利便性向上と行政事務の効率化を図ること。

【様式２】

第二次総合計画　後期基本計画
令和５年度事業　施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）

SDGs関連	

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営		評価担当課	部課名	総務政策部　企画政策課
基本目標	6節	市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項	選択と集中による財政運営	関係課	地域創生課	
施 策 名	2号	健全な財政運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域資源を活かした産業の振興や企業誘致・企業支援などにより、地域経済の活性化をすすめ、ふるさと納税や市税など自主財源の確保を図ります。
また、行政評価による事務事業の見直しを常に行うとともに、人口減少問題や地域経済の活性化などの課題に対して積極的に投資することにより、限られた財源を有効に活用します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	予算科目	担当課	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 予算	R7 予算	事業費累計	担当課評価 貢献度	担当課評価 達成度
41		行政効率化推進事業	2 1 6	企画政策課	39	67	39	78			やや高い	B
		事業の取組内容	効率的で効果的な行政運営の推進を図る。									
46	○	ふるさと結基金事業	2 1 6	地域創生課	1,439,761	1,521,384	1,307,063	1,557,042			やや高い	A
		事業の取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をＰＲする。									
524		総合計画管理事業	2 1 6	企画政策課	118	421	1,657	3,518			やや高い	C
		事業の取組内容	市政運営の方向性を示す最上位計画である総合計画の策定及び進捗管理を行う。									
		事業の取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 / 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1	実質公債費比率	7.1 (R1実績)	目標値	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	%
			実績値	7.9	8.3					
			達成率	%	%	%	%	%		
2	将来負担比率	34.0 (R1実績)	目標値	150未満	150未満	150未満	150未満	150未満	150未満	%
			実績値	24.6	19.3					
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1				
41	再編整備アクションプランの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6				
46	寄附件数	126,317	目標値	120,000	123,000	126,000	130,000	134,000	134,000	件
			実績値	137,900	131,884	122,887				
46	寄附金額	2,465,259	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008				
524	総括評価における施策評価の評価区分ABの割合	27.9	目標値	－	－	－	－	35	35	%
			実績値	－	－	－	－			
524	暮らしやすいまちと感じている市民の割合	58.1	目標値	－	－	75	－	－	75	%
			実績値	－	－	58.4	－	－		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

前年度に比べふるさと寄附金においては、1,800万円の減額になりましたが、目標額を上回る寄附をいただきました。市税においては収入済額が3,500万円増加したため、自主財源の確保につながりました。

また、企業の人財確保や地域内交通機関の維持など、行政評価の結果をいかし新たな取組につなげ、企業の活力維持や市民の利便性向上に寄与しました。

8．施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	令和６年度で適用期間終了となる合併特例債を有効に活用し、財政負担の抑制を図り大型の施設整備を進めているため「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	特定財源を有効に活用し、事業の選択と予算の集中投資を行っているため「高い」と評価しました。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	大型の施設整備にあたっては、短期間での財政負担集中を避けるため、事業費、事業量とも平準化できるように、予防保全の考え方を取り入れる中で、計画的に進めます。 また、実施事業が真に市民のために役立っているのかを常に検証し、効果が上がっていないと判断する事業については、限られた予算を有効に活用する観点から見直しや廃止も含め、検討を行います。

9．施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評　価		評　価　の　理　由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。

総合評価			
目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改変はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
	新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡　充	
目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	

課　題 及び 今後の方向性	
	一次評価のとおり。